

研究所レポート

2012

No.1

国勢調査データからみる新宿区の特徴

国勢調査データからみる新宿区の特徴

新宿自治創造研究所では、2010（平成 22）～2011（平成 23）年度に、「人口」、「外国人」、「集合住宅」に関する調査研究をワーキング・グループ（WG）ごとに行い、その成果を「人口WGレポート」No.1～No.3、「外国人WGレポート」No.1～No.3、「集合住宅WGレポート」No.1～No.3としてまとめ、公表しました。このうち、「人口WGレポート」No.1では、2005 年までの国勢調査と人口動態統計を中心に、人口一般や世帯に関する現状、未婚化等の状況を整理し、その結果、新宿では未婚者と単身者（単独世帯）の割合が極めて高いという特徴が見えてきました。「人口WGレポート」No.2では、この「単独世帯」に着目し、配偶関係やコーホート（同時出生集団）などの視点を加えながら分析を行い、未婚化と単独化との間には強い相関関係が考えられるとともに、その傾向は世代によって異なることを明らかにし、単独世帯を社会的に包摂していくことの重要性を記しています。「人口WGレポート」No.3では、新宿区における将来人口の見通しを得るため、コーホート・シェア延長法を用いて人口推計を試みました。しかし、分析の結果、これまでの新宿区の人口移動パターンを前提としたコーホート・シェア延長法では、高い精度で長期に渡って安定的な推計値を得ることが困難であると判断し、2015（平成 27）年と 2020（平成 32）年の人口に限定して試算を行いました。

2012（平成 24）年度からは、区の政策立案の基礎となる人口・世帯に関する調査・研究を行っています。今年度は、国勢調査の様々なデータを分析し、「国勢調査データからみる新宿区の特徴」としてまとめるとともに、将来推計における昨年度の課題を解決するため、将来の住宅供給を考慮したコーホート・シェア延長法により将来人口推計を行い、その結果を「国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」としてまとめました。

本レポートの「国勢調査データからみる新宿区の特徴」は、2010（平成 22）年の国勢調査集計結果を中心に、これまで研究所で活用してきた人口・世帯に関するデータに加え、就労、産業、従業地・通学地、教育などに関するデータを活用し、各項目についてポイントを明記するとともに、過去からの推移や 23 区・全国との比較などをグラフで描写することで、新宿区の特徴をわかりやすく示しました。また、後半には、国勢調査の主な項目について、小地域別（特別出張所地域別及び町丁別）に集計したデータをグラフや地図に表して掲載しています。新宿区全体では漠然としていたデータも、小地域で捉えると新たな特徴があることが発見できる可能性があります。

なお、本レポートに先立って、総務省統計局が公表した区分に従い、「国勢調査集計結果～新宿区の概要」を 2012（平成 24）年 8 月と 2013（平成 25）年 1 月に当研究所のホームページで公表しました。今回のレポートの基礎となるもので、より詳細なデータが掲載されており、本レポートと併せてご覧いただければ幸いです。

I

国勢調査の概要と留意点

3

- (1) 国勢調査の概要 … 3
- (2) 主な用語の定義 … 3
- (3) 本レポートの留意点 … 4
- (4) 「不詳」について … 5

II

国勢調査・基本集計等からみる新宿区の特徴

6

- 1 「人口」に関する集計結果 … 6
 - (1) 総人口・外国人人口 … 6
 - (2) 年齢別人口 … 7
 - (3) 配偶関係 … 8
 - (4) 世帯の状況 … 10
- 2 「居住」に関する集計結果 … 12
 - (1) 住居の状況 … 12
 - (2) 居住期間 … 14
- 3 「就労・産業」に関する集計結果 … 15
 - (1) 労働力状態 … 15
 - (2) 従業上の地位 … 17
 - (3) 産業 … 18
- 4 「従業地・通学地」に関する集計結果 … 20
 - (1) 新宿区に常住する就業者・通学者 … 20
 - (2) 新宿区を従業地・通学地とする就業者・通学者 … 21
 - (3) 流出人口・流入人口 … 23
 - (4) 昼間人口・夜間人口 … 26
- 5 「教育」に関する集計結果 … 27

III

国勢調査・小地域集計からみるまちの特徴

28

- 1 特別出張所地域別の集計結果 … 28
 - (1) 特別出張所地域の主なデータの比較 … 28
 - (2) 特別出張所地域別の主なデータと地域の特徴 … 31
- 2 町丁別の集計結果 … 52

IV

新宿区の特徴のまとめ

63

I

国勢調査の概要と留意点

(1) 国勢調査の概要

① 調査の目的

国勢調査は、日本の人口、世帯、産業構造等の実態を明らかにし、国及び地方公共団体における各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として行われる国の最も基本的な統計調査です。調査は1920(大正9)年以來ほぼ5年ごとに行われており、2010(平成22)年国勢調査はその19回目にあたります。

② 調査の時期

2010(平成22)年国勢調査は、2010(平成22)年10月1日午前零時(以下「調査時」という)現在によって行われました。

③ 調査の対象

調査は、調査時において日本国内に常住している者について行いました。ここで「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在いた場所に「常住している者」とみなしました。

④ 調査の事項

調査は、男女の別、出生の年月など世帯員に関する事項を15項目、世帯の種類、世帯員の数など世帯に

関する事項を5項目、計20項目について行いました。

⑤ 調査の方法

調査は、「総務省統計局—都道府県—市区町村—国勢調査指導員—国勢調査員—世帯」の流れにより行い、総務大臣により任命された全国約70万人の国勢調査員が調査票を世帯ごとに配布し、世帯が調査票を調査員又は市区町村に提出する方法により行いました。

調査票の提出は、世帯が調査票に記入した上で、調査員への提出又は郵送による市区町村への提出のいずれかを選択する方法としました。また、東京都においては、インターネットによる提出も選択できる方法としました。なお、世帯員の不在等の事由により、前述の方法による調査ができなかった世帯については、国勢調査員が、当該世帯について「氏名」、「男女の別」又は「世帯員の数」の3項目に限って、その近隣の者に質問することにより調査しました。

⑥ 集計結果の公表

総務省統計局による、新宿区を含む市区町村レベルの主な集計結果のデータは、「人口等基本集計」、「産業等基本集計」、「従業地・通学地による人口・産業等集計」、「小地域集計」などの区分により、総務省統計局のホームページで結果の公表を行っています。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>

(2) 主な用語の定義

● 人口

国勢調査における人口は、調査時に調査の地域に常住している者(常住人口)のことです。「常住している者」は、上記(1)③の「調査の対象」を参照してください。

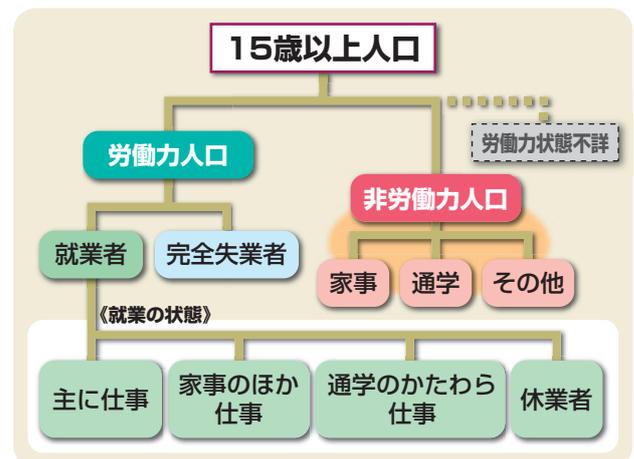
● 世帯

国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分しています。「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯のことです。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入所者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者、その他定まった住居を持たない単身者などからなる世帯のことです。

また、「住宅に住む一般世帯」とは、一般世帯のうち、住宅以外(寄宿舎・寮や病院・学校・旅館・会社・工場・事務所など)に居住している世帯を除いたものです。

● 労働力状態

「労働力状態」とは、15歳以上の人について、調査年の9月24日から30日までの1週間に「仕事をしたかどうかの別」により、次のとおり区分したものです。



● 完全失業者

調査期間中、収入を伴う仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ、ハローワーク(公共職業安定所)に申し込むことなどして積極的に仕事を探していた人

● 非労働力人口

調査期間中、収入を伴う仕事を少しもしなかった人のうち、休業者及び完全失業者以外の人(労働力状態「不詳」を除く)

● 労働力率

15歳以上人口(労働力状態「不詳」を除く)に占める労働力人口の割合

● 完全失業率

労働力人口に占める完全失業者の割合

● 従業上の地位

「従業上の地位」とは、就業者について、調査週間にその人が仕事をしてきた事業所における地位によって、雇用者、役員、雇人のある業主、雇人のない業主、家族従業者、家庭内職者に区分したものです。なお、雇用者はさらに、正規の職員・従業員、労働者派遣事業所の派遣社員、パート・アルバイト・その他に区分されています。

● 産業

「産業」とは、就業者について、調査週間中、その人が実際に仕事をしてきた事業所の主な事業の種類によって分類したものをいいます(調査週間中仕事を休んでいた人については、その人が普段仕事をしている主な事業所の事業の種類)。

なお、国勢調査に用いている産業分類は、日本標準産業分類を国勢調査に適合するように集約して編成したもので、分類の詳しさの程度により、大分類、中分類、小分類があり、ここでは大分類について集計しています。

● 夜間人口と昼間人口

「夜間人口」(常住地による人口)とは、調査時に調査の地域に常住している人口です。

「昼間人口」(従業地・通学地による人口)とは、従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口です。

<新宿区の昼間人口の算出方法>

$$\text{新宿区の昼間人口} = \text{新宿区の夜間人口} - \text{新宿区からの流出口} + \text{新宿区への流入人口}$$

※ 新宿区からの流出口 = 新宿区から新宿区以外への通勤・通学者数

※ 新宿区への流入人口 = 新宿区以外から新宿区への通勤・通学者数

● 昼夜間人口比率

次式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示しています。

$$\text{新宿区の昼夜間人口比率} = \left(\frac{\text{新宿区の夜間人口}}{\text{新宿区の昼間人口}} \right) \times 100$$

● その他の用語

その他の用語については、「平成22年国勢調査結果利用案内—ユーザーズガイド—」を参照してください。
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g.htm>

(3) 本レポートの留意点

● 国勢調査は、1920(大正9)年以降、原則として西暦でいうと下一桁が「0年」または「5年」の区切りの良い年に行われ、過去と比較する際、元号で表記するよりわかりやすくなっています。このため、本レポートで表記する年号は西暦を使用しています。

● 本レポートでは総務省統計局が公表した集計結果のうち、新宿区の特徴がみえるデータを抜粋して掲載し

ています。

● 本レポートに記載しているデータは、特に表記がない場合、2010年国勢調査による新宿区に常住する者のデータです。

● 本レポートに記載している「割合」は、特に表記がない場合、分母の値から「不詳」または「分類不能」を除いて算出しています。

(4) 「不詳」について

2010年の国勢調査においては、調査への回答が得られないことや、調査票への記入に不備や不明な点があることによって、集計上、「不詳」や「分類不能」として扱われるデータが過去の国勢調査と比べて非常に多くなっており、実態を把握することが難しくなっています。特に新宿区は、全国や特別区などの他の自治体と比べてもこの傾向が顕著に見られます(下記図表参照)。

例えば、2010年の国勢調査における新宿区の「労働力人口」は146,060人で、2005年より2,491人減少しています。しかし、2010年は労働力状態「不詳」とされるデータが72,643人分ののぼり、2005年より

26,115人増加しています。この72,643人という「不詳」の数は、分母となる15歳以上人口の24.8%に当たり、特別区の中で最も高い数値です。この中には、実際には「労働力人口」としてカウントされるべき人たちが少なからずいると考えられ、その人数によっては、新宿区の労働力人口は、実際には増えている可能性もあります。

本レポートでは、各集計結果において、データが得られる範囲でその数値を明示しました。ご覧いただく際には、「不詳」や「分類不能」が相当数あるということに十分ご留意ください。

図表 「不詳」・「分類不能」の主な数値(前回調査年・2010年)

● 本レポートに掲載している項目

「不詳」の項目 ／割合算出の際の分母		新宿区			特別区			全国		
		総数(分母)	不詳の数	不詳の割合	総数(分母)	不詳の数	不詳の割合	総数(分母)	不詳の数	不詳の割合
日本人・外国人の別「不詳」 ／総人口	2005年	305,716	1,908	0.6%	8,489,653	137,698	1.6%	127,767,994	482,341	0.4%
	2010年	326,309	14,169	4.3%	8,945,695	178,108	2.0%	128,057,352	1,050,461	0.8%
年齢「不詳」 ／総人口	2005年	305,716	1,908	0.6%	8,489,653	137,698	1.6%	127,767,994	482,341	0.4%
	2010年	326,309	8,256	2.5%	8,945,695	165,622	1.9%	128,057,352	976,423	0.8%
配偶関係「不詳」 ／15歳以上人口	2005年	279,611	17,493	6.3%	7,450,868	338,019	4.5%	109,764,419	1,471,611	1.3%
	2010年	293,053	21,568	7.4%	7,833,783	531,670	6.8%	110,277,485	2,070,676	1.9%
居住期間「不詳」 ／総人口	2000年	286,726	23,031	8.0%	8,134,688	340,137	4.2%	126,925,843	1,354,977	1.1%
	2010年	326,309	116,528	35.7%	8,945,695	1,856,716	20.8%	128,057,352	7,934,557	6.2%
労働力状態「不詳」 ／15歳以上人口	2005年	279,611	46,528	16.6%	7,450,868	849,383	11.4%	109,764,419	3,356,961	3.1%
	2010年	293,053	72,643	24.8%	7,833,783	1,246,127	15.9%	110,277,485	6,206,011	5.6%
夫婦の就業状態「不詳」 ／夫婦のいる一般世帯	2005年	55,296	5,173	9.4%	1,770,043	116,445	6.6%	29,338,243	492,110	1.7%
	2010年	54,389	7,461	13.7%	1,823,183	190,063	10.4%	29,135,873	1,211,882	4.2%
従業上の地位「不詳」 ／15歳以上就業者	2005年	138,598	28	0.0%	4,011,554	985	0.0%	61,505,973	8,252	0.0%
	2010年	137,299	23,030	16.8%	4,111,983	528,756	12.9%	59,611,311	2,244,631	3.8%
利用交通手段「不詳」 ／15歳以上通勤・通学者	2000年	147,078	3,398	2.3%	4,193,081	123,591	2.9%	62,105,123	727,657	1.2%
	2010年	123,810	11,454	9.3%	3,739,935	237,836	6.4%	58,423,465	1,757,002	3.0%
分類不能の産業 ／15歳以上就業者	2005年	138,598	5,457	3.9%	4,011,554	143,227	3.6%	61,505,973	1,146,001	1.9%
	2010年	137,299	26,365	19.2%	4,111,983	625,754	15.2%	59,611,311	3,460,298	5.8%
従業地・通学地「不詳」 ／15歳以上就業者・通学者	2005年	157,672	0	0.0%	4,434,693	0	0.0%	68,434,714	0	0.0%
	2010年	155,768	21,118	13.6%	4,551,890	482,552	10.6%	66,156,275	1,654,591	2.5%
最終卒業学校「不詳」 ／15歳以上卒業生	2000年	234,908	31,456	13.4%	6,590,695	678,782	10.3%	99,220,720	3,813,474	3.8%
	2010年	269,217	102,704	38.1%	7,286,098	2,247,435	30.8%	102,435,777	13,375,764	13.1%

● 本レポートに掲載していない主な項目

外国人の労働力状態「不詳」 ／15歳以上外国人人口	2005年	15,062	3,406	22.6%	182,617	46,033	25.2%	1,408,700	154,741	11.0%
	2010年	21,903	9,690	44.2%	225,607	73,447	32.6%	1,414,433	196,021	13.9%
分類不能の職業 ／15歳以上就業者	2005年	138,598	5,164	3.7%	4,011,554	136,113	3.4%	61,505,973	1,108,275	1.8%
	2010年	137,299	26,095	19.0%	4,111,983	615,728	15.0%	59,611,311	3,391,710	5.7%



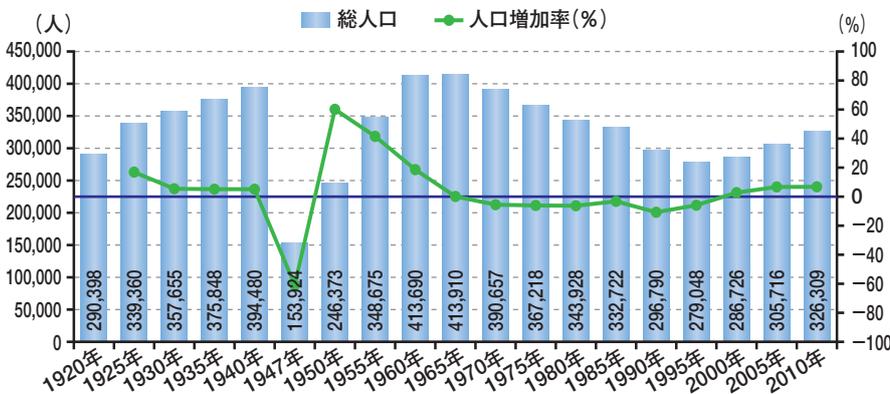
国勢調査・基本集計等からみる新宿区の特徴

1. 「人口」に関する集計結果

(1) 総人口・外国人人口

- ・2010年国勢調査による新宿区の総人口は326,309人で、2005年に比べ7%増加している。
- ・うち日本人が286,398人、外国人が25,742人で、日本人・外国人の別「不詳」が14,169人いる。
- ・外国人人口、外国人割合とも23区の中で第1位で、全国の市区町村の中では、人口は7番目に多く、割合は4番目に高い。

図1 総人口の推移(1920～2010年)



○男女別人口 (2010年10月現在)

- ・男性161,921人 (49.6%)
- ・女性164,388人 (50.4%)

○総人口

- ・2005年比20,593人 (6.7%) 増 (全国0.2%増、特別区5.4%増)
- ・1965年の413,910人をピークに1995年の279,048人まで減少その後再び増加に転じ、15年間で47,261人の増
- ・23区の中で総人口は12番目と中位だが、人口密度は7番目と上位

図2 23区の総人口と人口密度(2010年) <人口順>

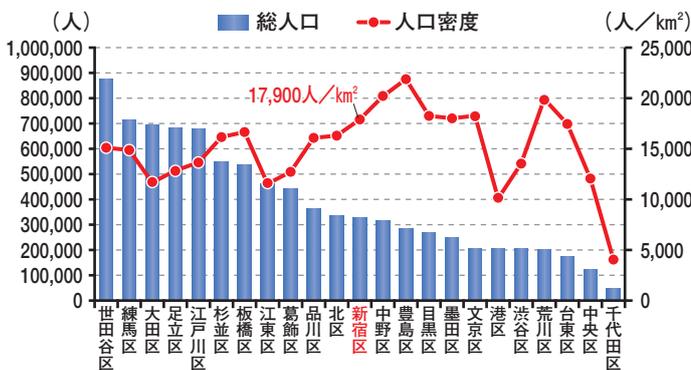


図3 外国人人口の推移(1990～2010年)

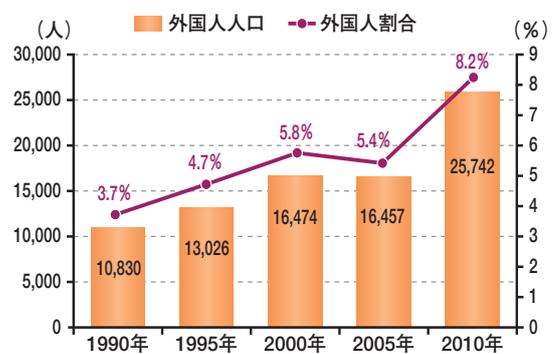


図4 23区の外国人人口(2010年) <人口順>

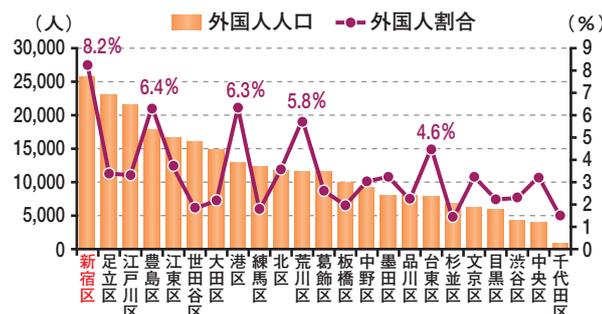


図5 外国人人口・割合が上位の市区町村(2010年)

(人口の多い市区町村)				(割合の高い市区町村)			
順位	市区町村名	外国人人口	外国人割合	順位	市区町村名	外国人割合	外国人人口
1	大阪市	96,675	3.7%	1	長野県川上村	15.7%	783
2	横浜市	53,029	1.4%	2	群馬県大泉町	13.0%	5,223
3	名古屋市	52,485	2.4%	3	長野県南牧村	11.4%	402
4	神戸市	34,037	2.2%	4	新宿区	8.2%	25,742
5	京都市	32,620	2.3%	5	岐阜県美濃加茂市	7.7%	4,189
6	川崎市	26,502	1.9%	6	豊島区	6.4%	17,888
7	新宿区	25,742	8.2%	7	岐阜県坂祝町	6.4%	535
8	足立区	23,011	3.4%	8	港区	6.3%	12,999
9	江戸川区	21,597	3.3%	9	荒川区	5.8%	11,625
10	浜松市	18,167	2.3%	10	静岡県菊川市	5.1%	2,413

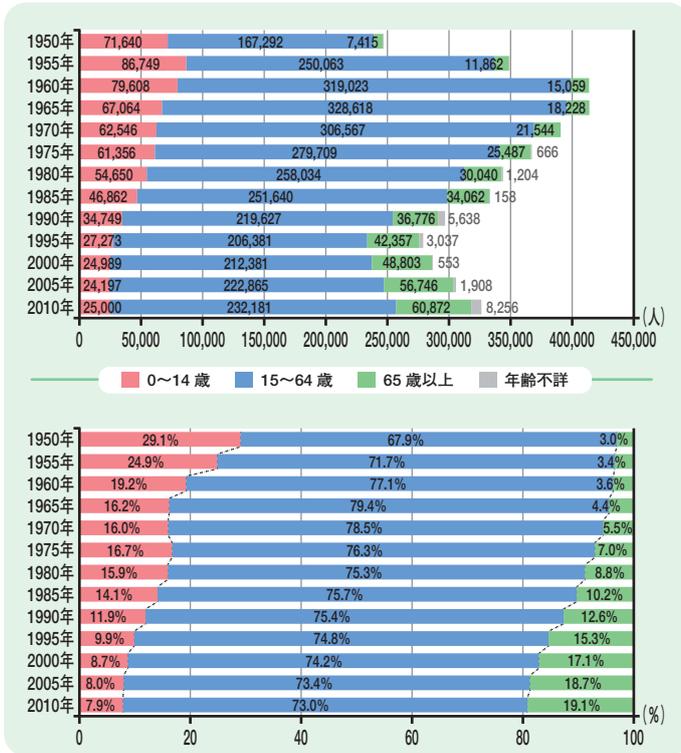
※ 外国人割合は、分母の総人口から日本人・外国人の別「不詳」を除いて算出

※ 2010年10月1日現在の住民基本台帳人口(日本人)は283,791人、外国人登録人口は35,702人の計319,493人
2013年1月1日現在の住民基本台帳人口のうち日本人は287,598人、外国人は33,574人の計321,172人

(2) 年齢別人口

- 15歳未満人口の割合は8%で、全国（13%）や特別区（11%）と比べて低く、15～64歳人口の割合は73%で、全国（64%）や特別区（69%）と比べて高い。どちらも割合は若干低下傾向にある。
- 65歳以上人口の割合は19%で、全国（23%）と比べて低いものの上昇傾向にある。

図6 年齢3区分別人口と割合の推移 (1950～2010年)



○2010年の年齢3区分別人口の推移

- 15歳未満の人口は25,000人で、2005年に比べて803人(3.3%)の増
- 15～64歳は232,181人で、同9,316人(4.2%)の増
- 65歳以上は60,872人で、同4,126人(7.3%)の増

○年齢「不詳」：8,256人

○人口ピラミッドの変化

5歳階級別人口を1950年から30年ごとにみると、人口の最も多い年代は20～24歳から25～29歳にシフトしている。グラフの形状も、年少人口が多く、高齢者人口が少ないピラミッド型から、年少人口が少ないツリー型に変化している。

○年齢3区分別割合の23区との比較

- 15歳未満人口の割合(7.9%)は、中野区、渋谷区に次ぎ3番目に低い。
- 15～64歳人口の割合(73.0%)は、中央区に次ぎ2番目に高く、うち20～34歳は27.9%で、豊島区に次ぎ2番目に高い
- 65歳以上人口の割合(19.1%)は、75歳以上人口割合(9.2%)とともに7番目に低い。

図7 年齢3区分別人口割合(23区・全国 2010年) <15歳未満人口割合の低い順>

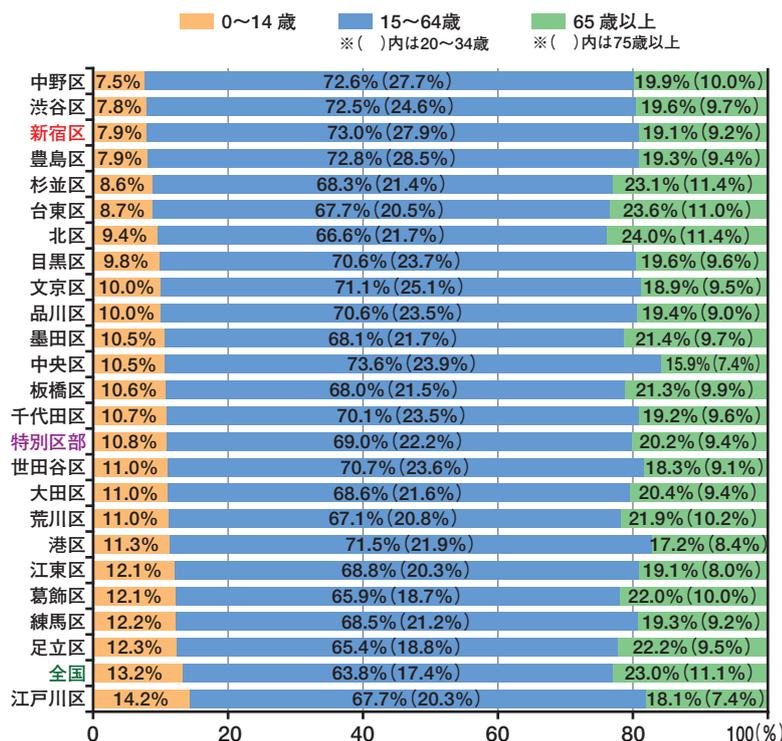


図8 5歳階級別人口ピラミッドの変化 (1950・1980・2010年)

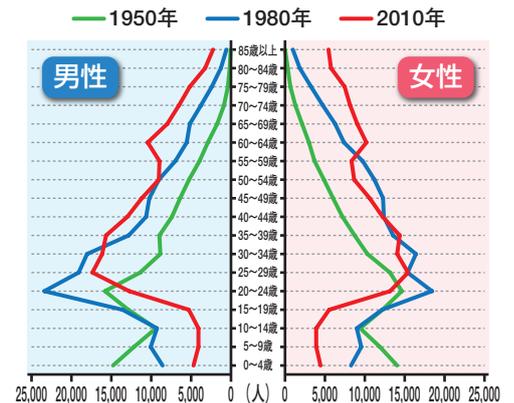
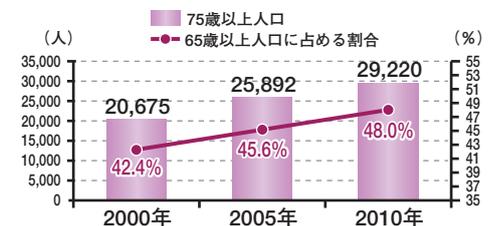


図9 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移 (2000～2010年)



(3) 配偶関係

① 配偶関係別人口

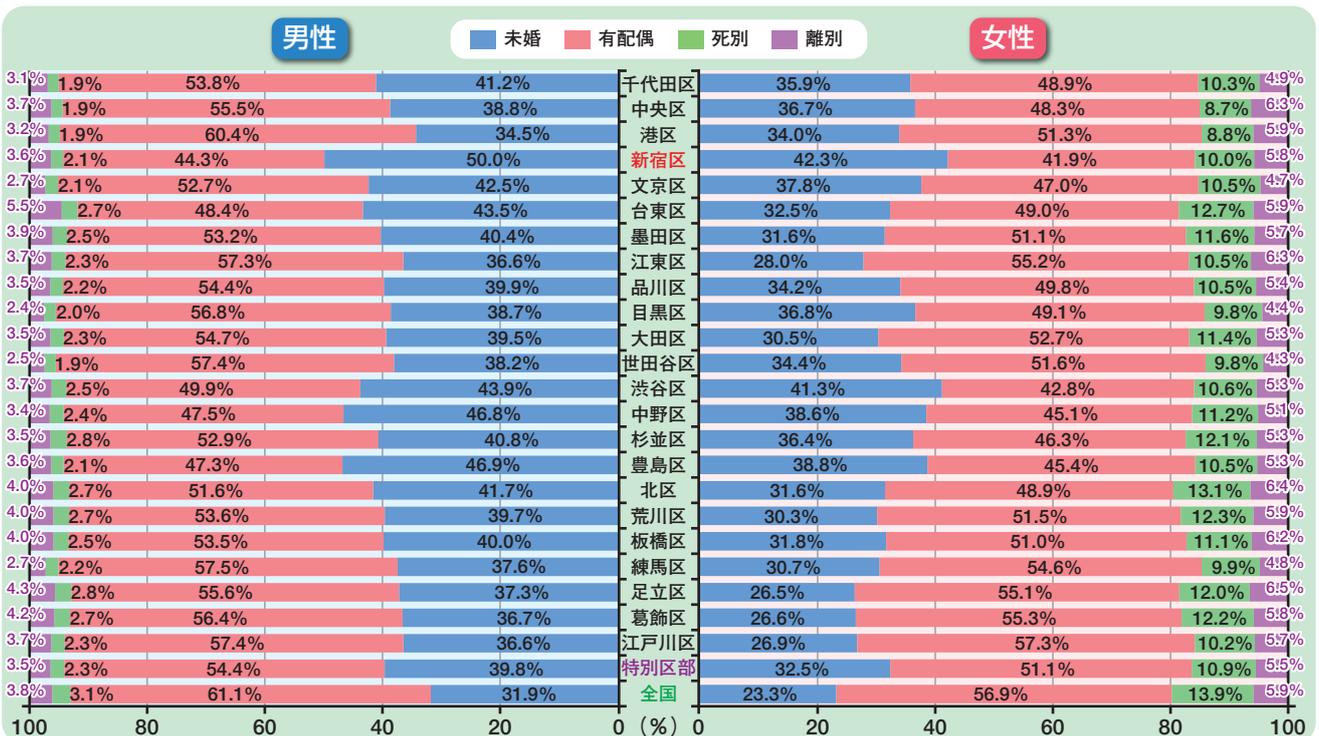
- ・男女とも「未婚」の割合（未婚率）が上昇している。全国（男性32%、女性23%）と比べてかなり高くなっており（男性50%、女性42%）、男女とも23区で最も高い。
- ・一方、「有配偶」の割合（男性44%、女性42%）は、男女とも低下している。
- ・「死別」の割合は、男性と比べ、女性がかかなり高くなっている（男性2%、女性10%）。

図10 男女・配偶関係別15歳以上人口と割合の推移(1980～2010年)



- 2010年の配偶関係別15歳以上人口
 - ・男性（144,685人）は「未婚」が66,561人（配偶関係「不詳」を除く15歳以上男性の50.0%）、「有配偶」が59,027人（同44.3%）、「死別」が2,737人（同2.1%）、「離別」が4,832人（同3.6%）
 - ・女性（148,368人）は「未婚」が58,481人（配偶関係「不詳」を除く15歳以上女性の42.3%）、「有配偶」が57,986人（同41.9%）、「死別」が13,881人（同10.0%）、「離別」が7,980人（同5.8%）
 - ・「死別」は、女性の平均寿命が男性より長く、高齢者人口が多いこと等から、女性の割合が高くなっている。
- 配偶関係「不詳」：21,568人

図11 男女・配偶関係別15歳以上人口割合(23区・全国 2010年)



② 未婚率

- ・年齢別の未婚率は、2005年に比べ、男女とも30代前半まではほぼ変わらないが、30代後半以降は上昇している。
- ・生涯未婚率も男女とも上昇しており、男性33%、女性27%で、全国（男性20%、女性11%）や特別区（男27%、女20%）と比べてかなり高く、23区で男性は2番目、女性は3番目に高い。

図12 男女・5歳階級別未婚率の推移(1980・2005・2010年)

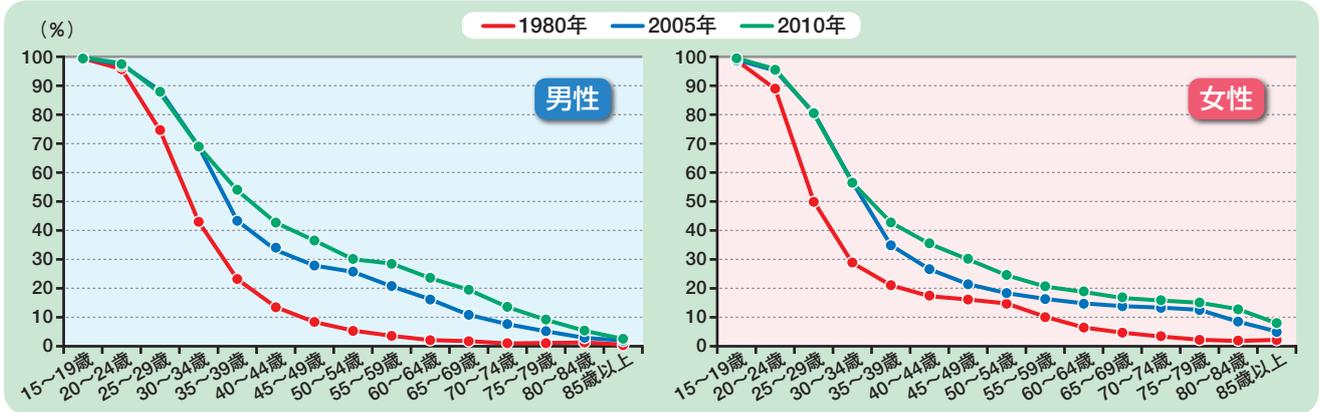
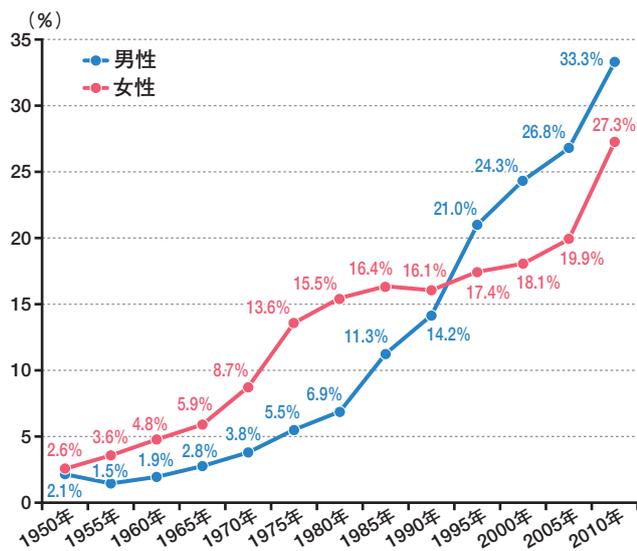


図13 生涯未婚率の推移(1950～2010年)



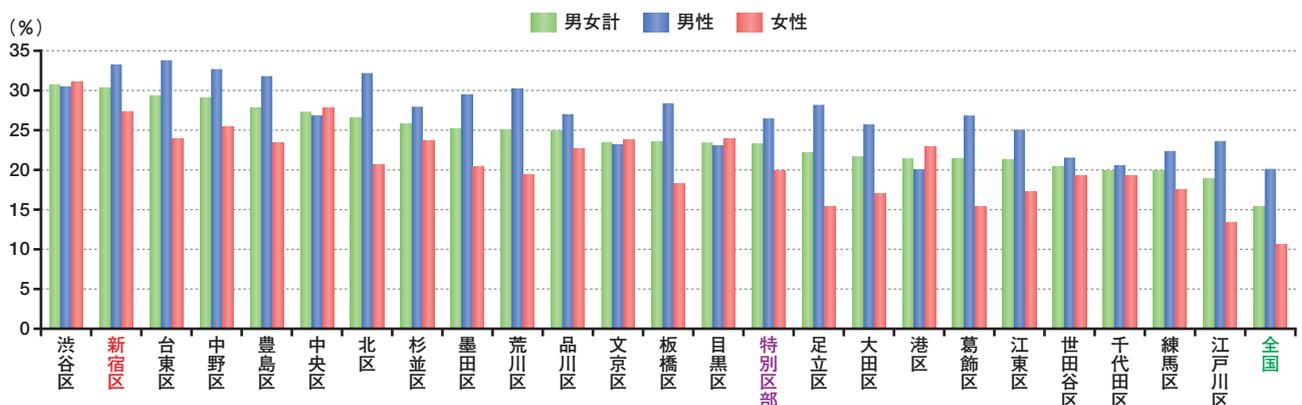
○ 2010年の5歳階級別未婚率

- ・男性は35～39歳で53.8%（2005年比10.5ポイント増）、40～44歳で42.7%（同9.5ポイント増）、45～49歳で36.5%（同8.5ポイント増）と上昇。50代後半～60代後半も上昇し、65～69歳では19.5%（同8.7ポイント増）
- ・女性は35～39歳で42.8%（同7.9ポイント増）、40～44歳で35.4%（同8.8ポイント増）、45～49歳で30.0%（同8.5ポイント増）

○ 生涯未婚率(※)の23区との比較

- ・男性は、台東区に次いで2番目（33.3%）、女性は、渋谷区、中央区に次いで3番目（27.3%）、男女計は、渋谷区に次いで2番目（30.3%）に高い

図14 生涯未婚率(23区・全国 2010年) <男女計の割合の高い順>



※生涯未婚率とは、「45～49歳」と「50～54歳」の未婚率の平均値から、「50歳時」の未婚率を算出したもので、実際に生涯を通じて未婚である人の割合ではない。

(4) 世帯の状況

① 世帯の規模と家族類型

- ・一般世帯数は194,555世帯で、2005年に比べて14%の増。世帯当たりの人員は1.65人で減少傾向が続いている。
- ・世帯人員が1人の単独世帯が最も多い家族類型で、2005年に比べて23%増加し、一般世帯の63%を占める。全国(32%)と比べて極めて高い割合である。

○ 2010年の世帯数・世帯当たり人員

- ・総世帯数は195,434世帯で、2005年に比べて21,874世帯(12.6%)の増
- ・うち、施設等世帯(879世帯)を除いた一般世帯数は194,555世帯で、23,598世帯(13.8%)の増
- ・一般世帯一世帯当たり人員は2005年に比べて0.1人減の1.65人で、全国(2.42人)と比べて少ない。

○ 家族類型別世帯数

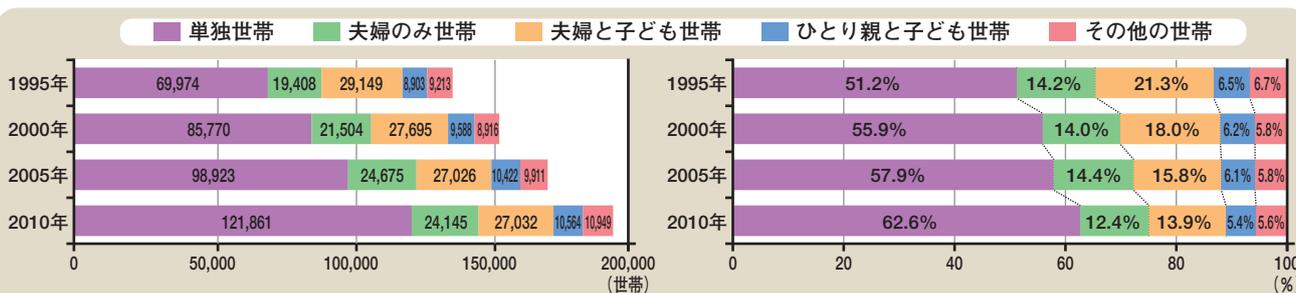
- ・「単独世帯」は121,861世帯(家族類型「不詳」を除く一般世帯の62.6%)で、2005年に比べて22,938世帯の増。「夫婦のみ世帯」は24,145世帯(同12.4%)、「夫

婦と子ども世帯」は27,032世帯(同13.9%)、ひとり親と子ども世帯」は10,564世帯(同5.4%)

図15 一般世帯数と世帯当たり人員の推移(1985～2010年)



図16 一般世帯の家族類型別世帯数と割合の推移(1995～2010年)

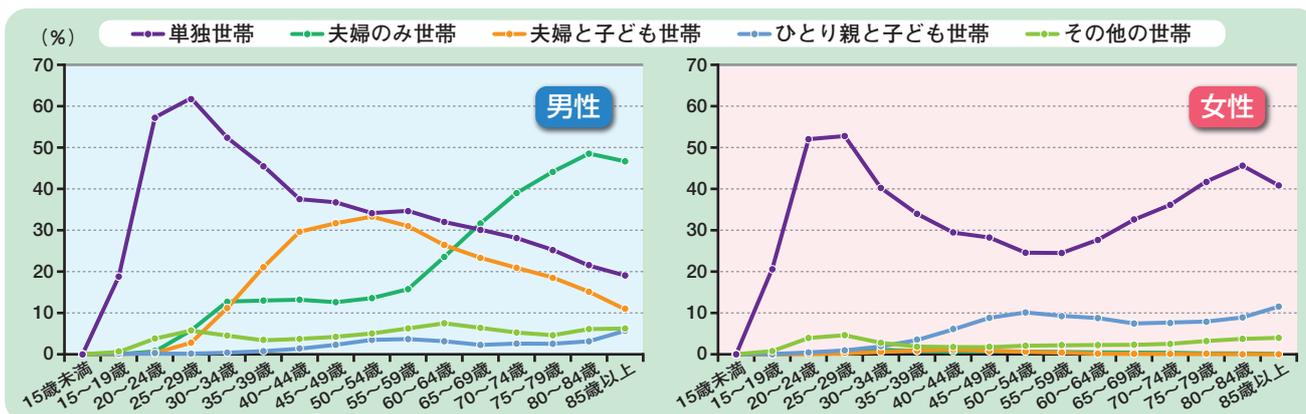


※2010年は、ほかに家族類型「不詳」が4世帯ある。

② 単独世帯

- ・単独世帯の割合が最も高い年代は男女とも25～29歳で、その後、年齢階級が上がるごとに低下するが、女性は60歳以上になると配偶者との死別等により再び上昇し、80～84歳に2つ目の山がある。
- ・新宿区の単独世帯の割合は23区の中で最も高い(63%)。

図17 世帯主の年齢別・世帯の家族類型別・世帯主率(※)(2010年)



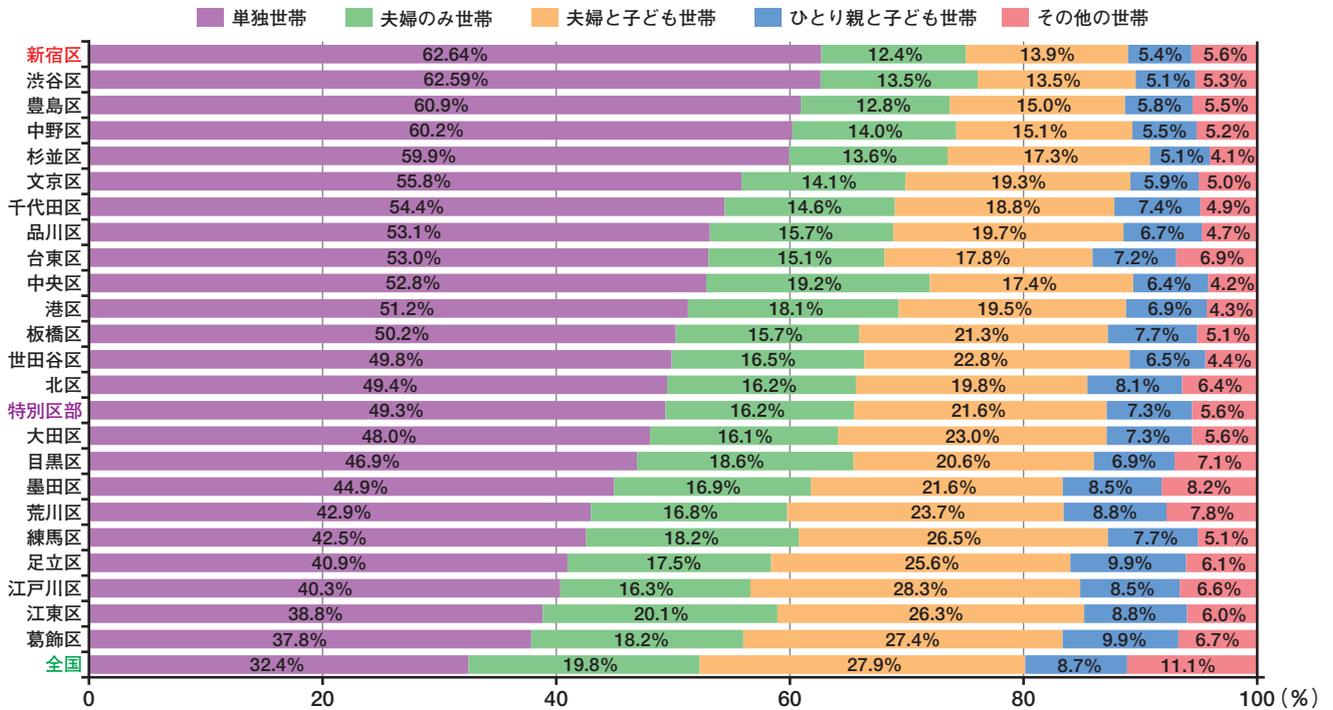
※「世帯主率」とは、性別、年齢別人口に占める世帯主である人口の割合

○年齢5歳階級別単独世帯の割合

- ・男女とも、15～19歳になると、進学や就職により親元から離れて単独世帯を形成し始め、25～29歳で単独世帯の割合がピークとなる(男性61.9%、女

性52.8%)。その後、男性は年齢階級が上がるごとに低下するが、女性は60代から再び上昇し、80～84歳に2つ目の山がある(45.6%)。

図18 家族類型別世帯の割合(23区・全国 2010年) <単独世帯の割合の高い順>



③ 高齢者のいる世帯

- ・65歳以上の高齢者のいる世帯は、2005年に比べて8%増加し、45,281世帯(一般世帯の23%)で、およそ4世帯に1世帯が高齢者のいる世帯である。
- ・そのうち、高齢単独世帯(一人暮らし高齢者)は19%増加し、20,489世帯となり、65歳以上の高齢者のいる一般世帯の45%を占める。

図19 世帯の家族類型別65歳以上親族のいる一般世帯数と割合の推移(2000～2010年)

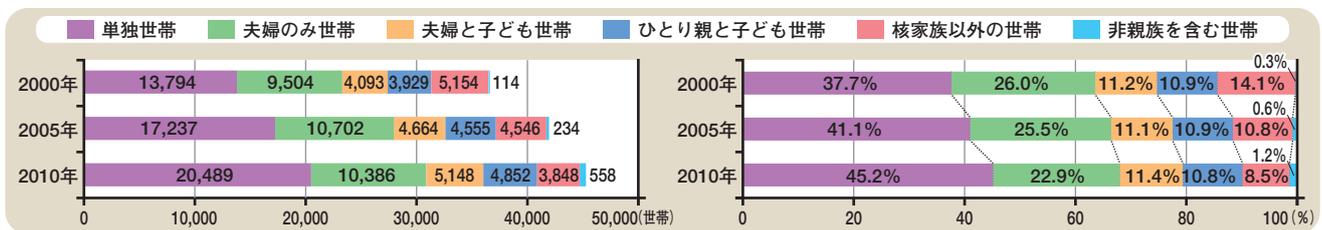
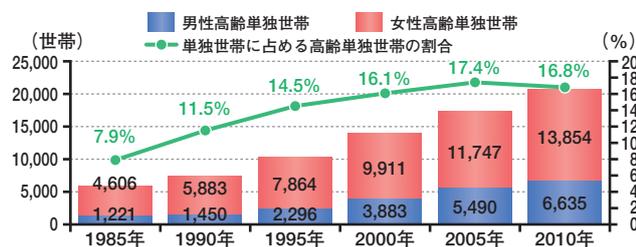


図20 男女別・高齢単独世帯数の推移(1985～2010年)



○65歳以上の高齢単独世帯の内訳

- ・男性単独世帯が6,635世帯、女性単独世帯が13,854世帯で、女性単独世帯が男性の2倍
- ・65歳以上高齢者(60,872人)のうち、20,489人(33.7%)が一人暮らし
- 単独世帯に占める高齢単独世帯の割合
 - ・2010年は16.8%で、2005年(17.4%)に比べてやや低下

2. 「居住」に関する集計結果

(1) 住居の状況

- ・「民営の借家」に住む世帯は 110,953 世帯(住宅に住む一般世帯の 58%) で、世帯数、割合とも増加傾向にある。一方、「持ち家」に住む世帯は 59,448 世帯(同 31%) で、2005 年に比べて世帯数は横ばいだが、割合は低下している。新宿区は、全国とは反対に「民営の借家」の割合が高く(23 区で 2 番目)、「持ち家」の割合が低い(23 区で最も低い)。
- ・「共同住宅」に住む世帯は 161,099 世帯(同 84%) で、世帯数、割合とも増加傾向にある。一方、「一戸建」に住む世帯は 28,704 世帯(同 15%) で、2005 年に比べて世帯数は横ばいだが、割合は低下している。新宿区は、全国とは反対に「共同住宅」の割合が高く(23 区で 4 番目)、「一戸建」の割合が低い(23 区で 5 番目)。
- ・延べ面積「29㎡以下」の小規模住宅に住む世帯の割合は 37%で、23 区で 2 番目に高い。

図 21 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数と割合の推移(1985～2010年)

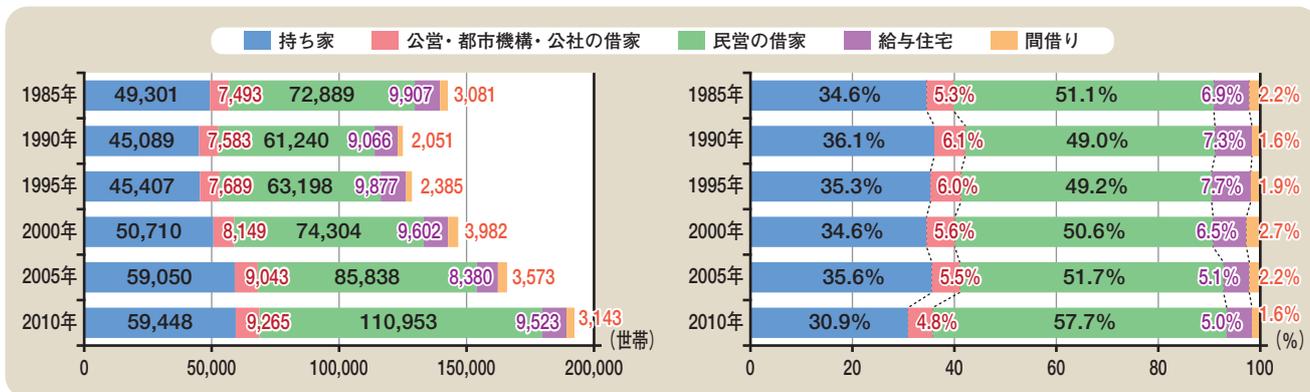
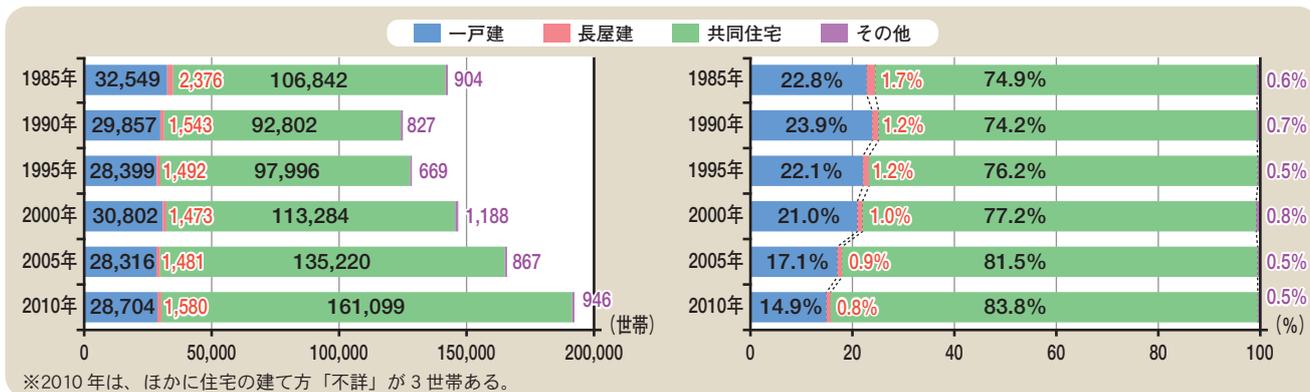


図 22 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数と割合の推移(1985～2010年)



○住宅の所有関係別

- ・「民営の借家」に住む世帯は 110,953 世帯で、2005 年に比べて 25,115 世帯(29.3%) の増。住宅に住む一般世帯(192,332 世帯) の 57.7% を占め、全国(28.1%) や特別区(43.2%) と比べて高く、23 区の中では中野区に次ぎ 2 番目に高い。
- ・「持ち家」に住む世帯は 59,448 世帯で、2005 年に比べて 398 世帯(0.7%) の増。住宅に住む一般世帯の 30.9% を占め、全国(61.9%) や特別区(44.2%) と比べて低く、23 区の中で最も低い。

○住宅の建て方別

- ・「共同住宅」に住む世帯は 161,099 世帯で、2005 年に比べて 25,879 世帯(19.1%) の増。住宅に住む一般世帯(住宅の建て方「不詳」を除く) の 83.8% を占め、全国(41.6%) や特別区(72.0%) と比べて高く、23 区の中では港区、中央区などに次ぎ 4 番目に高い。
- ・「一戸建」に住む世帯は 28,704 世帯で、2005 年に比べて 388 世帯(1.4%) の増。住宅に住む一般世帯の 14.9% を占め、全国(55.7%) や特別区(26.5%) と比べて低く、23 区の中で 5 番目に低い。

図 23 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯割合(23区・全国 2010年) <持ち家割合の低い順>

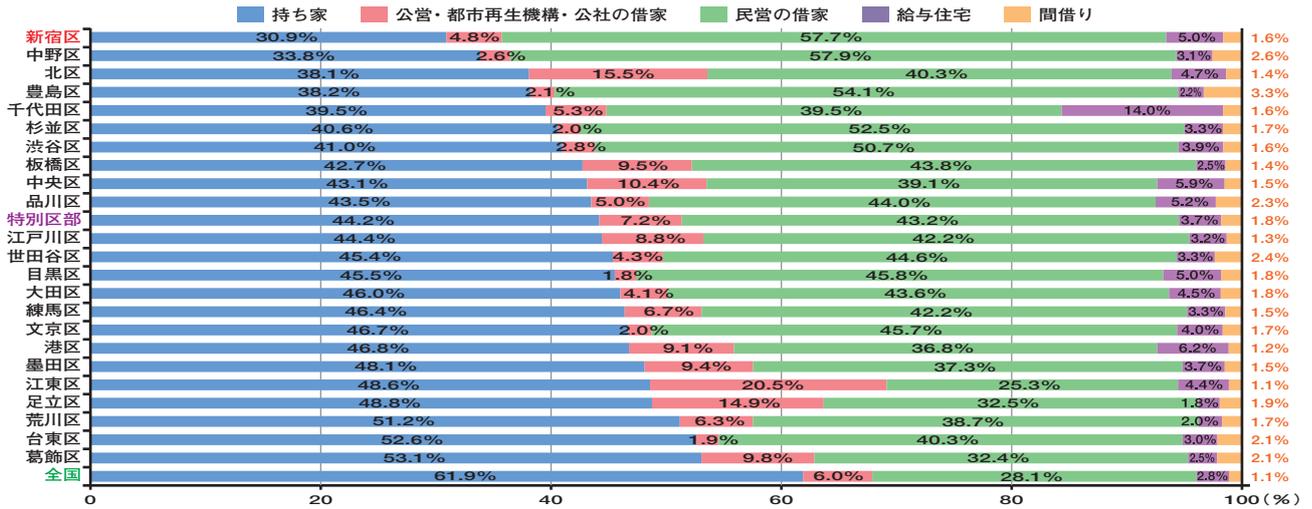


図 24 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯割合(23区・全国 2010年) <一戸建割合の低い順>

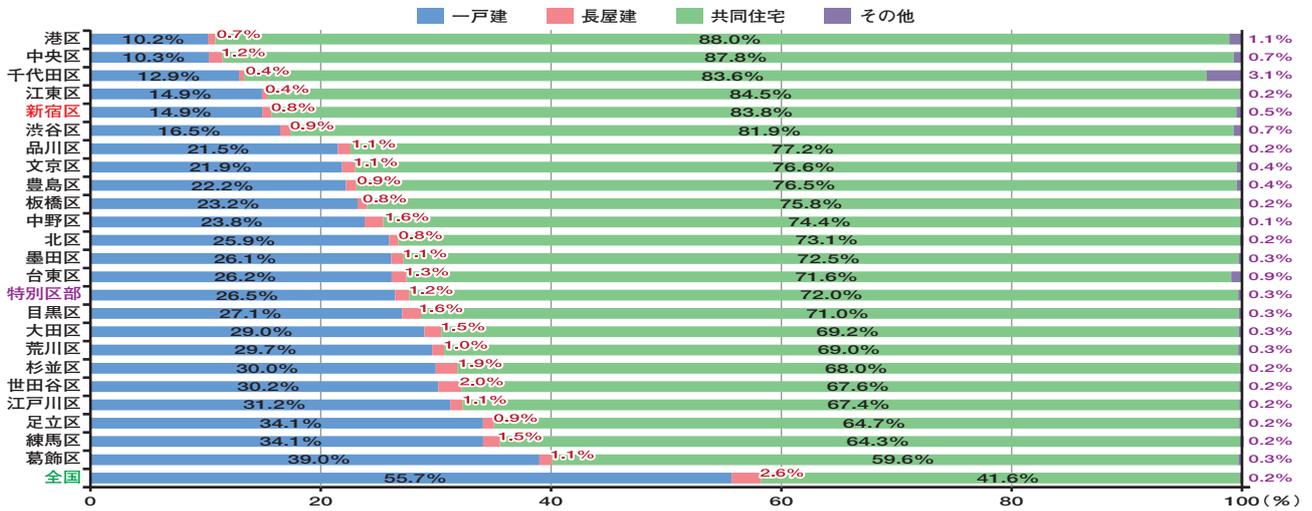
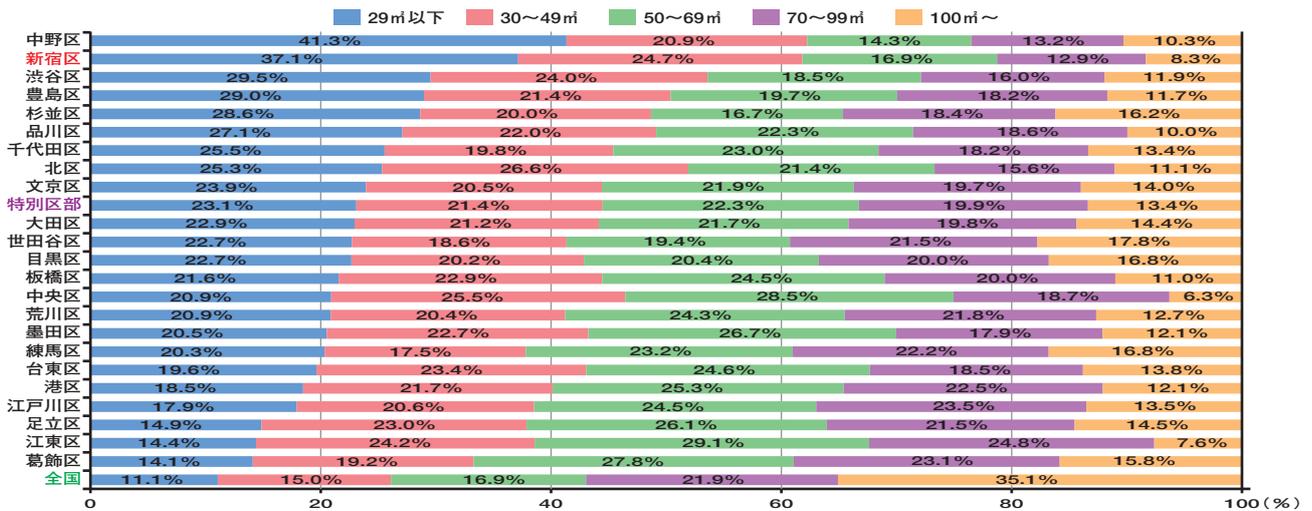


図 25 住宅の延べ面積別住宅に住む一般世帯割合(23区・全国 2010年) <29㎡以下の割合の高い順>



○住宅の延べ面積別

・延べ面積「29㎡以下」の住宅に住む世帯は 71,436 世帯で、住宅に住む一般世帯(住宅の延べ面積「不詳」(6世帯を除く)の 37.1%を占め、全国(11.1%)や特別区(23.1%)

と比べて高く、23区の中では中野区に次ぎ2番目に高い。
・「30～49㎡」の住宅は 47,469 世帯(同 24.7%)で、29㎡以下と合わせ、49㎡以下の小規模住宅に6割以上の世帯が居住している。

(2) 居住期間

- ・居住期間 5 年未満の割合が全体の 1/3 を占め、2000 年に比べて低下しているが、23 区では 7 番目に高い。特に 20 ～ 34 歳では 6 割を超える。
- ・一方、居住期間が「20 年以上」の割合は 1/4 を超え、特に 65 歳以上で 6 割を超える。

図 26 居住期間別居住者数と割合の推移(2000・2010 年)

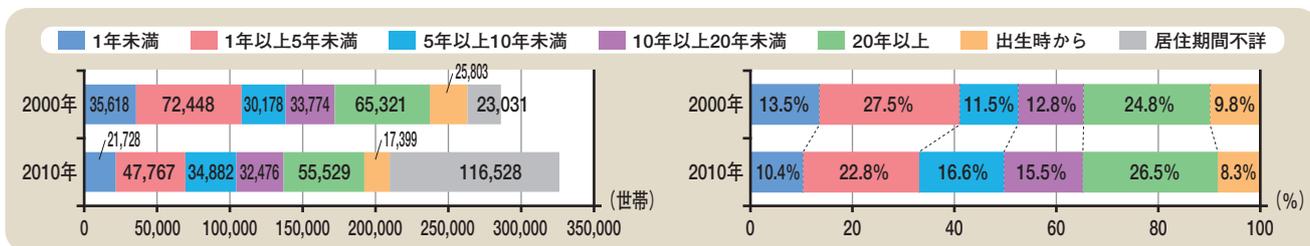
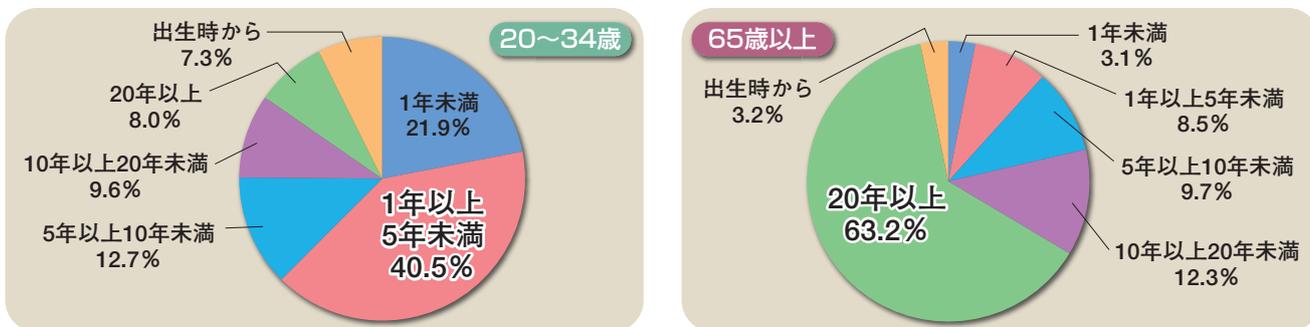


図 27 若者世代(20～34 歳) と高齢者(65 歳以上) の居住期間別割合(2010 年)



○居住期間別の割合

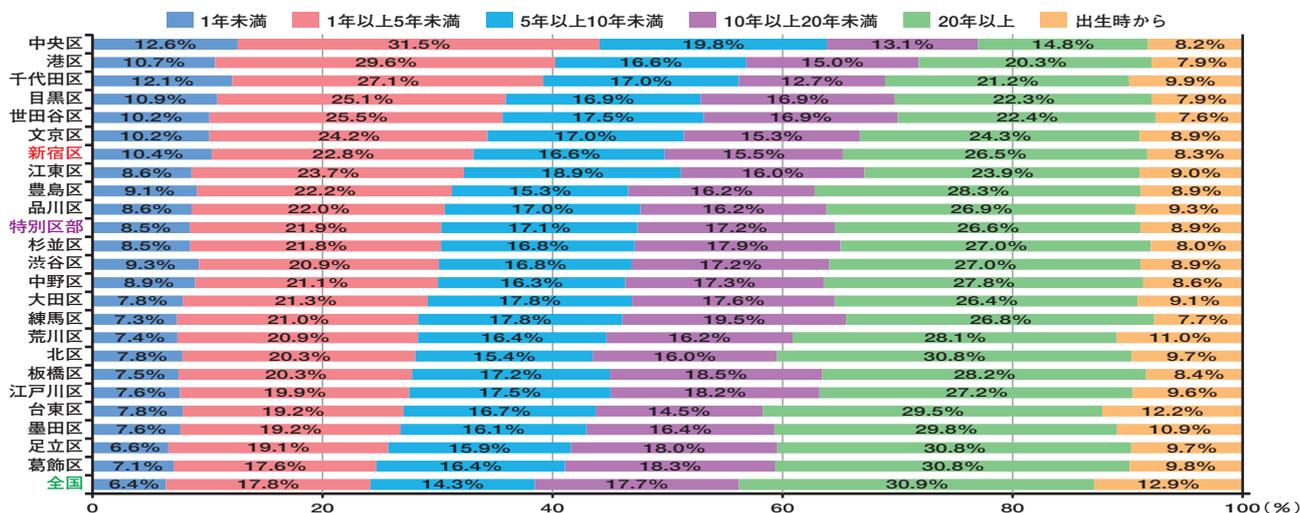
- ・「出生時から」引き続き現在の場所に住んでいる者は 8.3%。出生時とは異なる場所に移動したことがある者は 91.7% で、居住期間別にみると、「20 年以上」の割合(26.5%) が最も高く、「1 年以上 5 年未満」(22.8%) と続く。
- ・5 年未満(「1 年未満」及び「1 年以上 5 年未満」の合計)の割合は 33.1% と、2000 年に比べて低下している

ものの、23 区の中では中央区、港区などに次ぎ 7 番目に高い。

- ・20 ～ 34 歳の若者世代は、「1 年未満」が 21.9%、「1 年以上 5 年未満」が 40.5% で、5 年未満は合せて 62.4% と高い。一方、65 歳以上の高齢者は、「20 年以上」が 63.2% と高く、5 年未満は 11.6% と低い。

○居住期間「不詳」：116,528 人(総人口の 35.7%)

図 28 居住期間別居住者割合(23 区・全国 2010 年)
＜1 年未満及び 1 年以上 5 年未満の合計割合の高い順＞



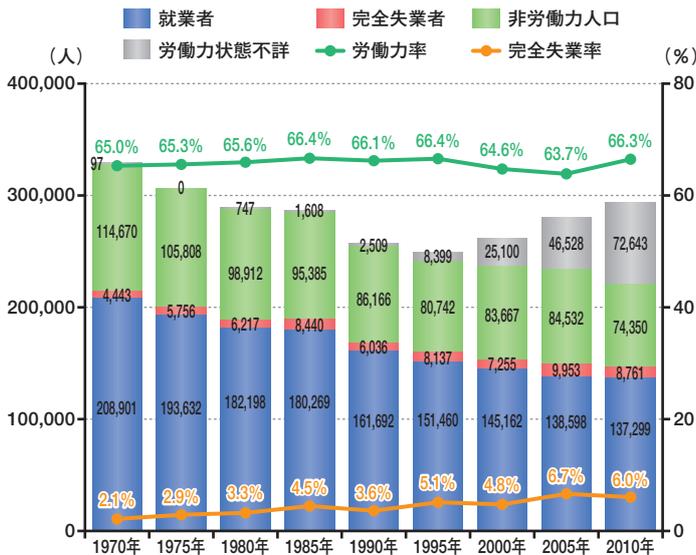
3.「就労・産業」に関する集計結果

(1) 労働力状態

① 労働力人口

- ・労働力人口は146,060人で、2005年より減少するものの労働力率は66%と上昇している。
- ・完全失業率は6%と2005年より低下している。

図 29 15歳以上人口の労働力状態の推移(1970～2010年)



○ 労働力人口

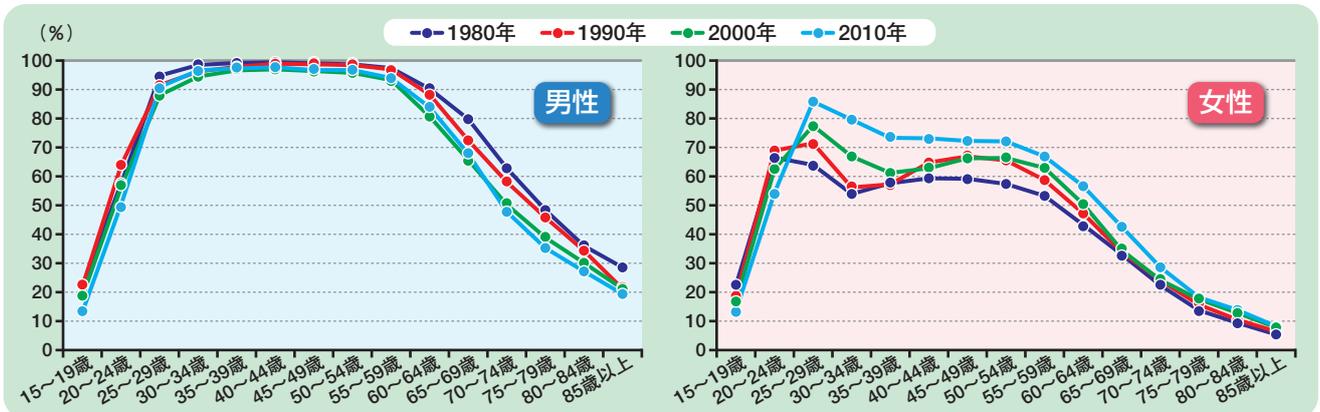
- ・2010年の新宿区に常住する15歳以上の労働力人口(就業者及び完全失業者)は146,060人で、2005年に比べて2,491人(1.7%)減少するものの、労働力率(「不詳」を除く15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は2005年(63.7%)より上昇して66.3%
- ・非労働力人口(家事従事者、通学者など)は74,350人で、2005年に比べ10,182人(12.0%)の減
- ・完全失業率(労働力人口に占める完全失業者の割合)は6.0%と2005年(6.7%)に比べ低下

○労働力状態「不詳」: 72,643人(15歳以上人口の24.8%)

② 年齢階級別労働力率

この30年間で、女性の労働力率は、ほぼ全ての年齢階級で上昇し、特に20代後半と30代前半では8割前後と高い。グラフの形状は、従来の30代を底とする「M字型」ではなくなっている。

図 30 男女・5歳階級別労働力率の推移(1980・1990・2000・2010年)



○ 男女別労働力率(2010年)

- ・男性は77.5%、女性は55.8%

○ 男性の年齢階級別の労働力率

- ・1980年から2010年の30年間で、男性の労働力率は60代以降を中心にやや低下するが、20代後半

から50代後半で90%以上と高く、「台形型」のグラフ形状に大きな変化はない。

○ 女性の年齢階級別の労働力率

- ・女性の労働力率は、25～29歳の85.7%を頂点に、30～34歳で79.5%と高く、30代後半～50代前

半では70%台を保ち、それ以降は徐々に低下している。

従来は、新卒で仕事に就いたのちに、結婚、出産、育児のために離職し、子育てが一段落した際にパート・アルバイトなどに従事するという就業パターンをあらわして、女性の労働力率を描くグラフは「M字型」を示していた。しかし、近年の未婚女性の増

加に加えて、晩婚・晩産化などから、女性の働き方が変化しつつあり、30～34歳にあったM字の底は35～39歳にシフトしながら浅くなり、従来のようなM字型ではなくなってきている。こうした変化の結果、1980年と2010年を比較すると、25～29歳で22.0ポイント、30～34歳で25.8ポイントという非常に大きな労働力率の上昇がみられる。

③ 配偶関係別労働力率

有配偶女性の労働力率(51%)は、有配偶男性(82%)と比べて低いものの、全ての年齢階級で2005年を上回っており、20代後半～50代後半で6割前後である。

図31 男女・5歳階級・配偶関係別労働力率(2010年)

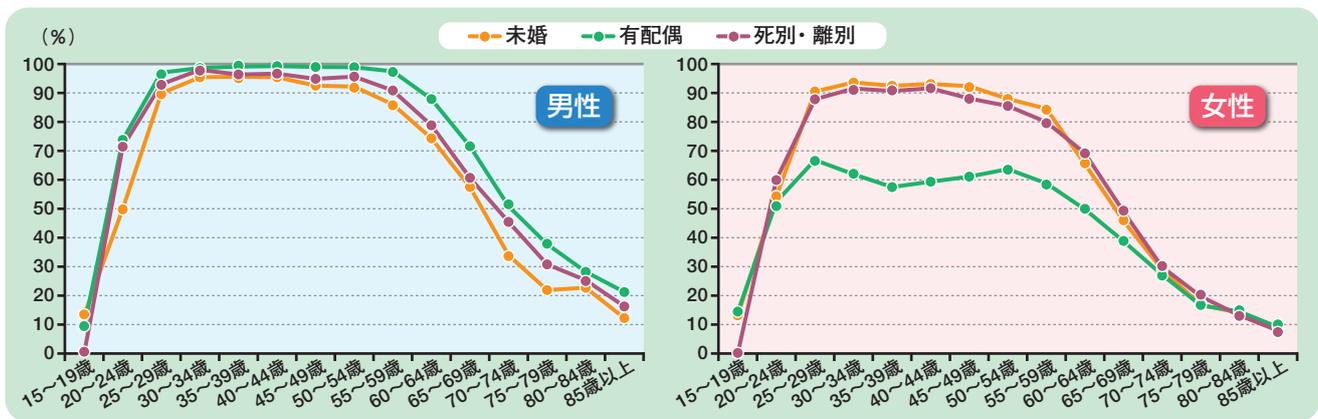


図32 5歳階級別有配偶女性の労働力率の推移(1995～2010年)

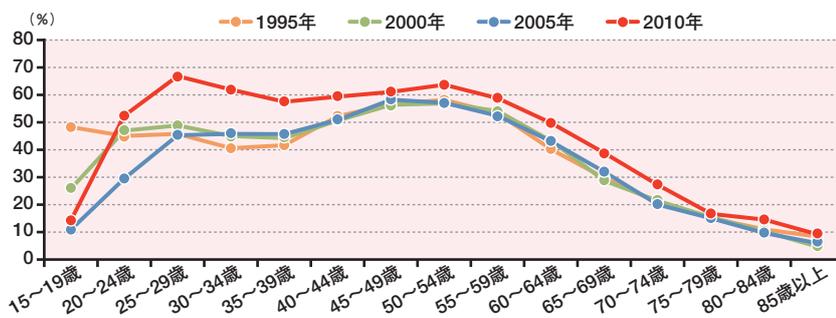
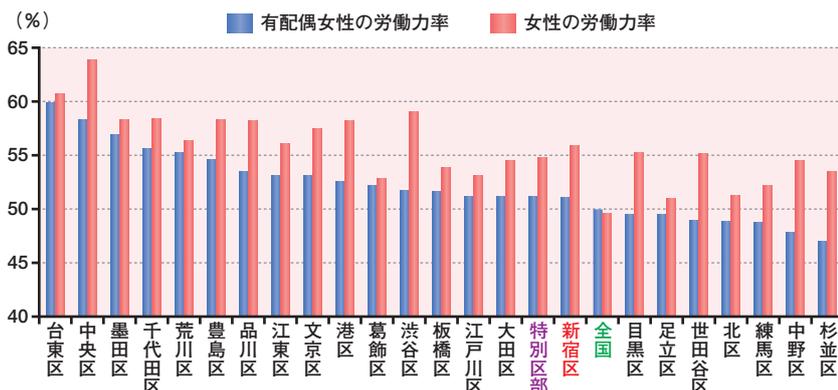


図33 女性・有配偶女性の労働力率(23区・全国 2010年) <有配偶女性の労働力率の高い順>



○配偶関係・年齢別の労働力率

- ・男性の労働力率のグラフは、未婚、有配偶、死・離別とも20代後半から50代が高い台形型
- ・女性の労働力率のグラフは、未婚、死・離別は男性とほぼ同様の台形型

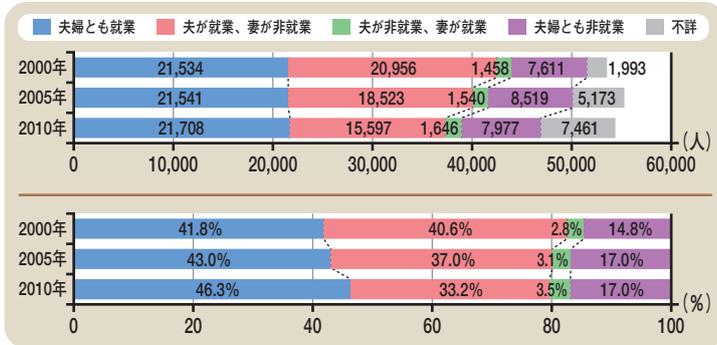
○有配偶女性の労働力率

- ・有配偶女性の労働力率は、未婚女性や死・離別女性に比べて低い。また、25～29歳の66.9%に比べ35～39歳は57.5%と低く、50～54歳は63.7%となり、グラフの形状は「M字型」を示している。
- ・有配偶女性では、1995年から2005年にかけて多くの年齢階級で労働力率がほぼ同様の水準を保っていたが、2005年から2010年にかけては、すべての年齢階級で労働力率が上昇し、特に20代、30代の上昇が顕著である。
- ・有配偶女性全体の労働力率(51.0%)は、全国(50.0%)や特別区(51.1%)と同水準である。

④ 夫婦の労働力状態

- ・「夫婦とも就業」の共働き世帯の割合は46%と最も高く、上昇傾向にある。
- ・「夫が就業、妻が非就業」の専業主婦世帯の割合は33%で、低下傾向にある。

図 34 夫婦のいる一般世帯の就業状態の推移 (2000～2010年)



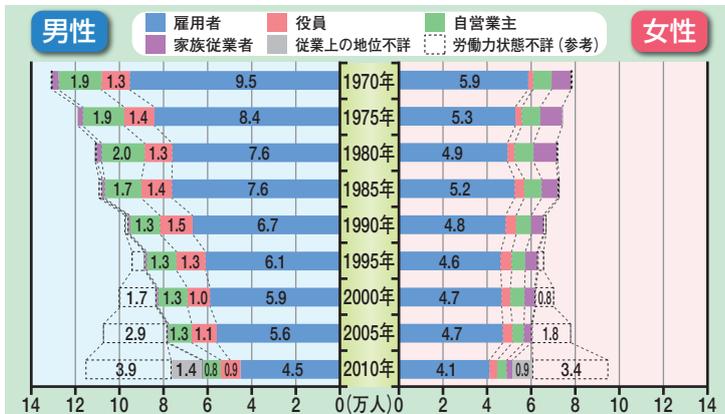
○ 夫婦のいる一般世帯の就業状態

- ・夫婦のいる一般世帯は 54,389 世帯で、その就業状態と推移をみると、「夫婦とも就業」の共働き世帯が最も多く(21,708 世帯)、世帯数は 2000 年から 2010 年にかけてほぼ横ばいだが、割合は 4.5 ポイントに上昇して 46.3
- ・「夫が就業、妻が非就業」の専業主婦世帯は、2000 年の 20,956 世帯から 15,597 世帯に減少し、割合も 7.4 ポイント低下して 33.2%
- 夫婦の就業状態「不詳」: 7,461 世帯(夫婦のいる一般世帯の 13.7%)

(2) 従業上の地位

- ・雇用者のうち女性の割合は48%で、上昇傾向にある。
- ・女性の雇用者のうち正規雇用者の割合は57%で、全国や特別区と比べて高い。

図 35 男女・従業上の地位別 15 歳以上就業者数の推移 (1970～2010年)



○ 従業上の地位別 15 歳以上就業者

- ・2010 年の 15 歳以上就業者(137,299 人)を従業上の地位別にみると、「雇用者」は 86,145 人(従業上の地位「不詳」を除く 15 歳以上就業者の 75.4%)、「役員」は 12,485 人(同 10.9%)、「自営業主」は 12,422 人(同 10.9%)、「家族従業者」は 3,217 人(同 2.8%)

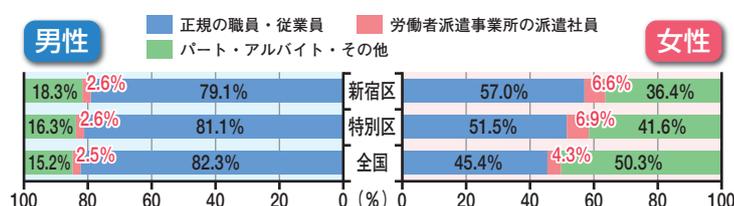
○ 雇用者の内訳

- ・雇用者を男女別にみると、男性雇用者は 45,062 人、女性雇用者は 41,083 人で、女性の割合は 47.7%。1970 年からの変化をみると、雇用者数は減少傾向が続いているが、雇用者に占める女性の割合は上昇が続いている。
- ・雇用者のうち正規の職員・従業員の割合は、男性は 79.1% で全国や特別区と大きな違いがないが、女性は 57.0% で全国(45.4%) や特別区(51.5%) より高く、一方、パート等の割合(36.4%) は全国(50.3%) や特別区(41.6%) より低くなっている。

図 36 雇用者(男女計)に占める女性の割合の推移 (1970～2010年)



図 37 男女別雇用者の 3 分類割合 (特別区・全国 2010年)



- 従業上の地位「不詳」: 23,030 人(15 歳以上就業者の 16.8%)

(3) 産業

① 産業大分類別就業者

- ・新宿区に常住する15歳以上就業者のうち、第3次産業の就業者の割合は89%と、23区で5番目に高い。
- ・全国に比べ「情報通信業」や「不動産、物品賃貸業」の就業者の割合が高く、「製造業」や「建設業」が低い。

図38 産業3部門別15歳以上就業者数と割合の推移 (1980～2010年)

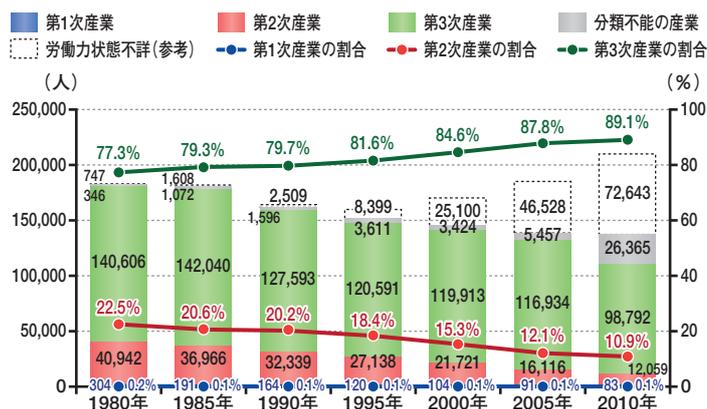


図39 産業大分類別15歳以上就業者の割合 (2010年)

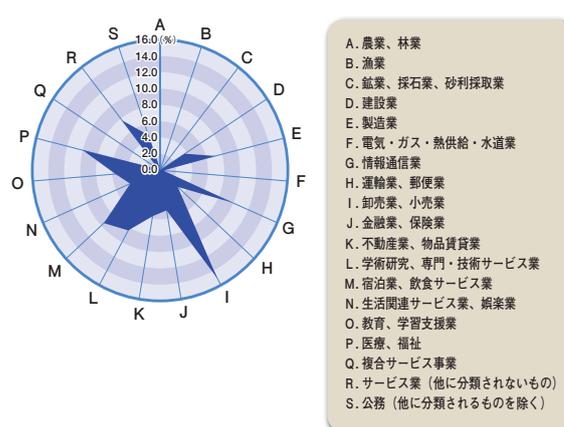
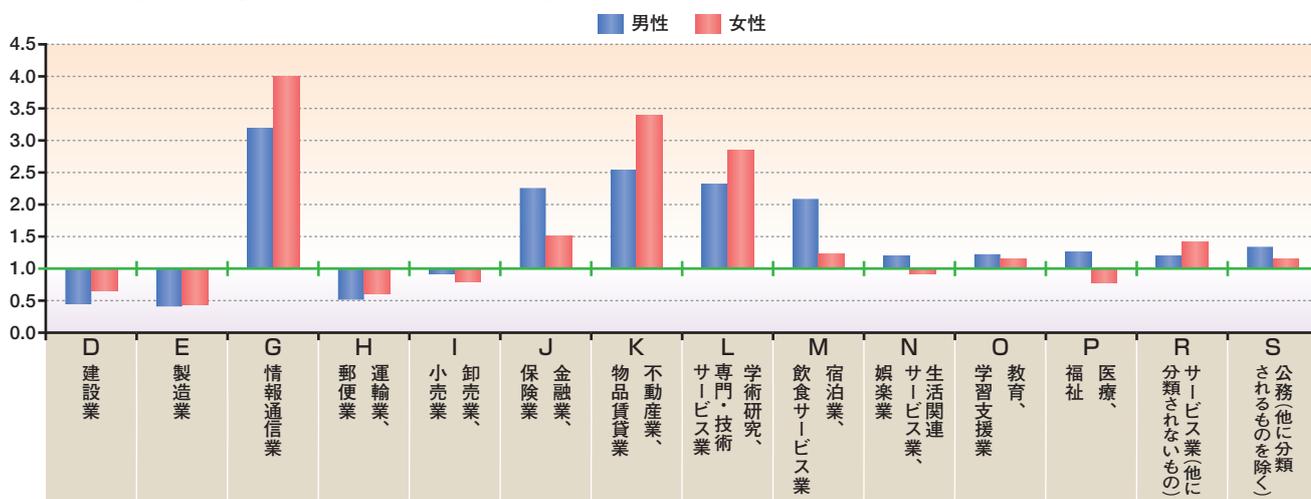


図40 男女・産業大分類別にみた新宿区の産業別割合の大きさ (全国の同一産業別割合に対する比)(2010年)



※ グラフの値は、新宿区の産業別割合を全国の産業別割合で割った値

※ 新宿区の就業者数が著しく少ない産業(A 農業、林業、B 漁業、C 鉱業等、F 電気・ガス等、Q 複合サービス事業)を除く。

○新宿区に常住する15歳以上就業者の産業3部門別割合

- ・第1次産業(農業、林業、漁業)は83人(「分類不能の産業」を除く就業者の0.1%)、第2次産業(鉱業等、建設業、製造業)は12,059人(同10.9%)、第3次産業は98,792人(同89.1%)
- ・第3次産業の割合は、千代田区、港区などに次ぎ5番目に高い。

○産業大分類別15歳以上就業者の割合

- ・「卸売業、小売業」(同15.0%)、「医療、福祉」(同10.0%)、「情報通信業」(同9.8%)、「宿泊業、飲食サー

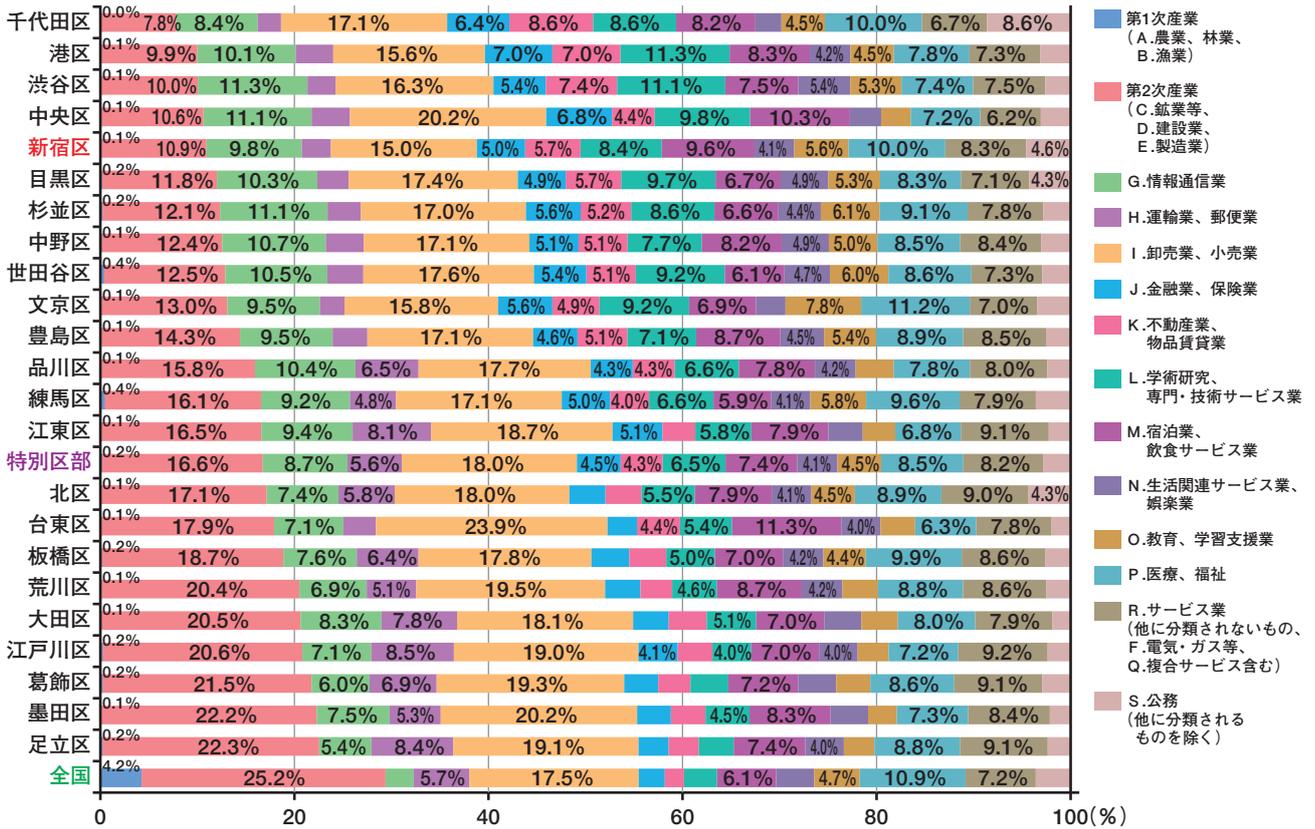
ビス業」(同9.6%)の割合が高い。

○全国の産業別割合との比(全国を「1」とし、就業者数が著しく少ない産業を除く)

- ・全国に比べ、「情報通信業」(男3.2、女4.0)、「不動産業、物品賃貸業」(男2.5、女3.4)、「学術研究、専門・技術サービス業」(男2.3、女2.8)、「金融業、保険業」(男2.3、女1.5)が高い。

○「分類不能の産業」：26,365人(15歳以上就業者の19.2%)

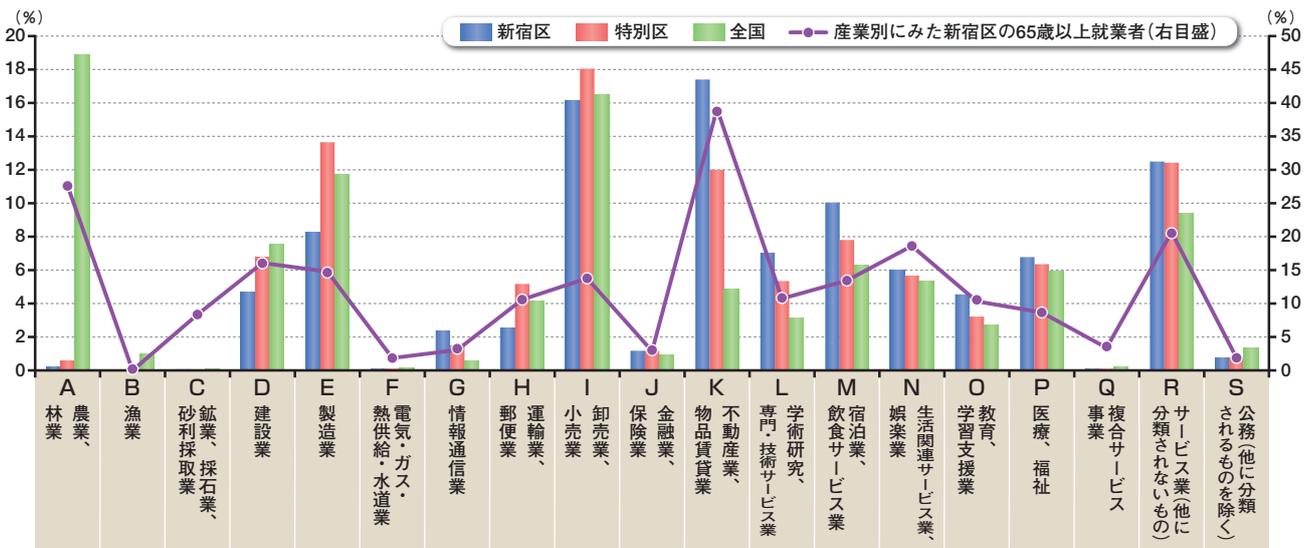
図 41 産業別就業者の割合(23区・全国 2010年) <第1次・第2次産業の合計割合の低い順>



② 産業大分類別 65 歳以上就業者

新宿区に常住する 65 歳以上就業者の産業は、「不動産業、物品賃貸業」、「卸売業、小売業」が多く、特に「不動産業、物品賃貸業」の就業者の割合は、全国や特別区に比べてかなり高い。

図 42 65 歳以上就業者総数に占める産業別構成割合(特別区・全国 2010年)



○ 65 歳以上就業者

- 65 歳以上就業者に占める産業別割合は、「不動産業、物品賃貸業」(17.4%)、「卸売業、小売業」(16.1%)、「サービス業(他に分類されないもの)」(12.5%) など

が高い。

- 産業別にみた 15 歳以上就業者に占める 65 歳以上就業者の割合も、「不動産業、物品賃貸業」が高い (39.0%)。

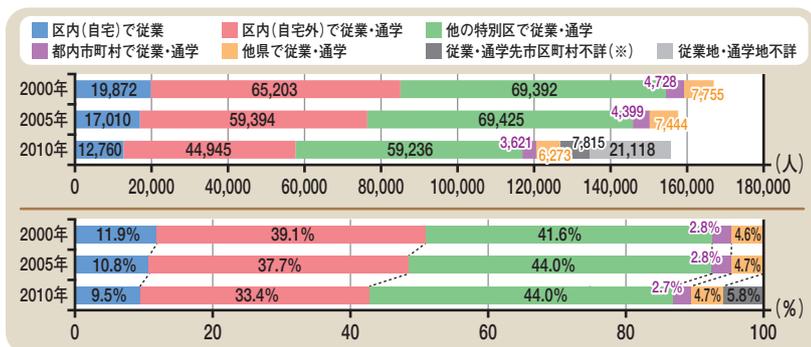
4. 「従業地・通学地」に関する集計結果

(1) 新宿区に常住する就業者・通学者

① 就業者・通学者の従業地・通学地

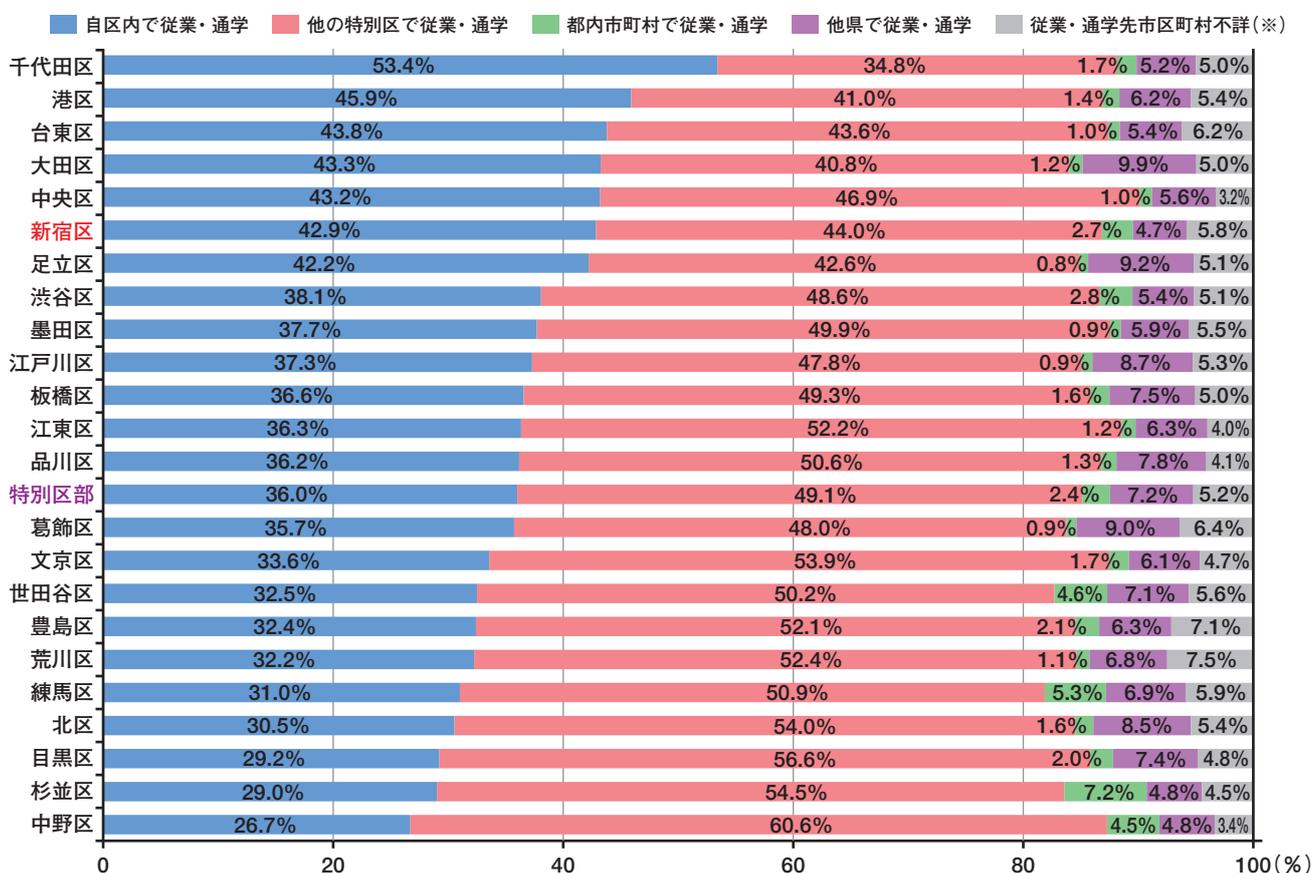
- ・新宿区に常住する15歳以上就業者・通学者のうち、自宅就業者は1割で、9割が通勤・通学者である。
- ・「区内」に従業・通学する者の割合は43%で、23区で6番目に高いが、2005年に比べて人数、割合とも減少傾向にある。
- ・「他の特別区」の44%と合せ、近接地に9割近くが従業・通学している。

図43 新宿区に常住する15歳以上就業者・通学者の従業地・通学地別人口と割合の推移(2000～2010年)



- 新宿区に常住する15歳以上の就業者・通学者の従業地・通学地
- ・従業地・通学地が「区内」(新宿区内)の者(57,705人)の割合は42.9%(自宅9.5%、自宅外33.4%)で、23区の中では、千代田区、港区などに次ぎ6番目に高い。
- ・しかし、2005年に比べ、人数は18,699人(24.5%)の減、割合は5.6ポイントの減
- ・「他の特別区」への通勤・通学者(59,236人)の割合は44.0%で、「区内」と合すると86.9%を占める。
- 従業地・通学地「不詳」:21,118人(15歳以上就業者・通学者の13.6%)

図44 自区に常住する15歳以上就業者・通学者の従業地・通学地(23区 2010年) <自区内で従業・通学する者の割合の高い順>

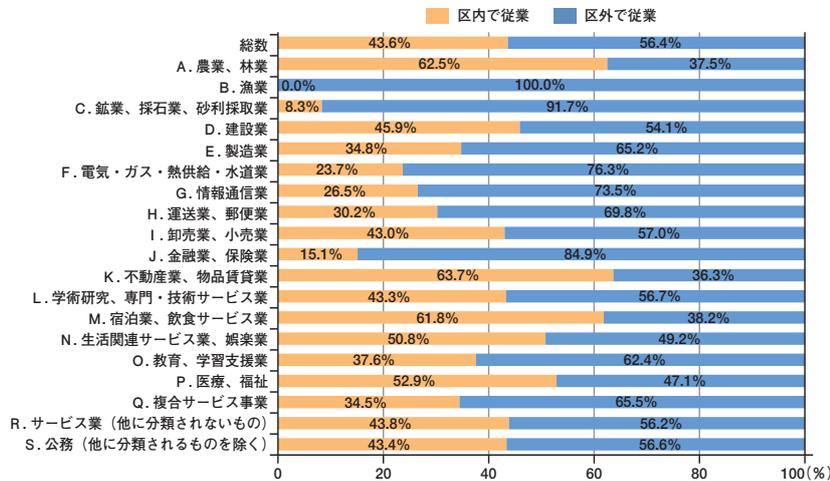


※「従業・通学先市区町村不詳」とは、自区外の市区町村に従業・通学するが、市区町村名が不明な者をいい、割合を算出する際の分母に含めている(従業地・通学地「不詳」は分母から除いている)。

② 産業別従業地

「区内」での就業割合が高い産業は、「不動産業、物品賃貸業」、「宿泊業、飲食サービス業」などで、各産業の就業者の6割以上を占める。

図45 新宿区に常住する15歳以上就業者の産業大分類別従業地割合(2010年)



○新宿区に常住する15歳以上就業者の産業別従業地

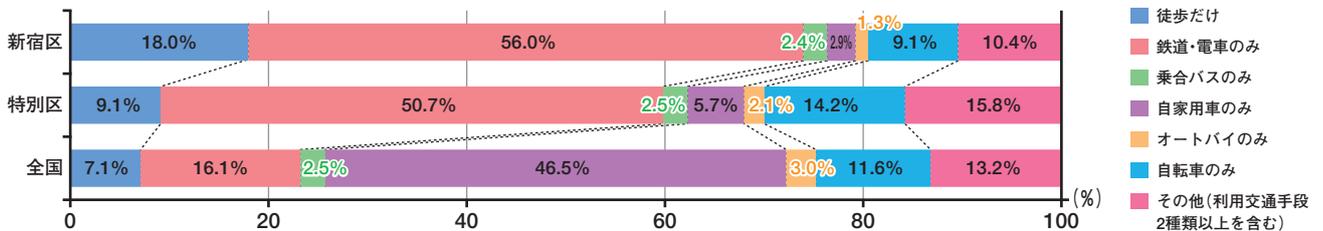
- ・「区内」での就業割合が高い産業は、「不動産業、物品賃貸業」63.7%、「宿泊業、飲食サービス業」61.8%、「医療、福祉」52.9%など
- ・「区外」での就業割合が高い産業は、「金融業、保険業」84.9%、「情報通信業」73.5%など

〔就業者が著しく少ない産業(農業、林業、漁業、鉱業等、電気・ガス等、複合サービス事業)を除く。〕

③ 通勤・通学者の利用交通手段

新宿区に常住する15歳以上の通勤・通学者の利用交通手段の割合は、「鉄道・電車」のみの利用が56%、「徒歩だけ」が18%で、ともに全国や特別区と比べて高い。「自家用車」のみの利用の割合は3%で、全国と比べてかなり低い。

図46 利用交通手段別15歳以上通勤・通学者割合(特別区・全国 2010年)



○新宿区に常住する15歳以上の通勤・通学者の利用交通手段

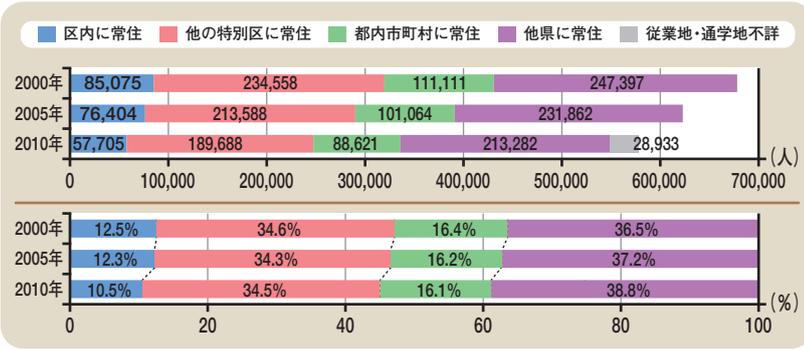
- ・「電車・鉄道」のみの利用割合が56.0%(全国16.1%、特別区50.7%)と最も高く、次いで「徒歩だけ」が18.0%(全国7.1%、特別区9.1%)
- ・「自転車」のみ利用の割合は9.1%と3番目に高いが、全国(11.6%)や特別区(14.2%)と比べてやや低い。
- ・「自家用車」のみ利用の割合は2.9%(全国46.5%、特別区5.7%)と低い。

(2) 新宿区を従業地・通学地とする就業者・通学者

① 通勤・通学者の常住地

新宿区を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者のうち、「区外」から通勤・通学する者は約49万人で、全体の9割を占める。その数は近年減少しているが、割合は上昇しており、23区で5番目に高い。

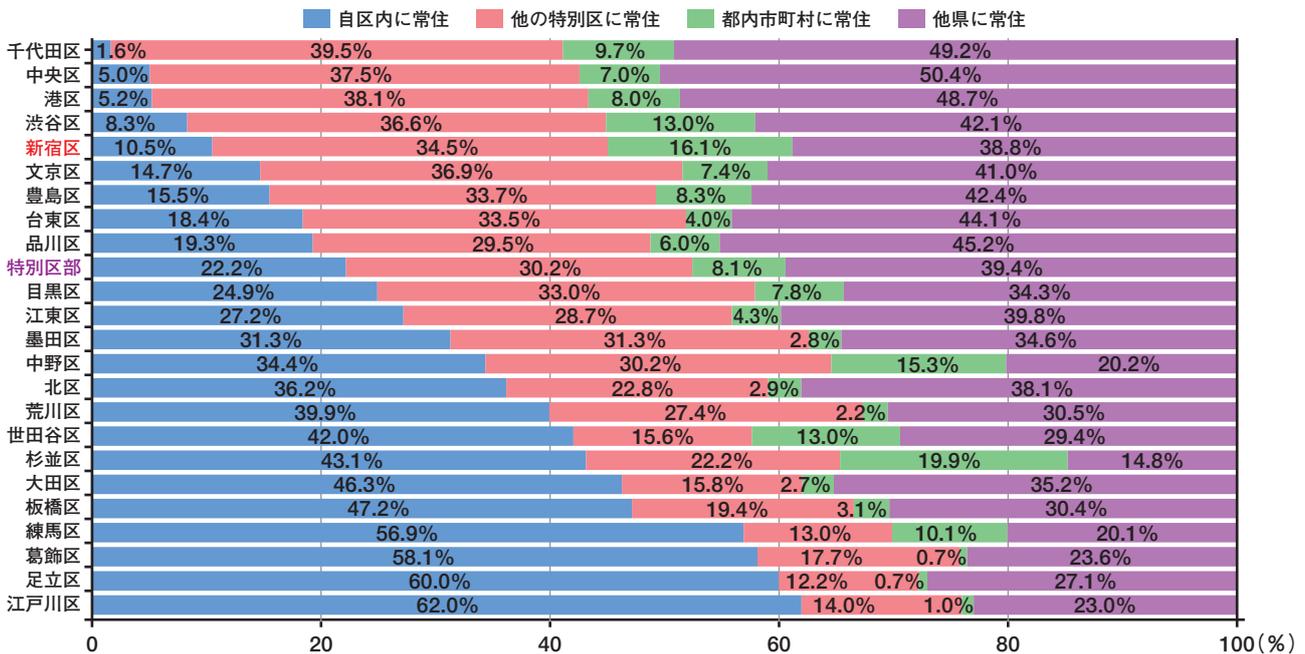
図 47 新宿区を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地(2000～2010年)



○新宿区を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地

- ・常住地が「区外」の者(491,591 人)の割合は 89.5%で、23 区の中では、千代田区、中央区などに次ぎ 5 番目に高い。
- ・うち常住地が「他の特別区」の者は 34.5%、「都内市町村」の者は 16.1%、「他県」の者は 38.8%

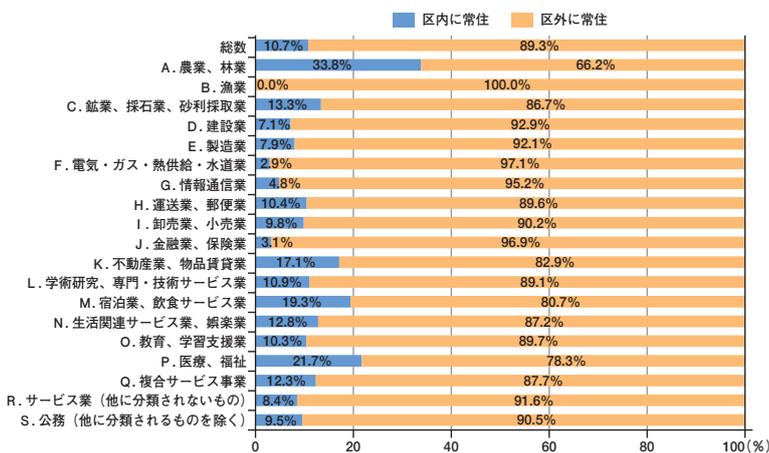
図 48 自区を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地(23 区 2010 年) <自区内に常住する者の割合の低い順>



② 産業別常住地

「区外」に常住する就業者の割合が高い産業は、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「金融業、保険業」、「情報通信業」などで、各産業の就業者の 95%を超える。

図 49 新宿区で従業する 15 歳以上就業者の産業大分類別常住地割合(2010 年)



○新宿区で従業する 15 歳以上就業者の産業別常住地

- ・「区内」に常住する就業者の割合が高い産業は「医療、福祉」21.7%、「宿泊業、飲食サービス業」19.3%、「不動産業、物品賃貸業」17.1%など
- ・「区外」に常住する就業者の割合が高い産業は「電気・ガス・熱供給・水道業」97.1%、「金融業、保険業」96.9%、「情報通信業」95.2%など

就業者が著しく少ない産業(農業、林業、漁業、鉱業等)を除く。

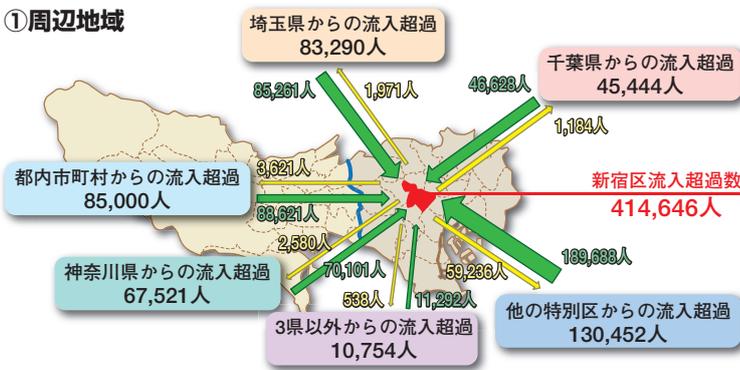
(3) 流出人口・流入人口

① 流出・流入人口と流入超過人口

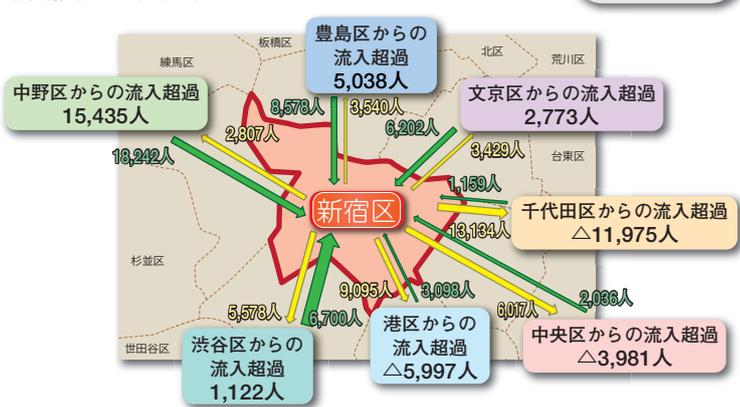
- ・新宿区への流入人口は49.2万人で、新宿区からの流出人口(7.7万人)を大きく上回る(41.5万人)。
- ・新宿区は、都心3区を除くほぼ全ての市区町村に対して流入超過となっている。

図50 新宿区への流出・流入と流入超過数(2010年)

① 周辺地域



② 隣接区・都心3区



○ 流出人口

- ・15歳以上の通勤・通学者のうち、新宿区から他の市区町村に通勤・通学する「流出人口」は76,945人
- ・その流出先は、「他の特別区」が59,236人(流出先市区町村不詳(7,815人)を除く流出人口の85.7%)、「都内市町村」が3,621人(同5.2%)、「他県」が6,273人(同9.1%)

○ 流入人口

- ・15歳以上の通勤・通学者のうち、他の市区町村から新宿区に通勤・通学する「流入人口」は491,591人
- ・その流入元は、「他の特別区」が189,688人(流入人口の38.6%)、「都内市町村」が88,621人(同18.0%)、「他県」が213,282人(同43.4%)
- ・「他県」からの流入を県別にみると、埼玉県が85,261人(同17.3%)、神奈川県が70,101人(同14.3%)、千葉県が46,628人(同9.5%)と多く、3県で「他県」からの流入人口の95%を占める。

○ 流入超過人口

- ・新宿区への流入超過人口(流出人口を上回る流入人口)は、「他の特別区」が130,452人、「都内市町村」が85,000人、「他県」が207,009人
- ・千代田区(△11,975人)、港区(△5,997人)、中央区(△3,981人)の都心3区に対しては、新宿区からの流出が流入を上回っているが、その他ほぼ全ての市区町村に対して流入超過となっている。

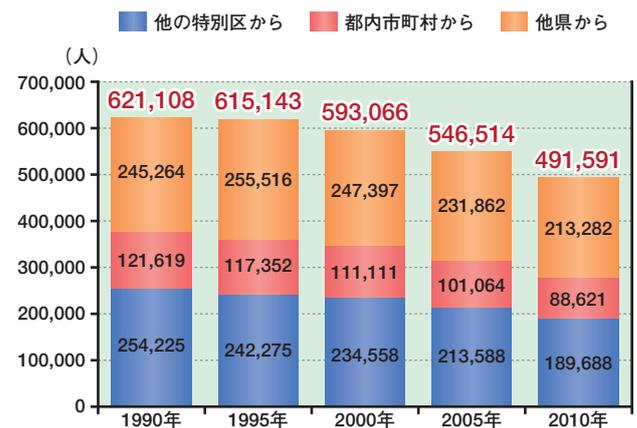
② 流出人口・流入人口の推移

- ・「他の特別区」への流出が、流出人口の86%を占める。流出人口は近年減少し続けている。
- ・「他県」からの流入が、流入人口の43%を占める。流入人口は近年減少し続けている。

図51 新宿区からの流出人口(15歳以上通勤・通学者)の推移(1990～2010年)



図52 新宿区への流入人口(15歳以上通勤・通学者)の推移(1990～2010年)



○流出人口・流入人口の推移

・流出人口、流入人口とも、この20年間減少し続け、流出人口は、1990年(96,413人)に比べて19,468

人(20.2%)減の76,945人。流入人口は、1990年(621,108人)に比べて129,517人(20.9%)減の491,591人

③ 新宿区からの流出・新宿区への流入人口の多い市区町村

- ・新宿区からの流出人口は、千代田区、港区、中央区、渋谷区などへが多い。
- ・新宿区への流入人口は、横浜市、練馬区、杉並区、世田谷区などからが多い。
- ・各市区町村の15歳以上人口に占める新宿区への流入人口の割合の高い市区町村は、中野区(6.4%)、杉並区(5.0%)、西東京市(4.6%)、調布市(4.0%)、練馬区(3.8%)など新宿区の西側の市区町村が多い。

図53 新宿区からの流出人口・新宿区への流入人口の多い市区町村(2010年)

市区町村名		流出人口	市区町村名		流入人口
1	千代田区	13,134	1	横浜市	27,912
2	港区	9,095	2	練馬区	23,829
3	中央区	6,017	3	杉並区	21,849
4	渋谷区	5,578	4	世田谷区	20,311
5	豊島区	3,540	5	川崎市	19,564
6	文京区	3,429	6	さいたま市	18,391
7	中野区	2,807	7	中野区	18,242
8	江東区	2,108	8	板橋区	12,123
9	品川区	2,093	9	江戸川区	9,948
10	杉並区	1,789	10	江東区	8,856
11	世田谷区	1,652	11	豊島区	8,578
12	横浜市	1,230	12	八王子市	8,244
13	台東区	1,220	13	西東京市	7,908
14	練馬区	1,060	14	調布市	7,676
15	目黒区	1,047	15	大田区	7,647
16	大田区	1,030	16	川口市	7,542
17	板橋区	1,004	17	北区	7,461
18	川崎市	765	18	足立区	7,384
19	北区	674	19	市川市	7,384
20	墨田区	662	20	船橋市	7,177
21	武蔵野市	490	21	所沢市	7,148
22	さいたま市	487	22	相模原市	6,778
23	八王子市	472	23	渋谷区	6,700
24	江戸川区	441	24	千葉市	6,519
25	足立区	375	25	町田市	6,215
26	荒川区	295	26	文京区	6,202
27	調布市	289	27	府中市	5,932
28	三鷹市	272	28	小平市	5,573
29	千葉市	266	29	松戸市	5,457
30	立川市	230	30	品川区	5,369

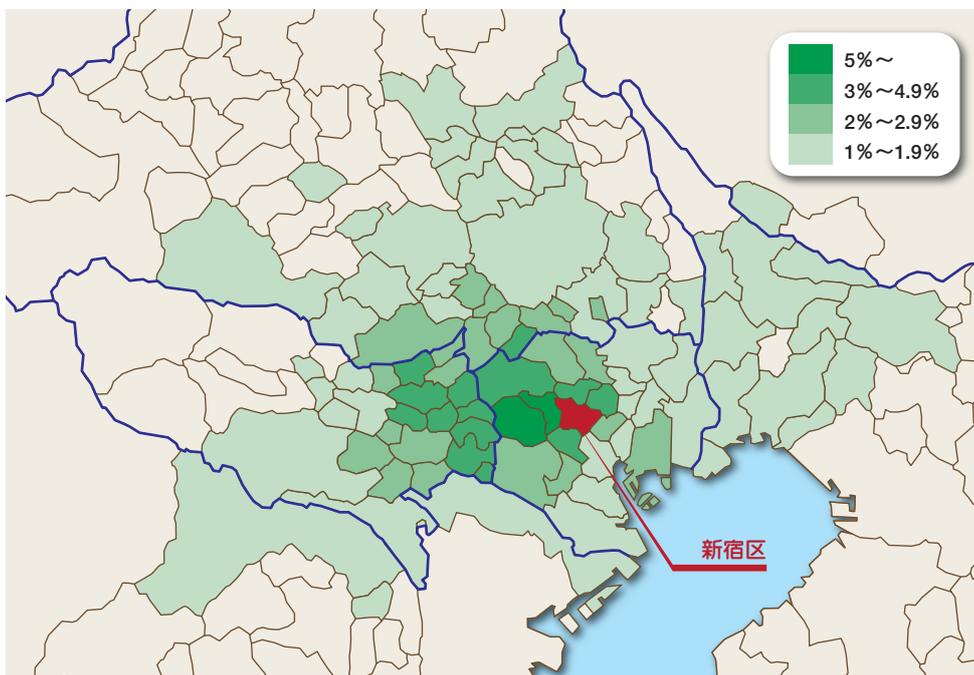
○新宿区からの流出人口の多い市区町村

・新宿区に常住する15歳以上の就業者・通学者の流出先(従業地・通学地)を市区町村別にみると、千代田区(13,134人)、港区(9,095人)、中央区(6,017人)、渋谷区(5,578人)、豊島区(3,540人)など、都心区や隣接区への流出が多い。

○新宿区への流入人口の多い市区町村

・新宿区を従業地・通学地とする15歳以上の就業者・通学者の流入元(常住地)を市区町村別にみると、横浜市(27,912人)、練馬区(23,829人)、杉並区(21,849人)、世田谷区(20,311人)などが多い。

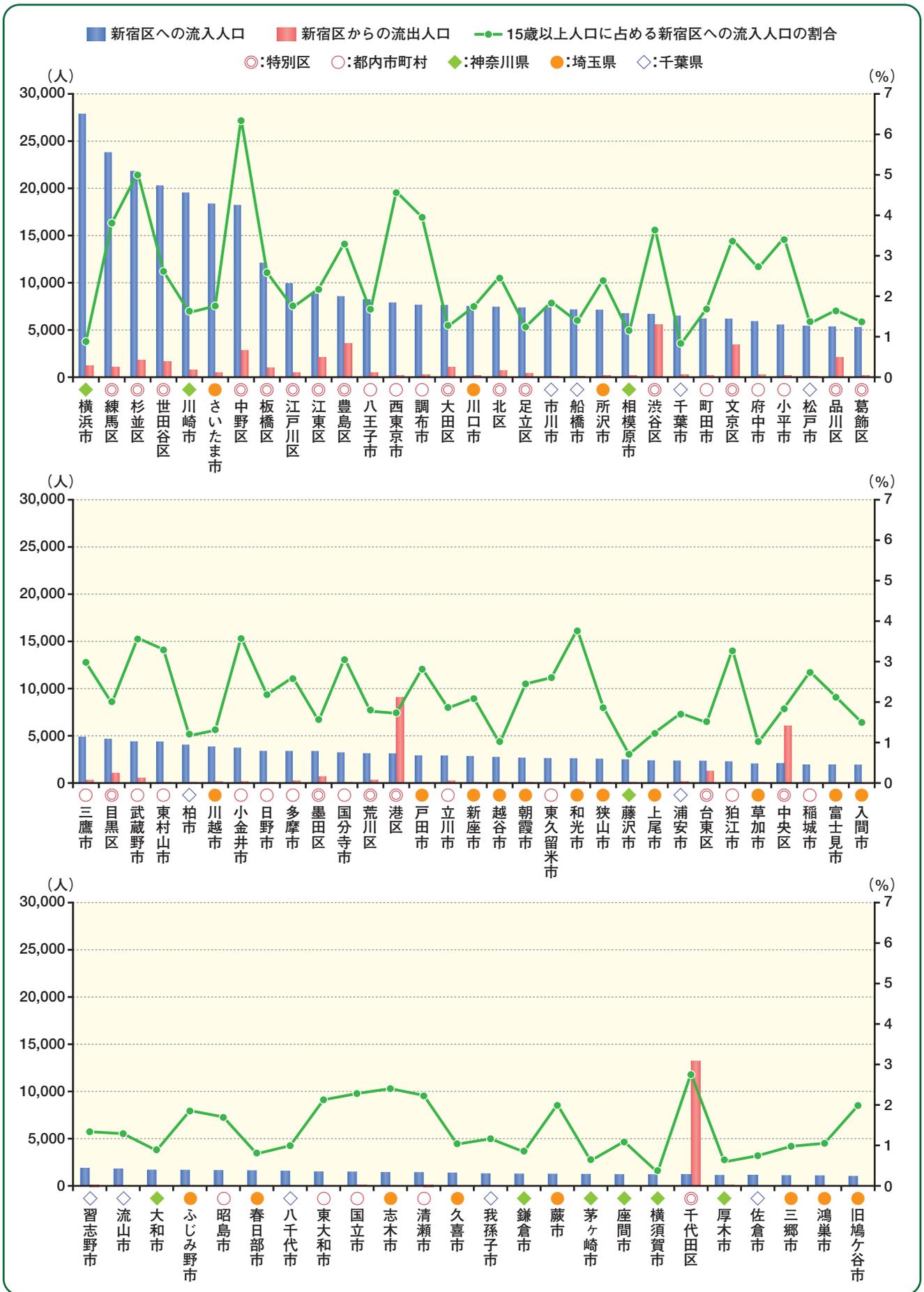
図54 各市区町村の15歳以上人口に占める新宿区への流入人口(就業者・通学者)の割合(2010年)



○流入人口割合

・各市区町村の15歳以上人口(非就業者・通学者を含む)に占める新宿区への流入人口(就業者・通学者)の割合をみると、中野区(6.4%)、杉並区(5.0%)、西東京市(4.6%)、調布市(4.0%)のほか、練馬区、和光市、渋谷区、小金井市、武蔵野市、小平市、文京区、豊島区、狛江市、東村山市、国分寺市、三鷹市が3%を超える。鉄道による交通の利便性などからか、新宿区の西側の市区町村が目立つ。

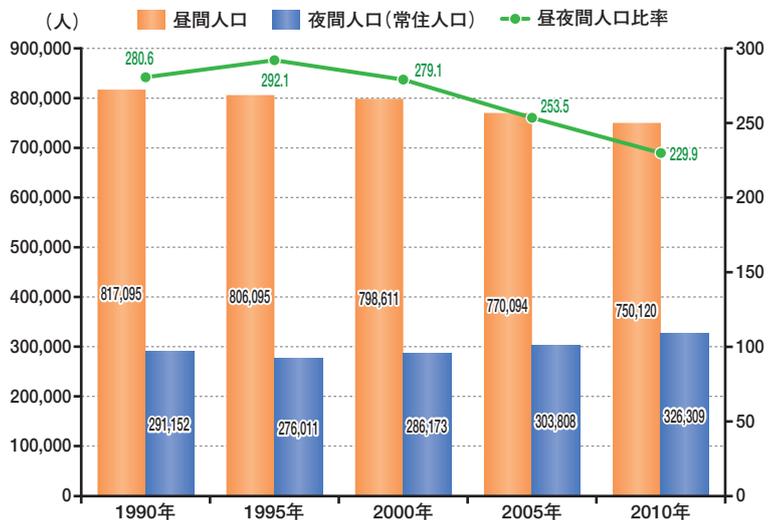
図 55 新宿区への流入人口の多い(1,000人以上) 市区町村と流出人口・新宿区への流入人口割合 (2010年) <流入人口の多い順>



(4) 昼間人口・夜間人口

- ・昼間人口は、特別区では港区が最も多く、新宿区は75万人で4番目に多い。
- ・昼夜間人口比率は229.9で、2005年に比べて低下。千代田区が全国で最も高く、新宿区は特別区で5番目、全国でも6番目に高い。

図56 昼夜間人口・昼夜間人口比率の推移(1990～2010年)



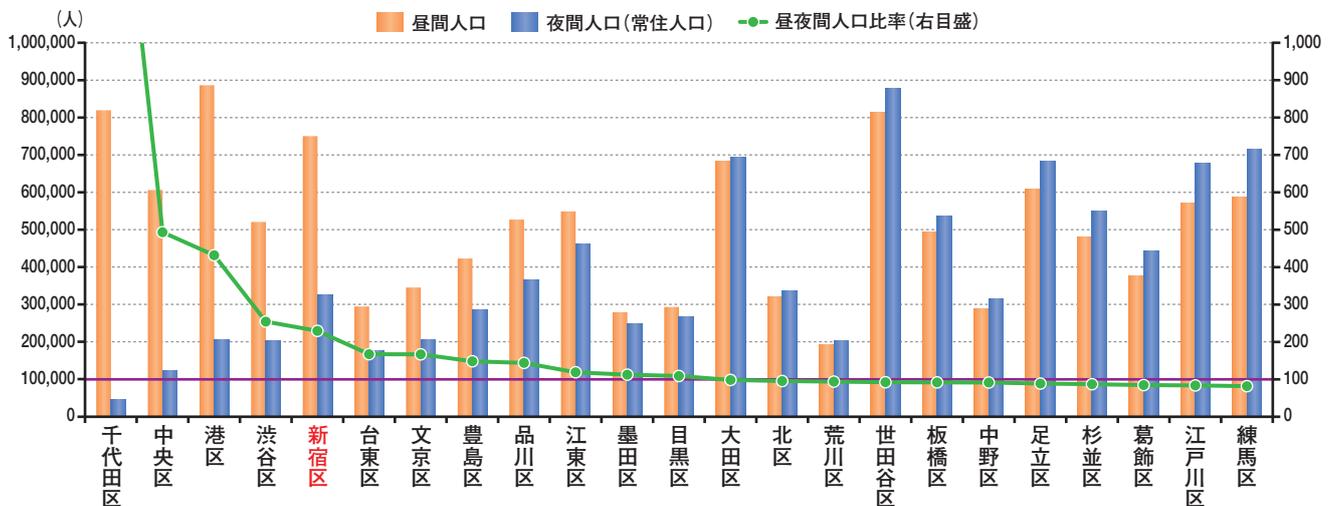
○ 昼夜間人口

- ・2010年の新宿区の昼間人口は750,120人、夜間人口(常住人口)は326,309人で、昼夜間人口比率(夜間人口100人あたりの昼間人口の割合)は229.9
- ・特別区の中で、昼間人口は、港区(88.6万人)、千代田区(81.9万人)、世田谷区(81.3万人)に次いで4番目に多い。
- ・昼夜間人口比率は、千代田区、中央区、港区、渋谷区に次いで5番目に高く、全国でも6番目(政令指定都市の行政区を除く)
- ・昼間人口比率は近年減少傾向にあり、1995年の292.1に比べ、62.2ポイント低下

○ 20大都市

- ・20大都市では、昼間人口は特別区が約1,171万人と最も多く、次いで大阪市の約354万人、横浜市の約338万人など
- ・昼夜間人口比率は大阪市が132.8と最も高く、次いで特別区の130.9など

図57 23区の昼間人口・夜間人口・昼夜間人口比率(2010年) <昼夜間人口比率の高い順>



20大都市の昼間人口・夜間人口・昼夜間人口比率(2010年)

都市	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
札幌市	1,925,535	1,913,545	100.6
仙台市	1,121,965	1,045,986	107.3
さいたま市	1,133,978	1,222,434	92.8
千葉市	938,148	961,749	97.5
特別区	11,711,537	8,945,695	130.9
川崎市	1,275,628	1,425,512	89.5
横浜市	3,375,330	3,688,773	91.5
相模原市	630,432	717,544	87.9
新潟市	826,202	811,901	101.8
静岡市	739,584	716,197	103.3
浜松市	798,622	800,866	99.7
名古屋市	2,569,376	2,263,894	113.5
京都市	1,599,037	1,474,015	108.5
大阪市	3,538,576	2,665,314	132.8
堺市	794,507	841,966	94.4
神戸市	1,583,765	1,544,200	102.6
岡山市	739,068	709,584	104.2
広島市	1,198,347	1,173,843	102.1
北九州市	1,003,657	976,846	102.7
福岡市	1,637,813	1,463,743	111.9

昼夜間人口比率が上位の市区町村(2010年)

順位	市町村	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
1	千代田区	819,247	47,115	1738.8
-	大阪市中央区	465,786	78,687	591.9
2	中央区	605,926	122,762	493.6
3	港区	886,173	205,131	432.0
-	名古屋市中区	297,039	78,353	379.1
-	大阪府北区	382,705	110,392	346.7
4	愛知県飛島村	13,161	4,525	290.9
5	渋谷区	520,698	204,492	254.6
6	新宿区	750,120	326,309	229.9
-	神戸市中央区	276,972	126,393	219.1
-	大阪府西区	177,691	83,058	213.9
7	栃木県芳賀町	28,875	16,030	180.1
-	横浜市西区	170,450	94,867	179.7
-	広島市中区	229,879	130,482	176.2
8	京都府久御山町	27,825	15,914	174.8
-	福岡市博多区	365,990	212,527	172.2
-	京都市下京区	135,656	79,287	171.1
-	札幌市中央区	372,808	220,189	169.3
9	台東区	294,756	175,928	167.5
10	文京区	345,423	206,626	167.2

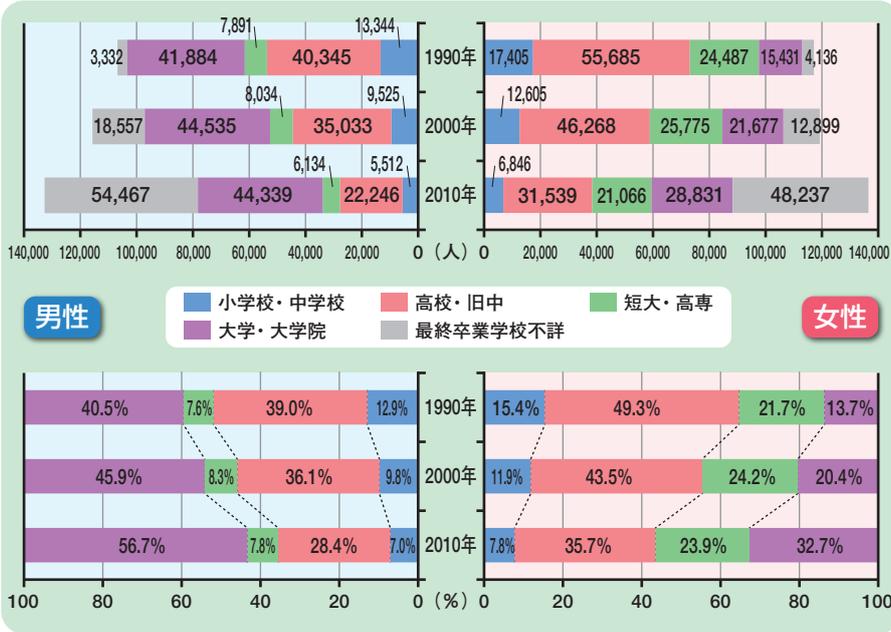
※ 統計局の集計にあわせ
政令指定都市の行政区
を掲載するが、参考値

※新宿区の昼間人口(750,120人) = 夜間人口(326,309人) - 流出人口(79,579人) + 流入人口(494,845人) + 従業・通学先市区町村不詳(8,545人)
※ 1990～2005年の夜間人口は、年齢「不詳」の者を除いている。

5.「教育」に関する集計結果

- ・高学歴化が進行し、「大学・大学院」を最終卒業学校とする者の割合は44%を占め、「短大・高専」と合わせると卒業者の6割にのぼる。特に女性の高学歴化が顕著で、短大以上での男女差がなくなっている。
- ・「在学者」のうち、大学・大学院、短大・高専の総人口に占める割合は5%で、23区で2番目に高い。新宿区は学生が多く住むまちである。

図58 男女・最終卒業学校別卒業者と割合の推移(1990～2010年)



○卒業者の最終卒業学校

- ・新宿区に常住する15歳以上の卒業者(「不詳」を除く)のうち、最終卒業学校を「大学・大学院」とする者は43.9%で、全国(19.9%)や特別区(35.8%)と比べてかなり高い。
- ・短大以上(大学・大学院、短大・高専)の割合は60.2%で、その男女比をみると、1990年は男性55.5%(49,775人)、女性44.5%(39,918人)であったのが、2010年には男性50.3%(50,473人)、女性49.7%(49,897人)と、男女間の差はなくなっている。

○最終卒業学校「不詳」:

102,704人(15歳以上卒業者の38.1%)

○在学者(大学等)

- ・新宿区に常住する在学者のうち、大学・大学院は15,086人、短大・高専は1,943人で、総人口に占める割合は、大学・大学院は4.6%、短大・高専は0.6%で、合せて5.2%と、23区の中では、文京区に次ぎ2番目に高い。

図59 最終卒業学校別卒業者の割合(特別区・全国 2010年)

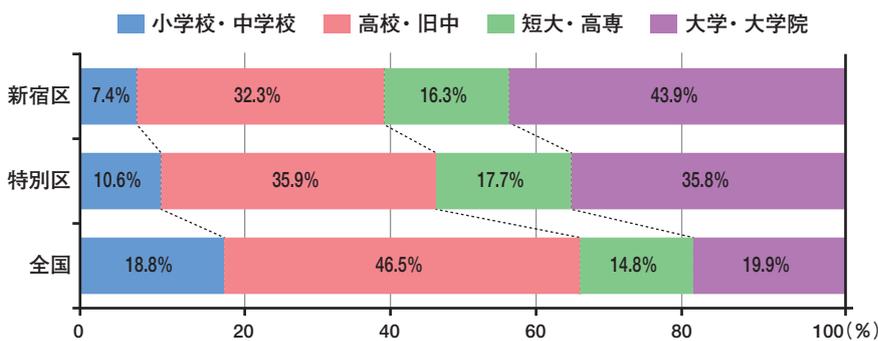
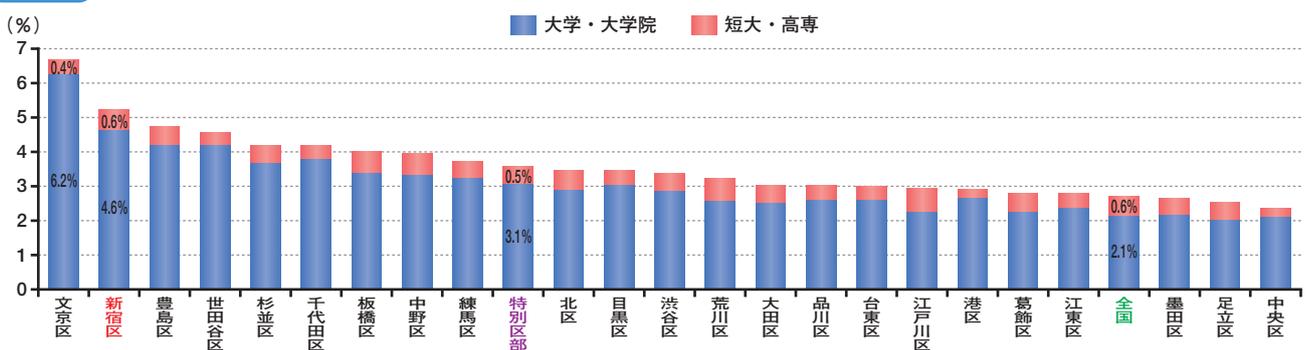


図60 大学・大学院及び短大・高専在学者の総人口に占める割合(23区・全国 2010年) <割合の高い順>





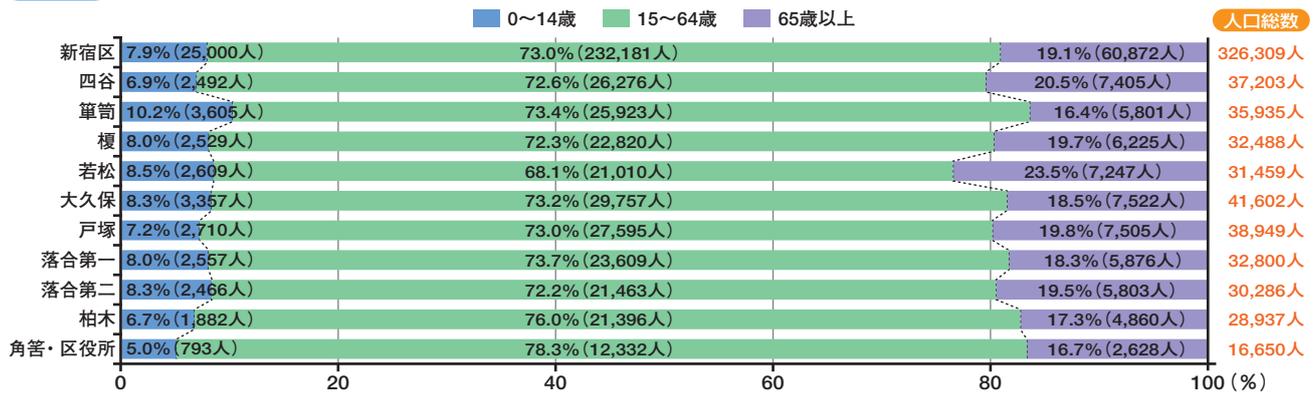
国勢調査・小地域集計からみる まちの特徴

1. 特別出張所地域別の集計結果

小地域集計による町丁別データを特別出張所地域別(P31 参照) にまとめました。(1) では主なデータについて、特別出張所地域間で比較を行いました。(2) では特別出張所地域別に主なデータを整理し、地域の特徴などを記載しました。

(1) 特別出張所地域の主なデータの比較

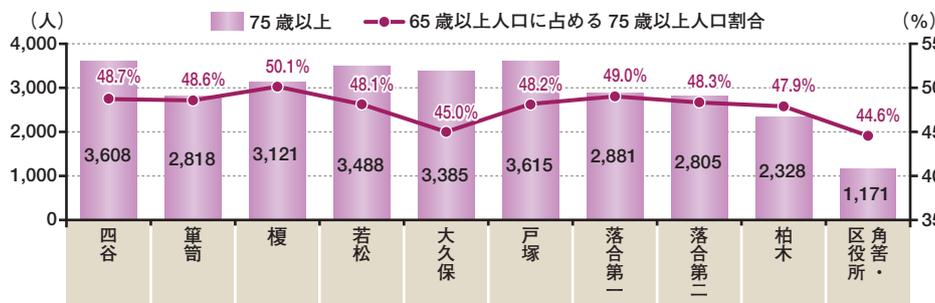
図 61 年齢 3 区分別人口の割合(新宿区・特出地域別 2010 年)



・「0～14歳」の割合は、筆筈地域(10.2%)で高く、柏木地域(6.7%)、角筈・区役所地域(5.0%)で低い。

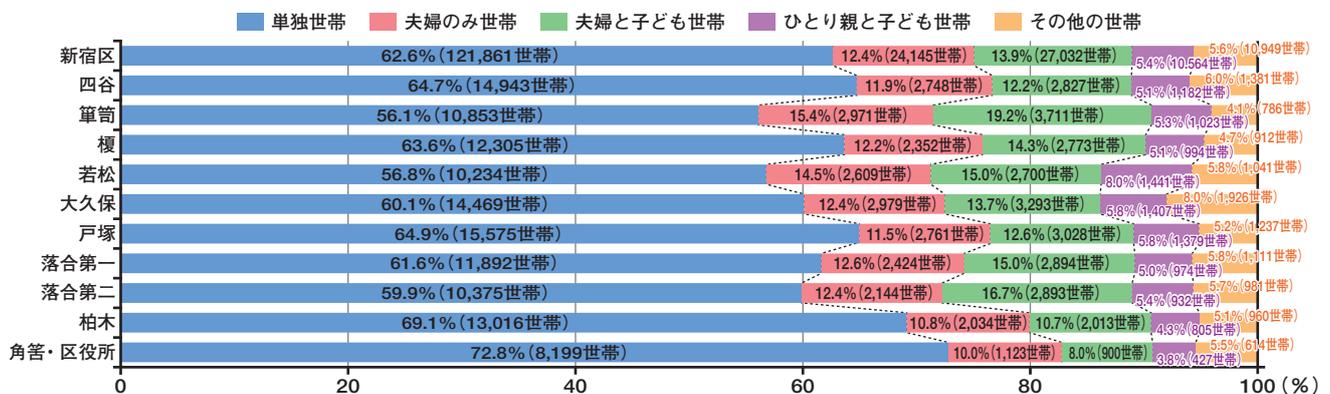
・「65歳以上」の割合は、若松地域(23.5%)で高く、筆筈地域(16.4%)、角筈・区役所地域(16.7%)で低い。

図 62 75 歳以上人口と、65 歳以上人口に占める割合(特出地域別 2010 年)



・65歳以上人口に占める75歳以上人口の割合は、榎地域(50.1%)で最も高く、角筈・区役所地域(44.6%)、大久保地域(45.0%)で低い。

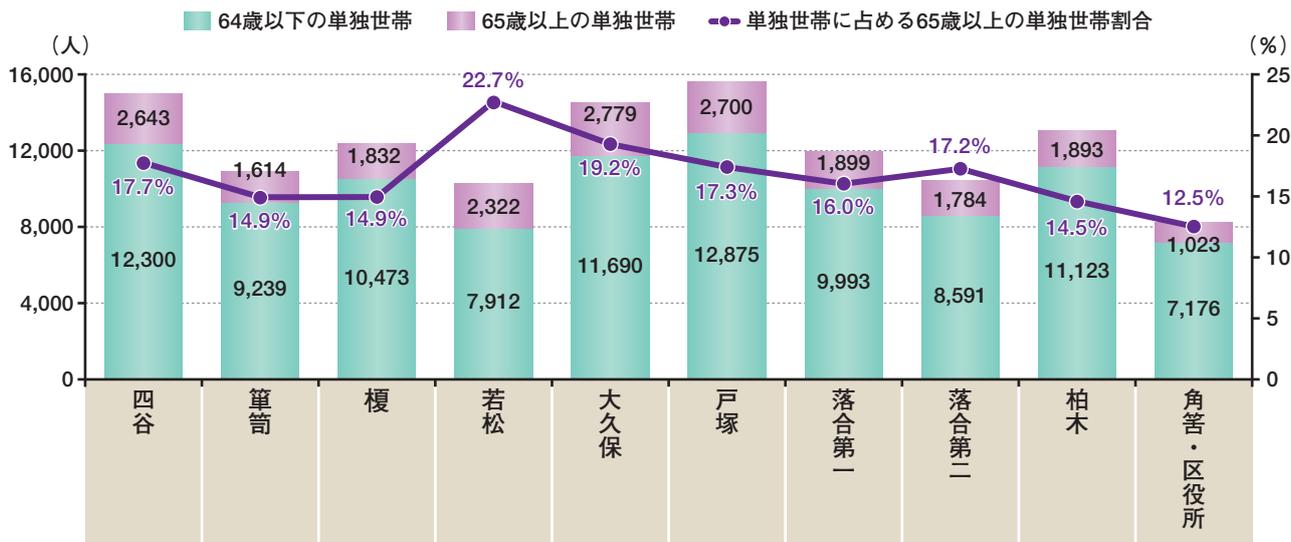
図 63 世帯の家族類型別割合(新宿区・特出地域別 2010 年)



・「単独世帯」の割合は、角筈・区役所地域(72.8%)、柏木地域(69.1%)で高く、筆筈地域(56.1%)、若松地域(56.8%)で低い。

・「夫婦のみ世帯」の割合は、筆筈地域(15.4%)、若松地域(14.5%)で高く、「夫婦と子ども世帯」の割合は筆筈地域(19.2%)、落合第二地域(16.7%)で高い。

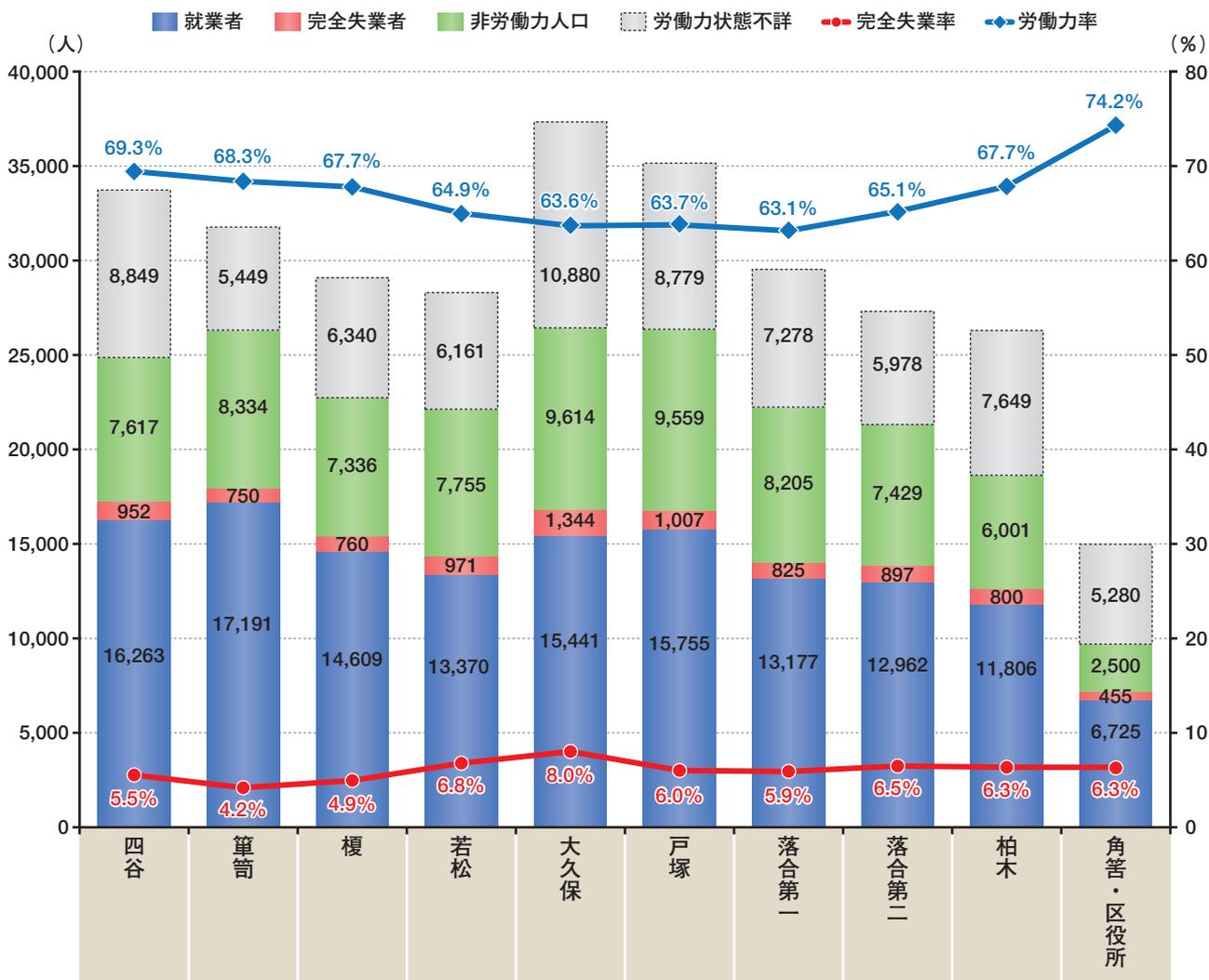
図 64 高齢単独世帯の単独世帯に占める割合(特出地域別 2010年)



・単独世帯に占める65歳以上の高齢単独世帯の割合は、若松地域(22.7%)、大久保地域(19.2%)で高く、

角筈・区役所地域(12.5%)、柏木地域(14.5%)、箕筒地域(14.9%)、榎地域(14.9%)で低い。

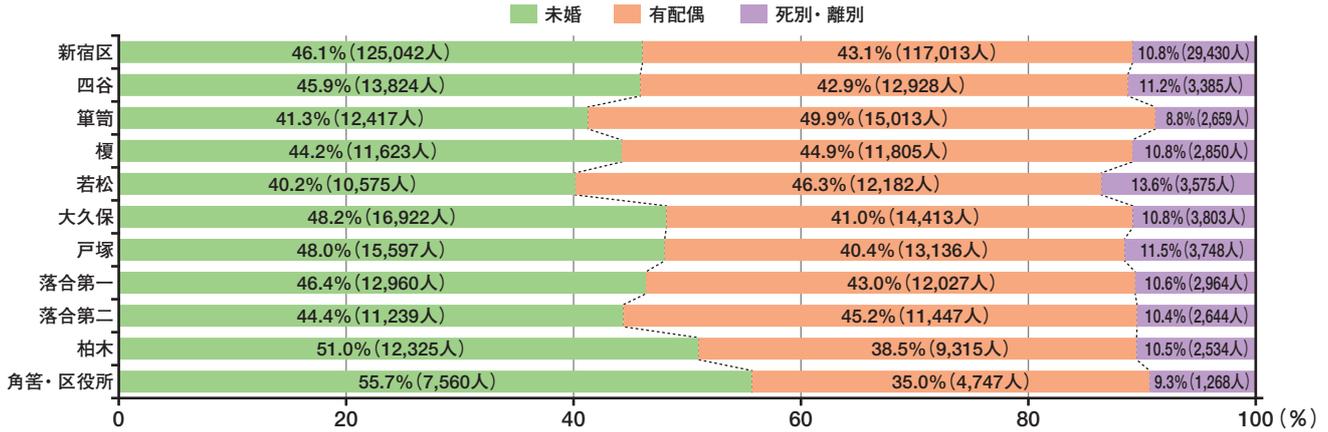
図 65 15歳以上労働力人口(就業者・完全失業者)(特出地域別 2010年)



・労働力率は、角筈・区役所地域(74.2%)で最も高く、落合第一地域(63.1%)で最も低い。

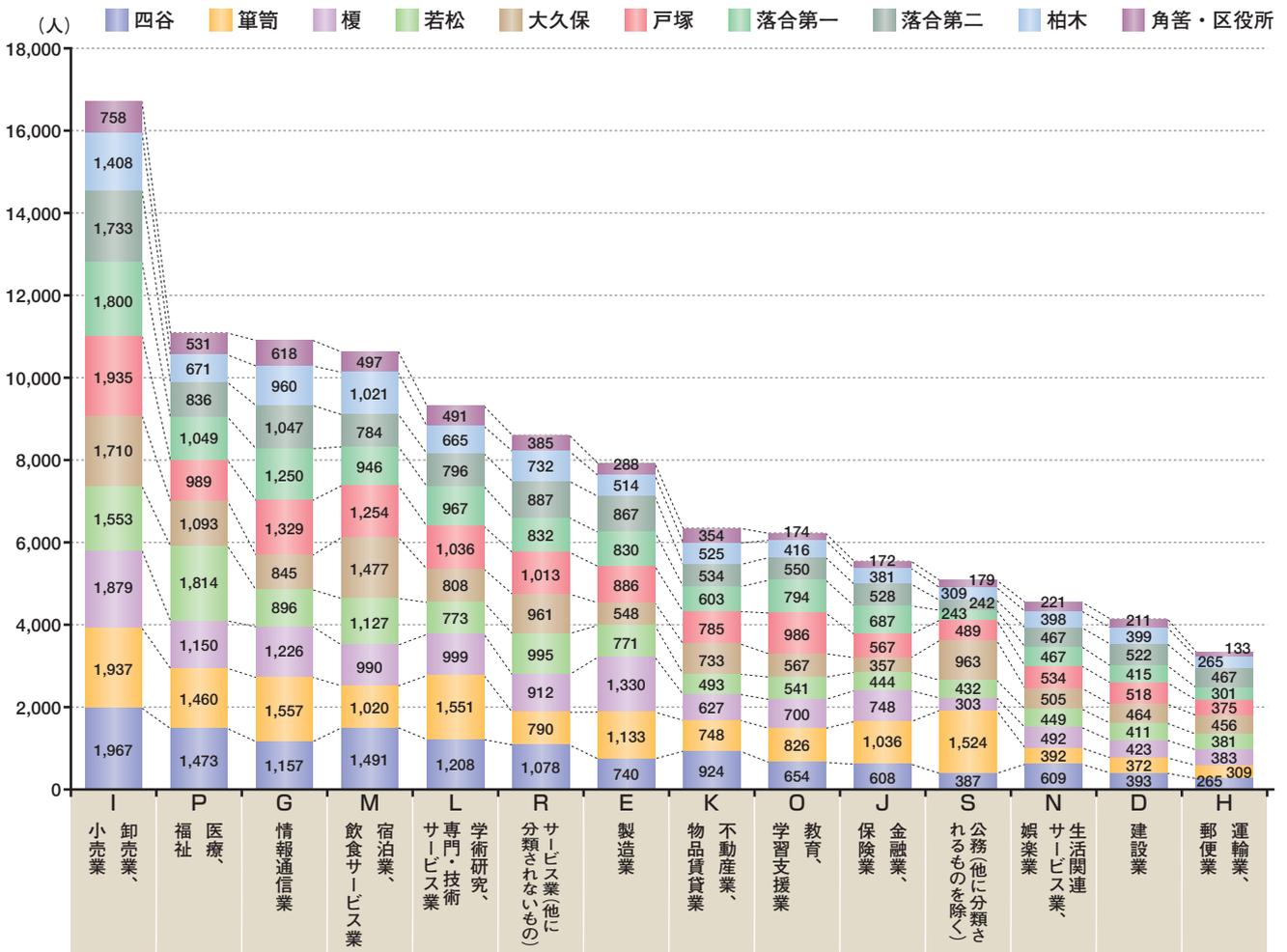
・完全失業率は、大久保地域(8.0%)で最も高く、箕筒地域(4.2%)で最も低い。

図 66 配偶関係別割合(新宿区・特出地域別 2010年)



・「未婚」の割合は、角筈・区役所地域(55.7%)、柏木地域(51.0%)で高く、若松地域(40.2%)、笹塚地域(41.3%)で低い。

図 67 産業大分類・特出地域別就業者(2010年) <就業者の多い順>

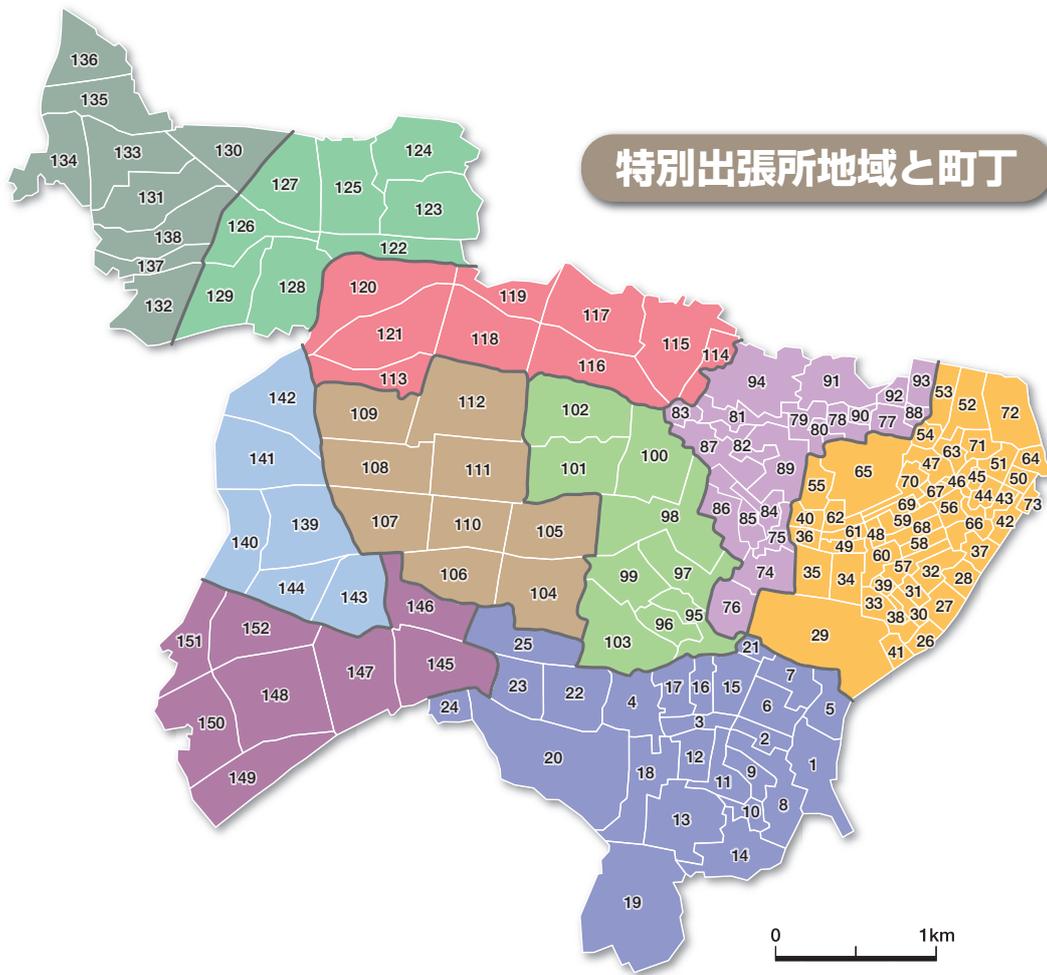


※新宿区の就業者数が著しく少ない産業 (A 農業、林業、B 漁業、C 鉱業等、F 電気・ガス等、Q 複合サービス事業) を除く。

- ・ 15歳以上就業者を産業大分類別にみると、就業者の最も多い「卸売業、小売業」では四谷地域、笹塚地域、戸塚地域の就業者が多い。
- ・ 以下、「医療、福祉」では若松地域、「情報通信業」では笹塚地域、「宿泊業、飲食サービス業」では四谷地

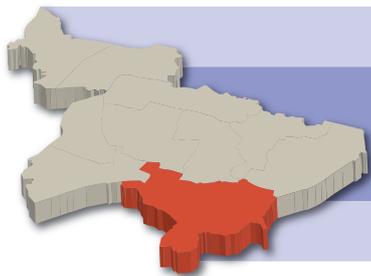
域、大久保地域、「学術研究、専門・技術サービス業」では笹塚地域、「サービス業(他に分類されないもの)」では四谷地域、「製造業」では榎地域、「不動産業、物品賃貸業」では四谷地域、「教育、学習支援業」では戸塚地域、「金融業・保険業」では笹塚地域の就業者が多い。

(2) 特別出張所地域別の主なデータと地域の特徴



町丁名	地図番号	町丁名	地図番号	町丁名	地図番号	町丁名	地図番号	町丁名	地図番号	町丁名	地図番号	町丁名	地図番号		
四谷 1 丁目	1	市谷田町 1 丁目	26	津久戸町	51	市谷仲之町	76	若松地域	戸山 2 丁目	101	落合第一地域	中落合 1 丁目	126		
四谷 2 丁目	2	市谷田町 2 丁目	27	東五軒町	52	赤城下町	77	大久保地域	戸山 3 丁目	102	落合第一地域	中落合 2 丁目	127		
四谷 3 丁目	3	市谷田町 3 丁目	28	西五軒町	53	天神町	78	大久保地域	富久町	103	落合第一地域	上落合 1 丁目	128		
四谷 4 丁目	4	市谷本村町	29	赤城元町	54	榎町	79	大久保地域	新宿 6 丁目	104	落合第一地域	上落合 2 丁目	129		
本塩町	5	市谷砂土原町 1 丁目	30	南榎町	55	東榎町	80	大久保地域	新宿 7 丁目	105	落合第一地域	中落合 3 丁目	130		
三栄町	6	市谷砂土原町 2 丁目	31	袋町	56	早稲田町	81	大久保地域	歌舞伎町 2 丁目	106	落合第一地域	中落合 4 丁目	131		
坂町	7	市谷砂土原町 3 丁目	32	払方町	57	早稲田南町	82	大久保地域	百人町 1 丁目	107	落合第一地域	上落合 3 丁目	132		
若葉 1 丁目	8	市谷左内町	33	南町	58	馬場下町	83	大久保地域	百人町 2 丁目	108	落合第一地域	上落合 1 丁目	133		
若葉 2 丁目	9	市谷加賀町 1 丁目	34	北町	59	原町 1 丁目	84	大久保地域	百人町 3 丁目	109	落合第一地域	西落合 2 丁目	134		
若葉 3 丁目	10	市谷加賀町 2 丁目	35	納戸町	60	原町 2 丁目	85	大久保地域	大久保 1 丁目	110	落合第一地域	西落合 3 丁目	135		
須賀町	11	市谷甲良町	36	南山伏町	61	原町 3 丁目	86	大久保地域	大久保 2 丁目	111	落合第一地域	西落合 4 丁目	136		
左門町	12	市谷船河原町	37	北山伏町	62	喜久井町	87	大久保地域	大久保 3 丁目	112	落合第一地域	中井 1 丁目	137		
信濃町	13	市谷長延寺町	38	白銀町	63	築地町	88	大久保地域	百人町 4 丁目	113	落合第一地域	中井 2 丁目	138		
南元町	14	市谷鷹匠町	39	下宮比町	64	弁天町	89	大久保地域	戸塚町 1 丁目	114	落合第一地域	北新宿 1 丁目	139		
荒木町	15	市谷山伏町	40	矢来町	65	中里町	90	大久保地域	西早稲田 1 丁目	115	落合第一地域	北新宿 2 丁目	140		
舟町	16	市谷八幡町	41	若宮町	66	山吹町	91	大久保地域	西早稲田 2 丁目	116	落合第一地域	北新宿 3 丁目	141		
愛住町	17	神楽坂 1 丁目	42	岩戸町	67	改代町	92	大久保地域	西早稲田 3 丁目	117	落合第一地域	北新宿 4 丁目	142		
大京町	18	神楽坂 2 丁目	43	中町	68	水道町	93	大久保地域	高田馬場 1 丁目	118	落合第一地域	北新宿 7 丁目	143		
霞ヶ丘町	19	神楽坂 3 丁目	44	筆筒町	69	早稲田鶴巻町	94	大久保地域	高田馬場 2 丁目	119	落合第一地域	西新宿 8 丁目	144		
内藤町	20	神楽坂 4 丁目	45	横寺町	70	住吉町	95	大久保地域	高田馬場 3 丁目	120	落合第一地域	新宿 3 丁目	145		
片町	21	神楽坂 5 丁目	46	筑土八幡町	71	市谷台町	96	大久保地域	高田馬場 4 丁目	121	落合第一地域	歌舞伎町 1 丁目	146		
新宿 1 丁目	22	神楽坂 6 丁目	47	新小川町	72	河田町	97	大久保地域	下落合 1 丁目	122	落合第一地域	西新宿 1 丁目	147		
新宿 2 丁目	23	細工町	48	神楽河岸	73	若松町	98	大久保地域	下落合 2 丁目	123	落合第一地域	西新宿 2 丁目	148		
新宿 4 丁目	24	二十騎町	49	市谷薬王寺町	74	余丁町	99	大久保地域	下落合 3 丁目	124	落合第一地域	西新宿 3 丁目	149		
新宿 5 丁目	25	揚場町	50	市谷柳町	75	戸山 1 丁目	100	大久保地域	下落合 4 丁目	125	落合第一地域	西新宿 4 丁目	150		
										落合第一地域	西新宿 5 丁目	151			
										落合第一地域	西新宿 6 丁目	152			

(注) 小地域データは町丁を単位としています。そのため、本レポートにおける「特別出張所地域」は、町丁を分割することのないよう区域を設定しており、実際の特別出張所所轄区域とは異なっているところがあります。



四谷地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

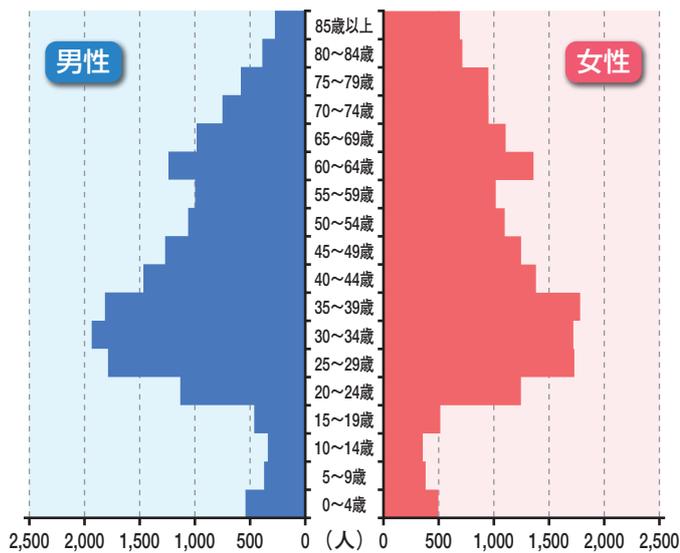


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁目別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁目別人口とその増加

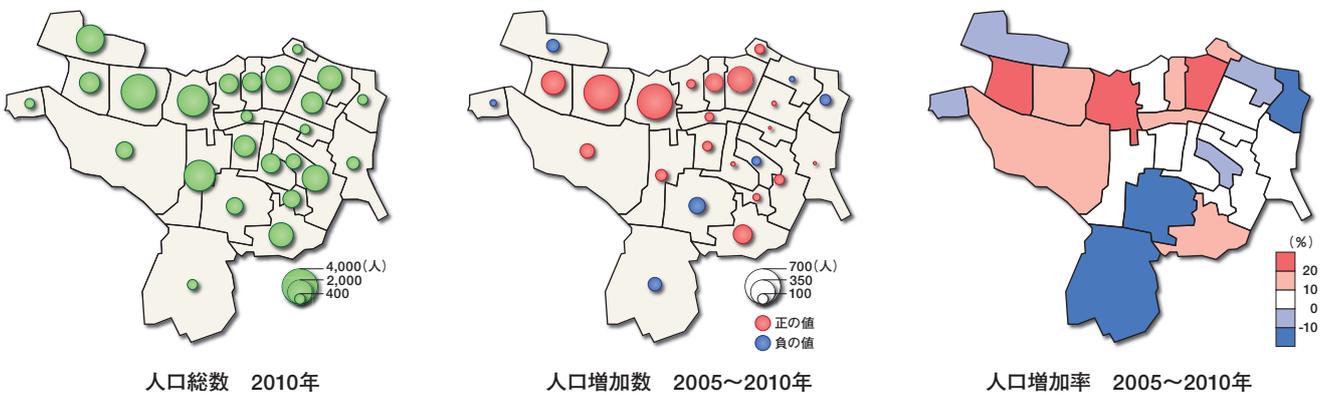


図4 年齢3区分別人口割合の推移

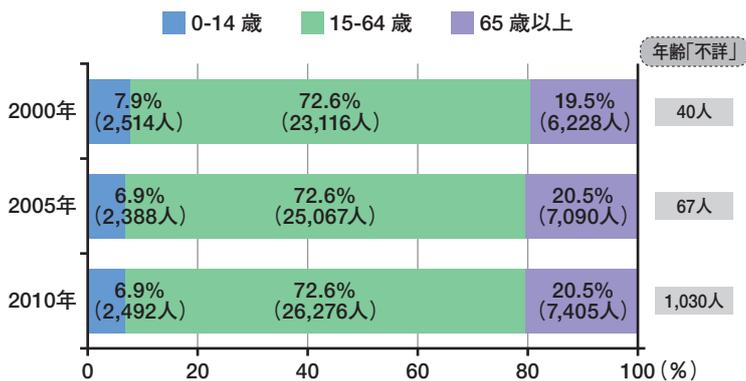


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

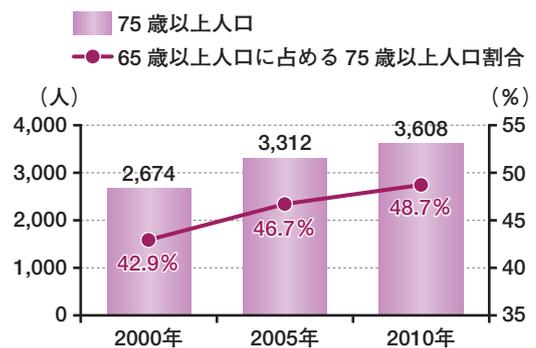


図6 世帯の家族類型別割合の推移

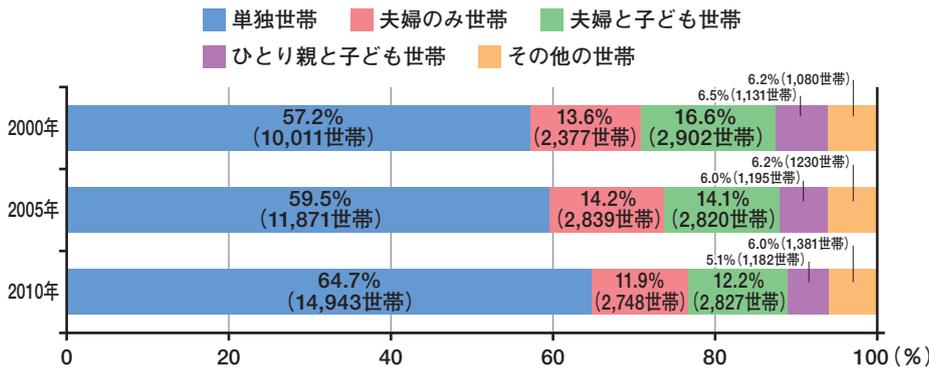


図7 配偶関係 (2010年)

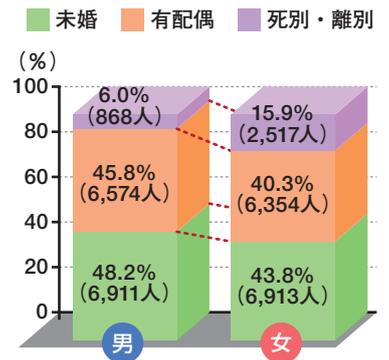


図8 高齢単独世帯の推移

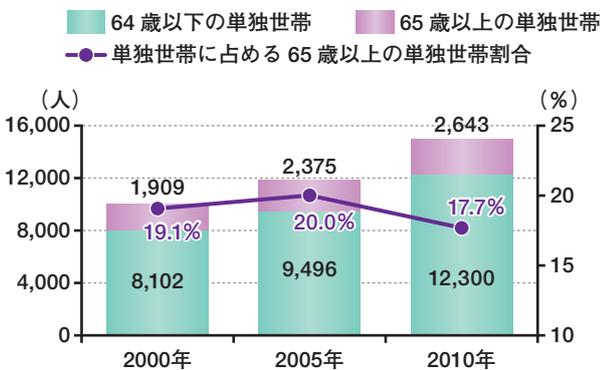


図9 労働力状態の推移

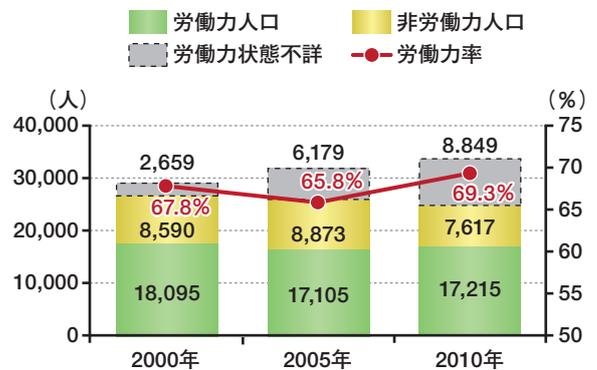


図10 完全失業者数と失業率の推移

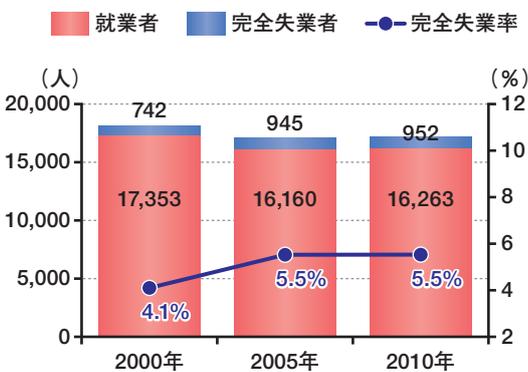
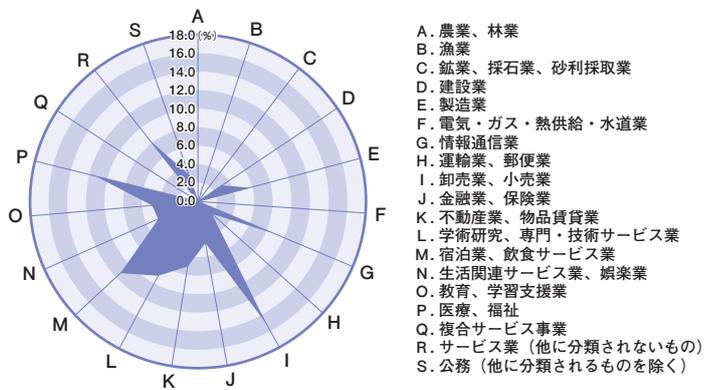


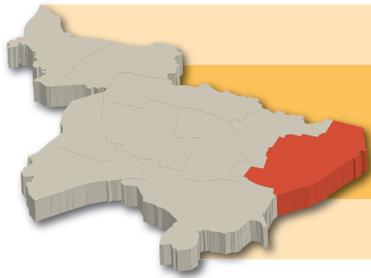
図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



新宿区の南東に位置する四谷地域では、商業機能が集中する新宿通りを中心に住宅が南北に広がっており、2005年から2010年にかけては、この新宿通りの北側で人口の増加が目立っています（新宿2丁目27.9%増、四谷4丁目27.6%増、荒木町21.0%増）。2010年の65歳以上人口割合は他の地域に比べて比較的高く（20.5%、7,405人）、また、65歳以上人口のうち75歳以上人口は3,608人（48.7%）となっています。一方、単独世帯のうち65歳以上の単独世帯は、2005年（11,871世帯のうち2,375世帯）か

ら2010年（14,943世帯のうち2,643世帯）にかけて268世帯増加しましたが、割合は20.0%から17.7%へと2.3ポイント低下しています。

労働力率は69.3%と比較的高く、就業者を産業大分類別にみると、「卸売業、小売業」に従事する人が1,967人で、就業者に占める割合は15.1%となっているほか、「宿泊業、飲食サービス業」には1,491人（11.5%）、「医療、福祉」には1,473人（11.3%）が従事しています。



箆笥地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

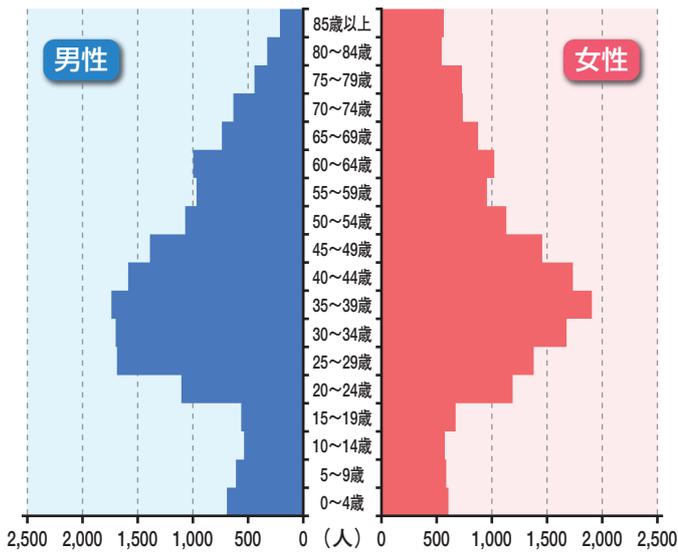


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁目別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁目別人口とその増加

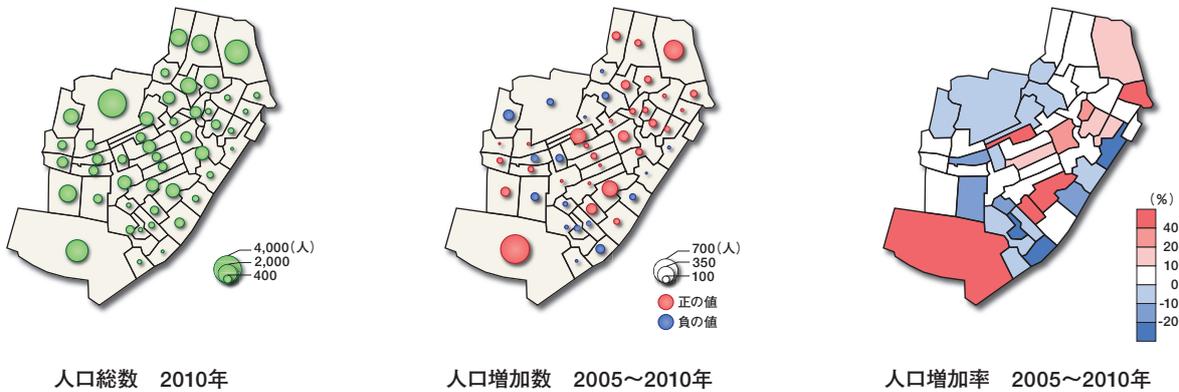


図4 年齢3区分別人口割合の推移

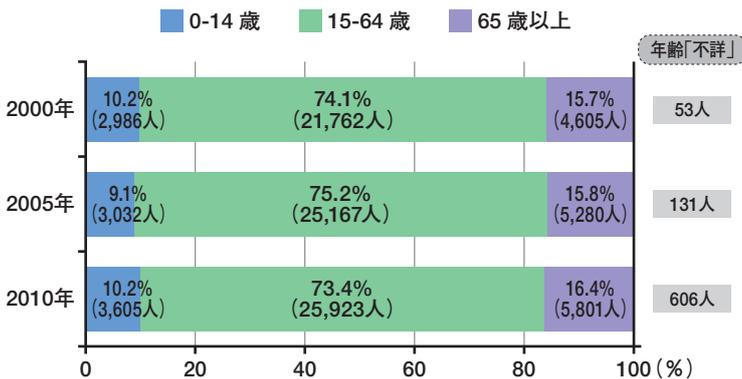


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

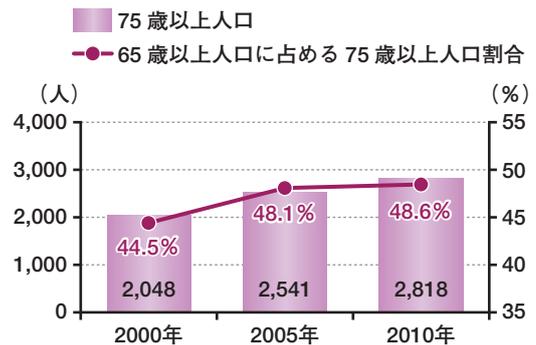


図6 世帯の家族類型別割合の推移

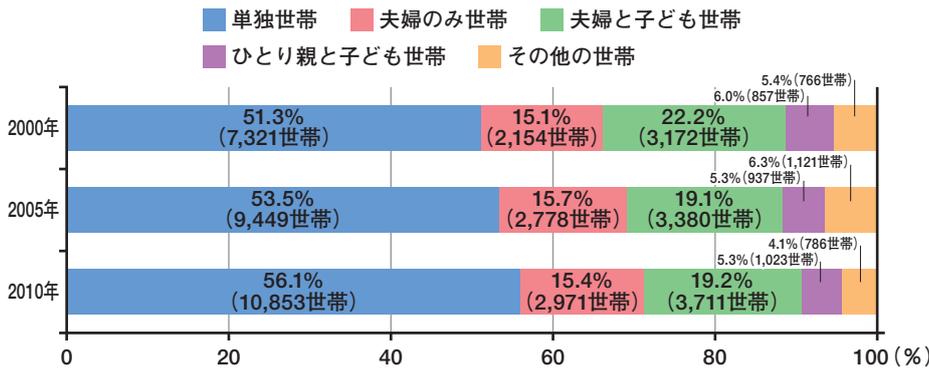


図7 配偶関係 (2010年)

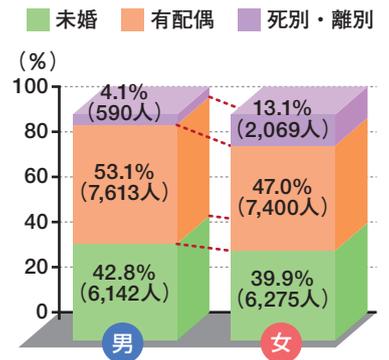


図8 高齢単独世帯の推移

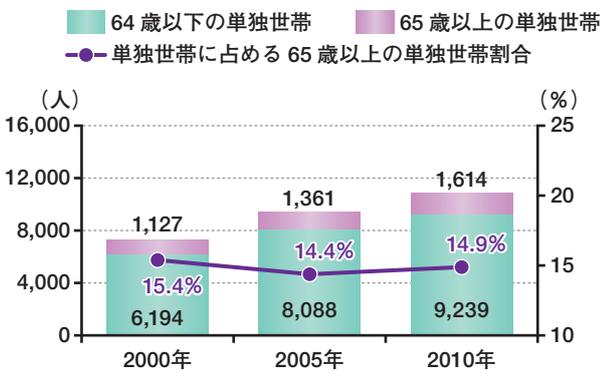


図9 労働力状態の推移

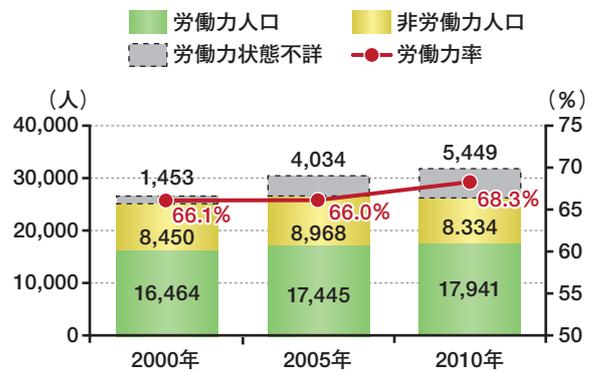


図10 完全失業者数と失業率の推移

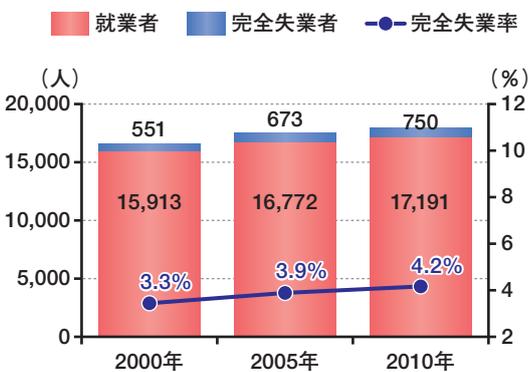
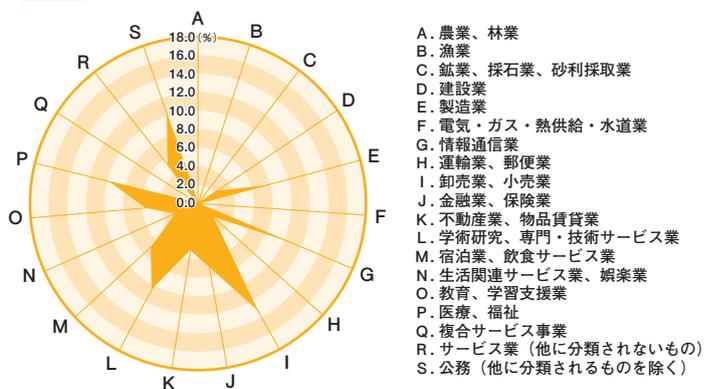


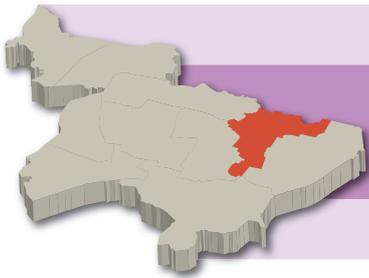
図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



新宿の東端に位置する笹笹地域は、印刷工場に代表される産業エリアに加え、商業地や住宅地も存在するほか、その南側には防衛省の施設が所在しています。0～14歳人口割合が10%を超える唯一の地域（10.2%、3,605人）で、65歳以上人口割合は16.4%（5,801人）と最も低くなっています。

世帯の家族類型をみると、単独世帯割合が56.1%（10,853世帯）と低い一方で、夫婦と子どもからなる世帯は19.2%（3,711世帯）と高い割合を示しています。

労働力人口は、10地域のうち最も多く（17,941人）、労働力率も68.3%と比較的高い水準です。就業者のうち、「卸売業、小売業」に従事する人は1,937人で、就業者に占める割合は13.1%であるほか、「情報通信業」（1,557人、10.5%）、「学術研究、専門・技術サービス」（1,551人、10.5%）、「公務（他に分類されないもの）」（1,524人、10.3%）がこれに続きます。また、「金融業、保険業」に従事する人（1,036人）も笹笹地域に最も多く居住しています。



榎地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

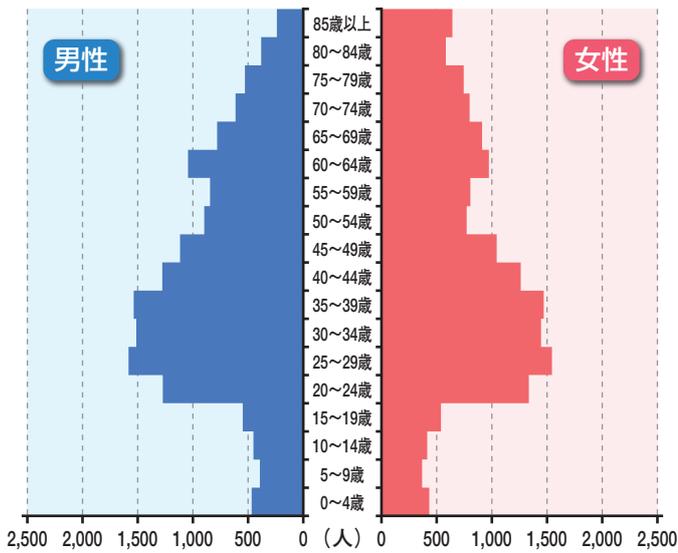


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加

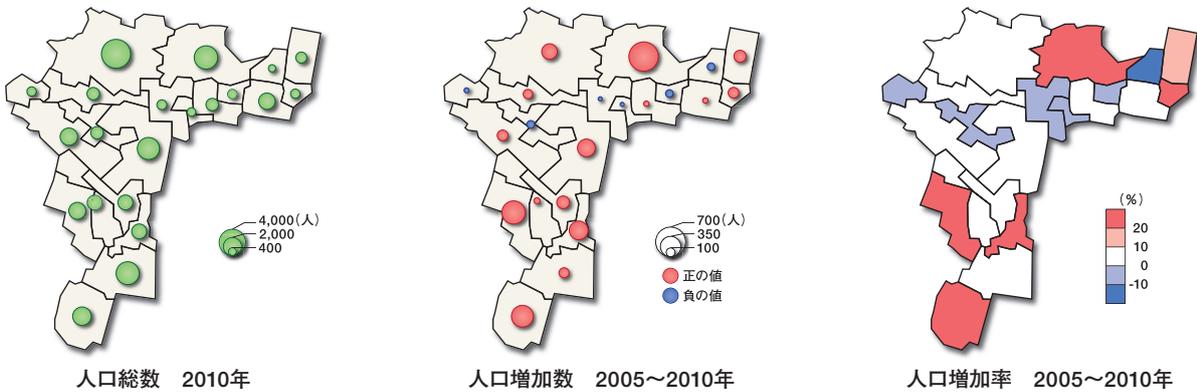


図4 年齢3区分別人口割合の推移

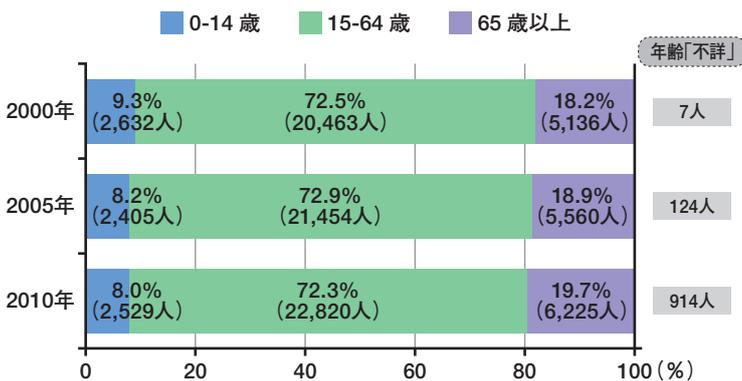


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

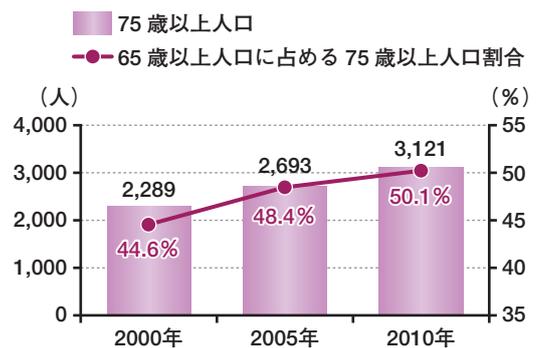


図6 世帯の家族類型別割合の推移

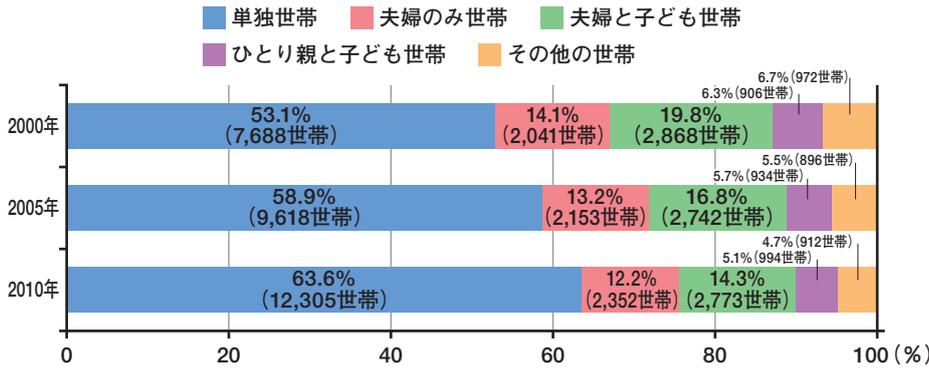


図7 配偶関係 (2010年)

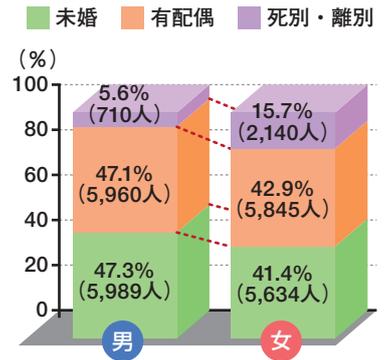


図8 高齢単独世帯の推移

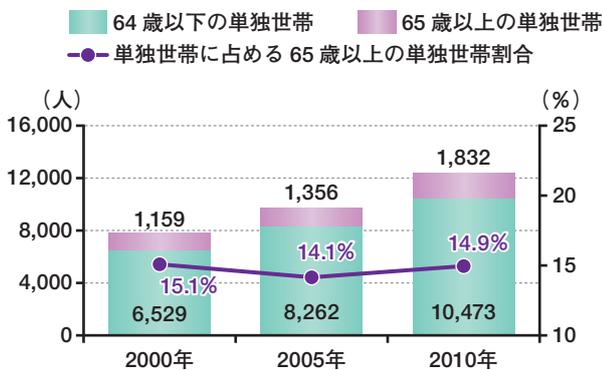


図9 労働力状態の推移

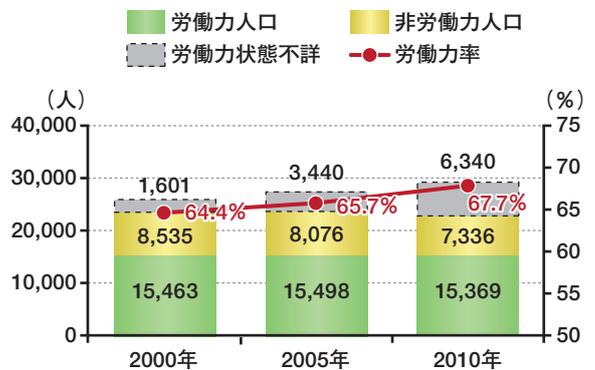


図10 完全失業者数と失業率の推移

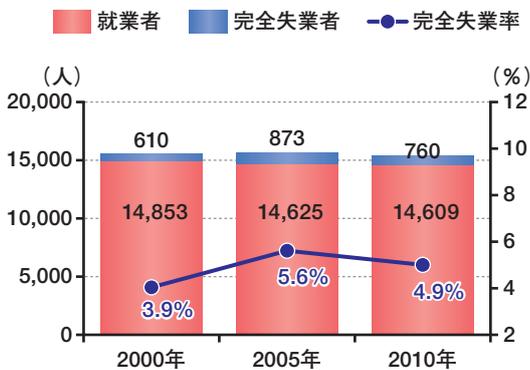
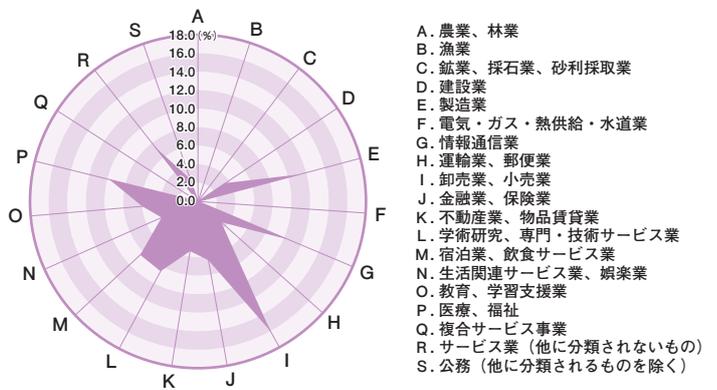


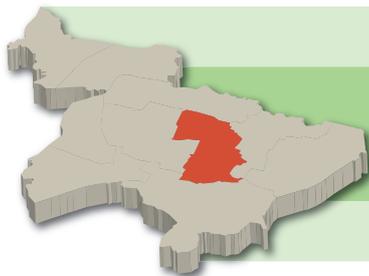
図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



新宿区の北東部にある榎地域には、南北に外苑東通りが縦断し、東西には早大通り、早稲田通り、大久保通りが横切っています。住宅地を中心に、製本・印刷工場などが立地し、商業も活発です。2005年から2010年にかけての榎地域では、原町3丁目(34.8%増)、市谷柳町(34.1%増)、山吹町(31.2%増)での人口増加率が目立っています。2010年の65歳以上人口は6,225人ですが、そのうち75歳人口は3,121人と多く、65歳以上人口に占める割合は50.1%に達しています。これは、10地域のうち最も

高い割合です。

就業者(14,609人)を産業大分類別にみると、「卸売業、小売業」(1,879人、15.4%)が最も多く、次いで「製造業」(1,330人、10.9%)、「情報通信業」(1,226人、10.0%)、「医療、福祉」(1,150人、9.4%)となっています。また、「製造業」に従事する人は榎地域に最も多く居住しています。



若松地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

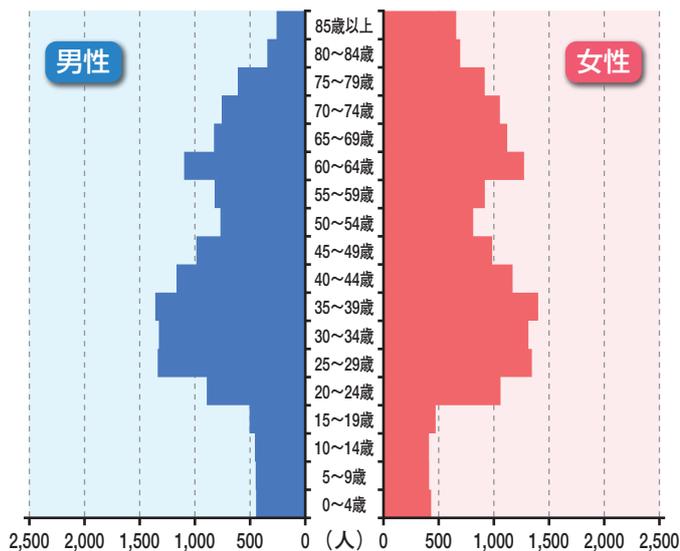


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加

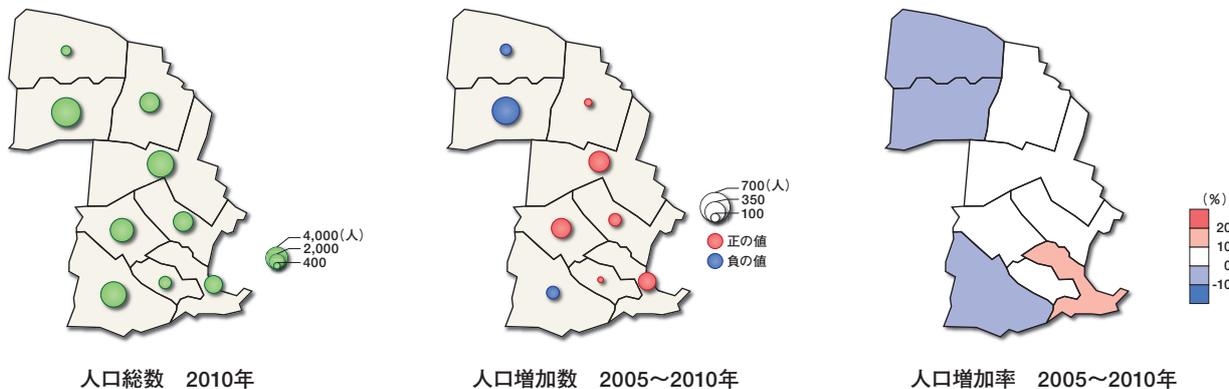


図4 年齢3区分別人口割合の推移

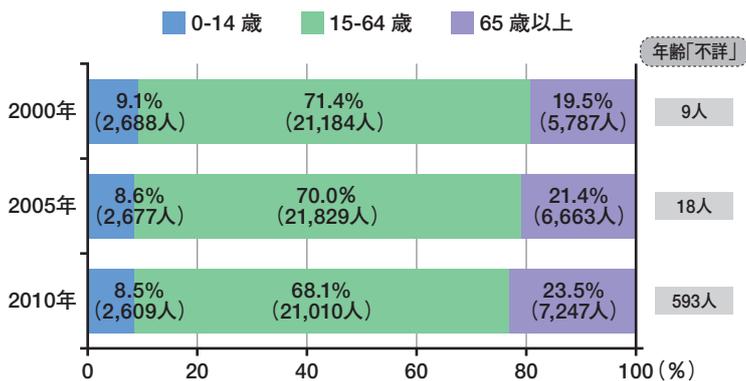


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

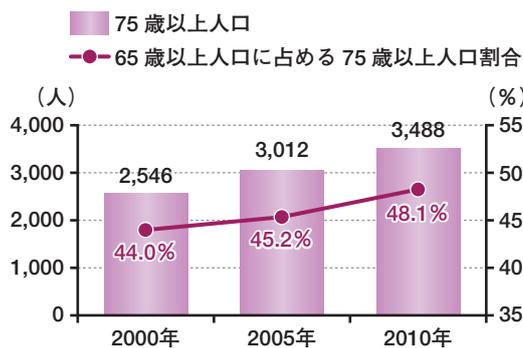


図6 世帯の家族類型別割合の推移

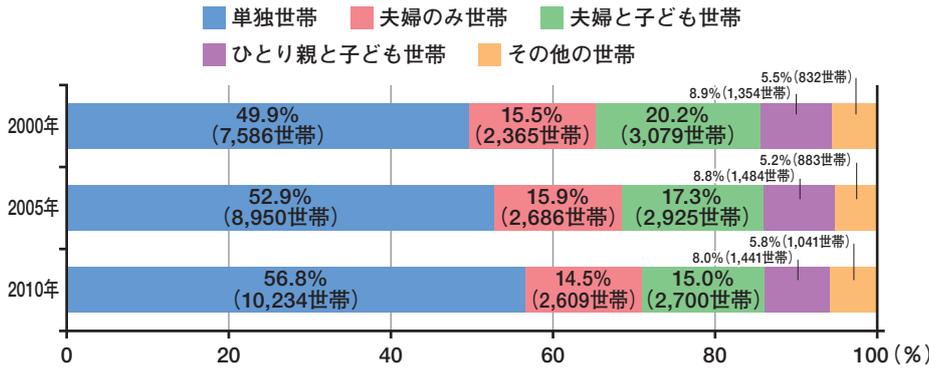


図7 配偶関係 (2010年)

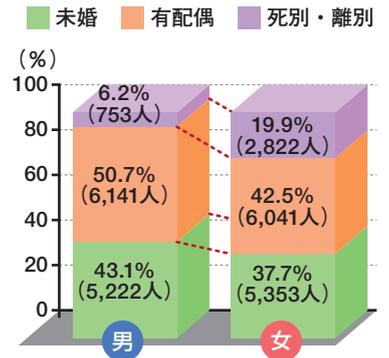


図8 高齢単独世帯の推移

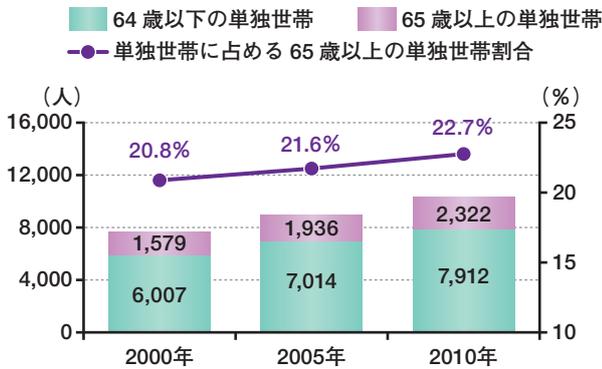


図9 労働力状態の推移

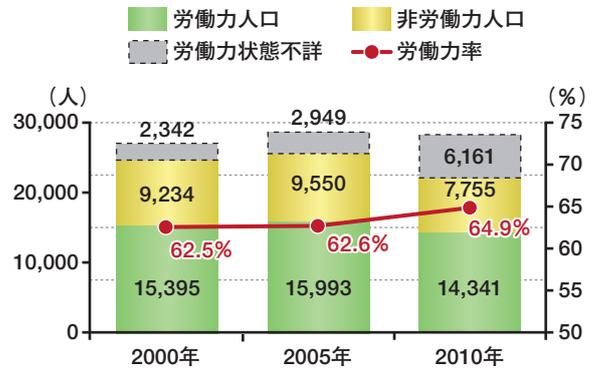


図10 完全失業者数と失業率の推移

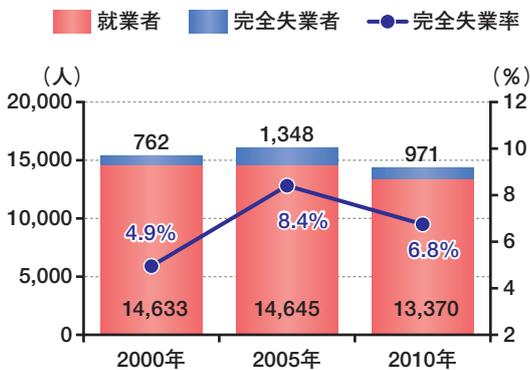
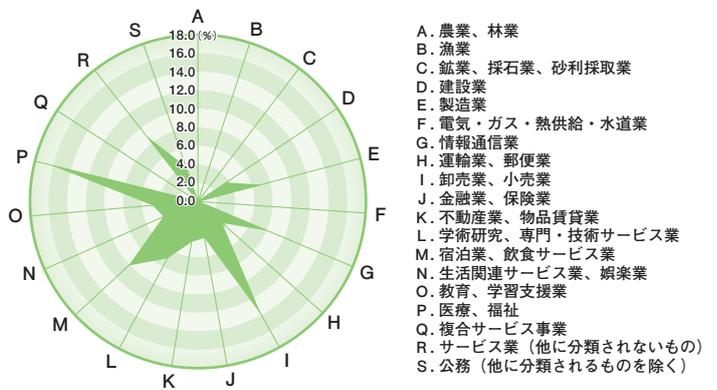


図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



新宿の中心部に位置する若松地域は、古くからの住宅地や商店街に加え、大学や病院などの大規模な施設が立地するほか、北部には箱根山地区を中心とした緑地があります。2010年の65歳以上人口割合は23.5%(7,247人)と10地域の中で最も高く、また、単独世帯(10,234世帯)に占める高齢単独世帯(2,322世帯)の割合も22.7%で、他の地域と比べ際立って高い値になっています。配偶関係をみると、未婚割合は40.2%(10,575人)と低く、一方で、死別・離別割合が13.6%(3,575人)と高いことがわかり

ます。

労働力人口は14,341人で、労働力率(64.9%)でみるとそれほど高くはありません。産業大分類別にみると、「医療、福祉」に従事する人が1,814人と最も多いことが特徴で、その割合は16.3%に達しており、10地域の中で最も多くなっています。これに続いて「卸売業、小売業」が1,553人(13.9%)、「宿泊業、飲食サービス」が1,127人(10.1%)になっています。



大久保地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド(2010年)

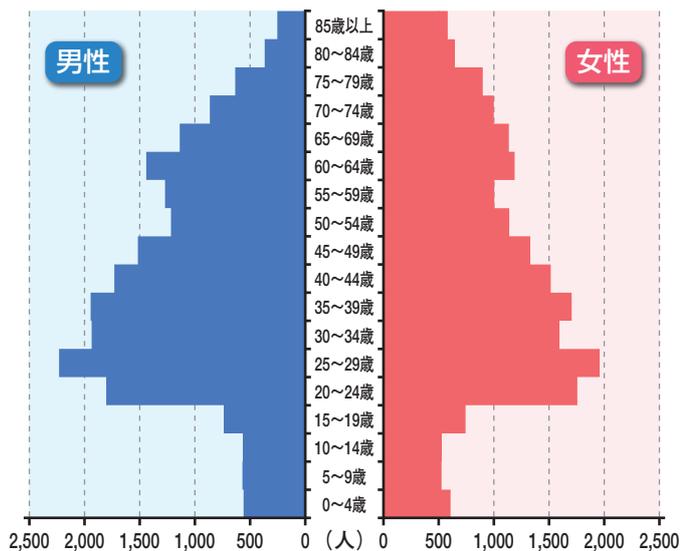
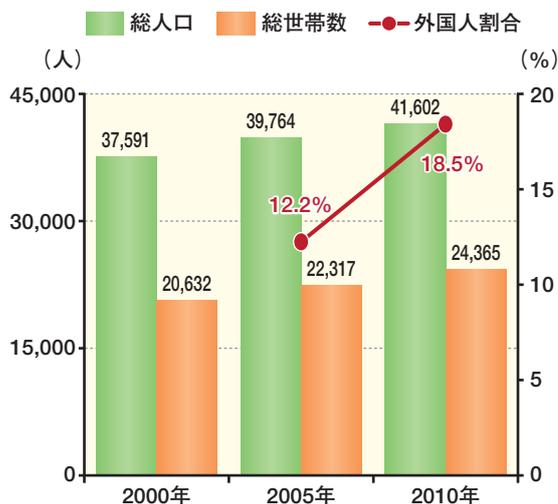


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町別人口とその増加

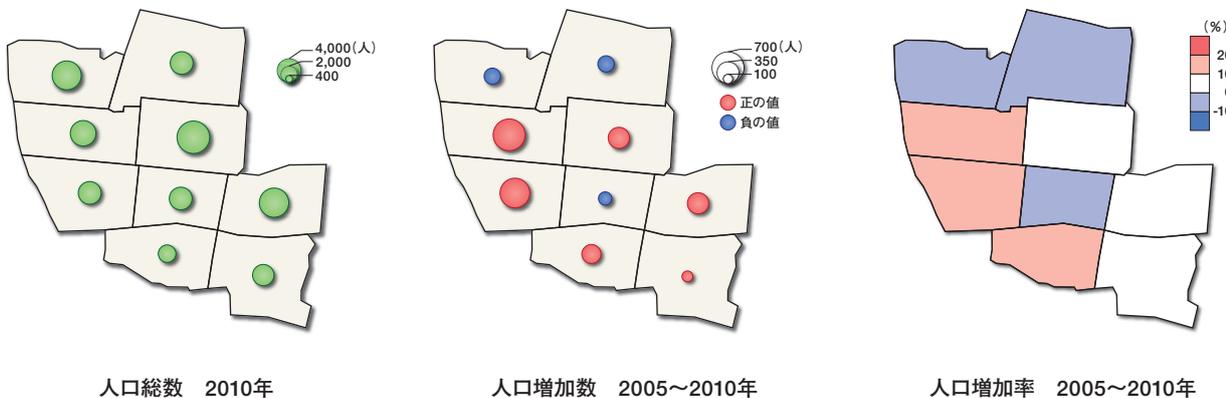


図4 年齢3区分別人口割合の推移

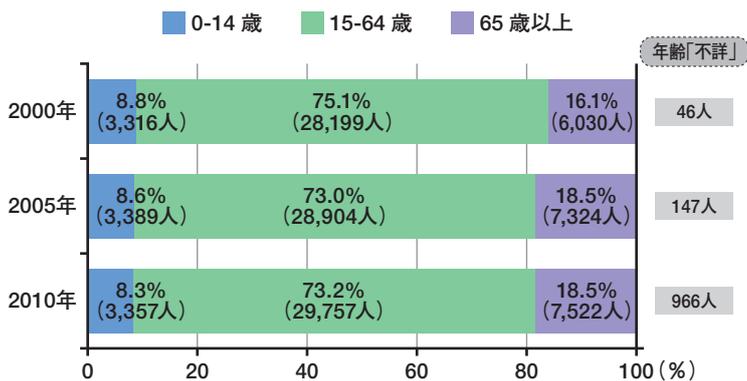


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

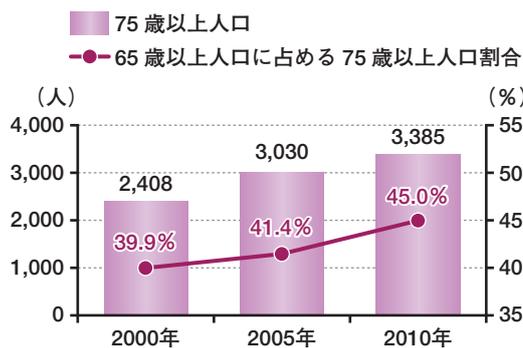


図6 世帯の家族類型別割合の推移

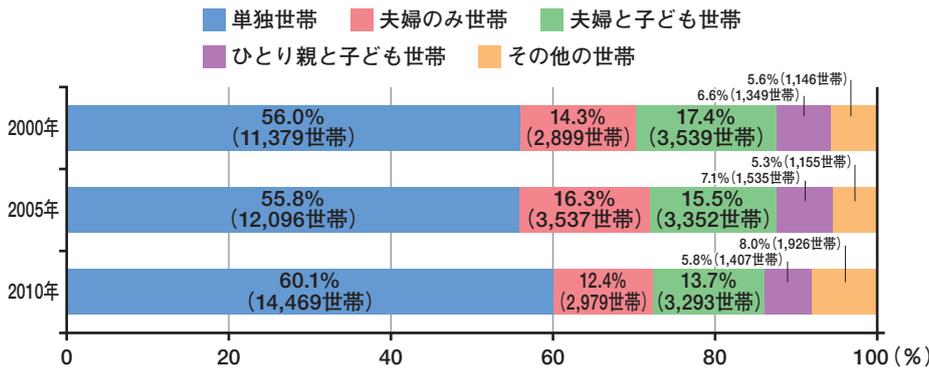


図7 配偶関係 (2010年)

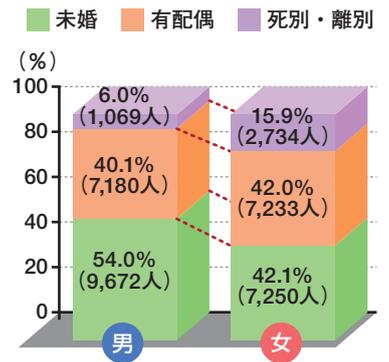


図8 高齢単独世帯の推移

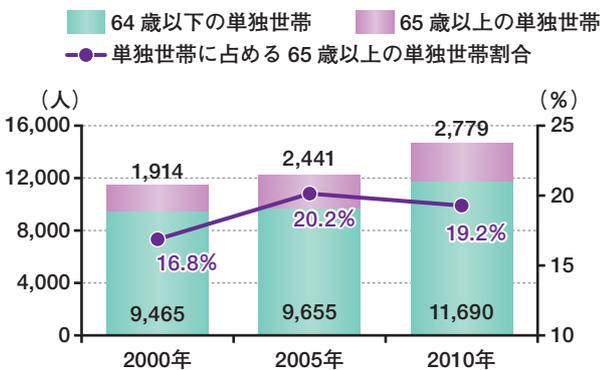


図9 労働力状態の推移



図10 完全失業者数と失業率の推移

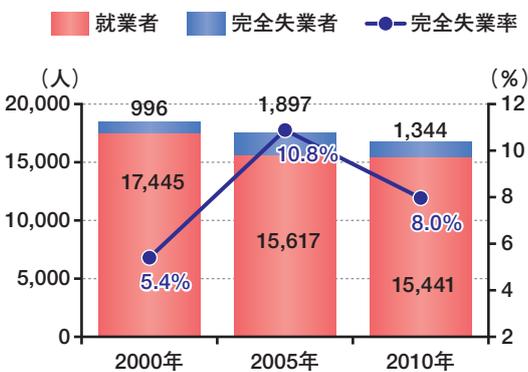
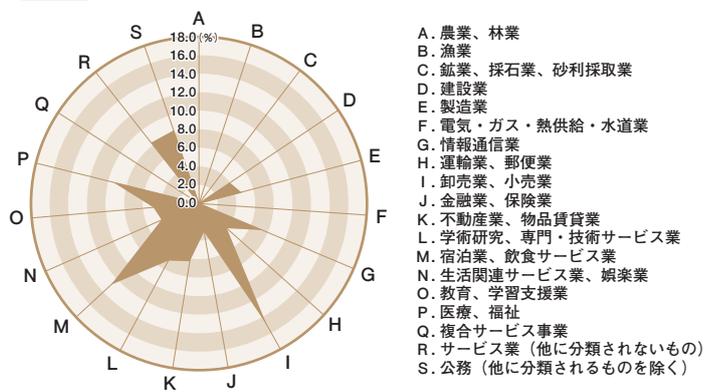


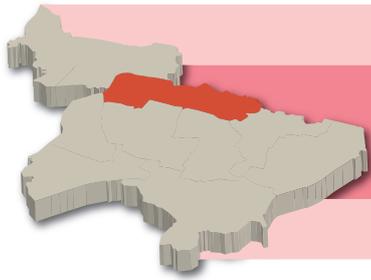
図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



大久保地域の北部は緑に恵まれ、そこから南方には古くから短冊状に整理された区画に立つ住宅が続き、さらに南側には歌舞伎町や新宿駅周辺の商業地が広がっています。総人口(41,602人)と総世帯数(24,365世帯)ともに10地域の中で最も多く、最大の特徴はその外国人口(7,699人、18.5%)の多さであるといえます。人口は、2005年から2010年にかけて、おもに百人町2丁目(18.3%増)と百人町1丁目(16.0%増)で増加しています。また、65歳以上人口(7,522人)のうち、75歳以上の人口割

合(45.0%、3,385人)が比較的低い地域です。

労働力率は63.6%と比較的低いものの、完全失業率は高く、2010年には8.0%となっていますが、2005年(10.8%)に比べると2.8ポイント低下しています。就業者を産業大分類別にみると、「卸売業、小売業」が1,710人(14.8%)と最も多く、「宿泊業、飲食サービス」(1,477人、12.8%)、「医療、福祉」(1,093人、9.5%)に従事する人も多くいます。



戸塚地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド(2010年)

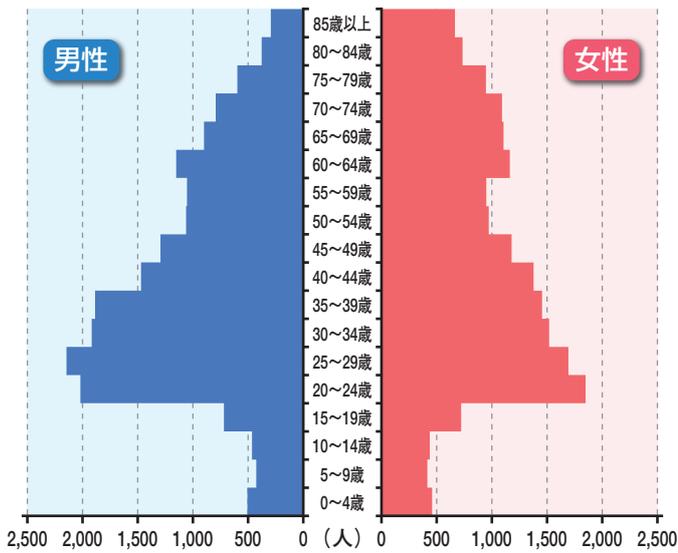
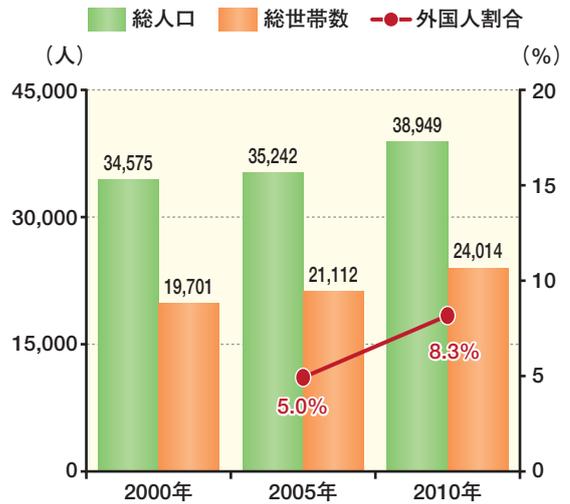


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1) 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2) 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加

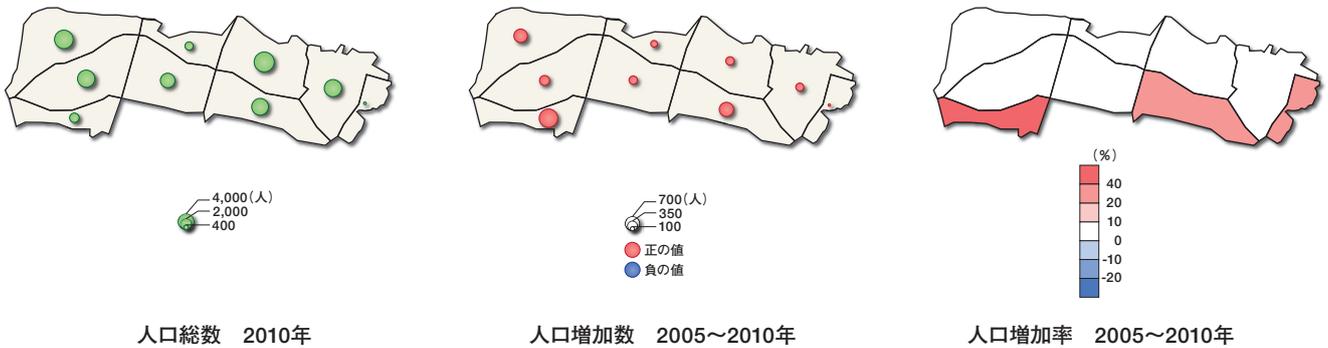


図4 年齢3区分別人口割合の推移

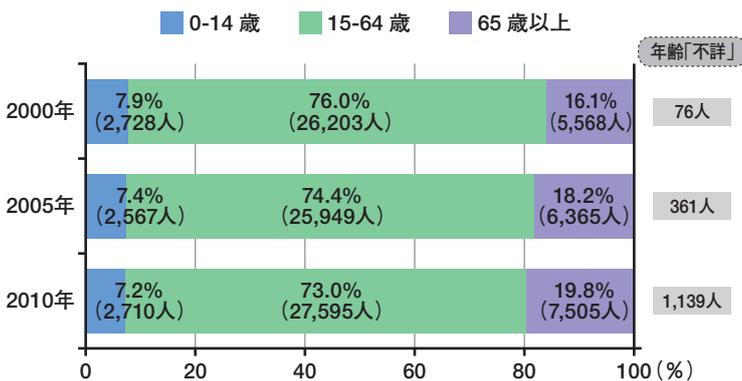


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

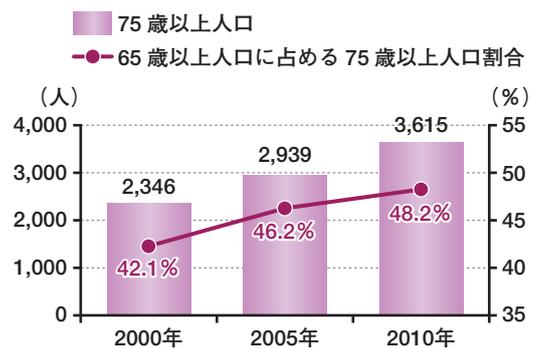


図6 世帯の家族類型別割合の推移

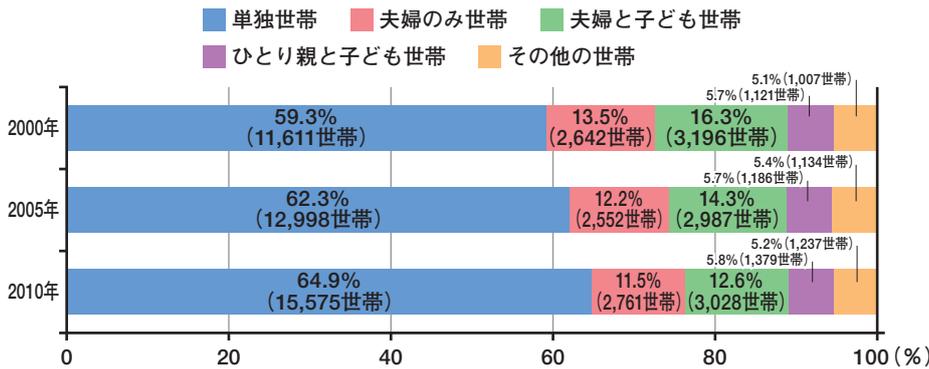


図7 配偶関係 (2010年)

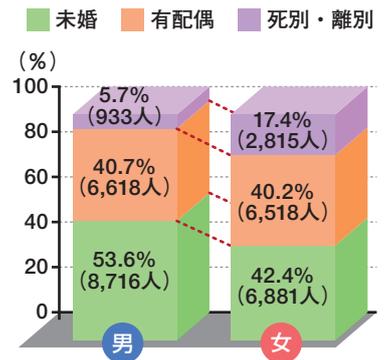


図8 高齢単独世帯の推移

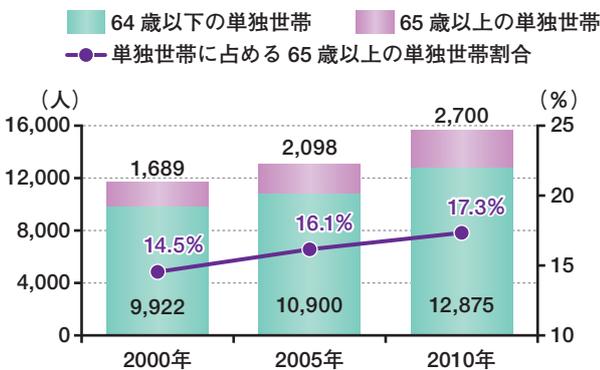


図9 労働力状態の推移

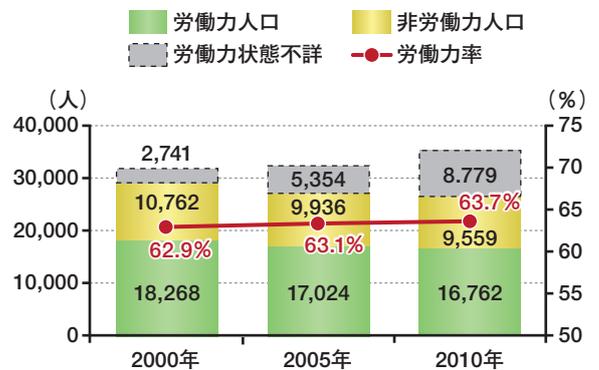


図10 完全失業者数と失業率の推移

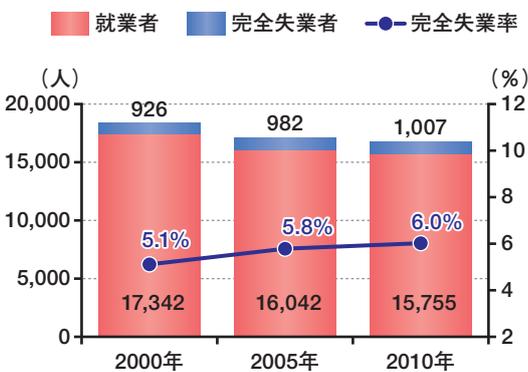
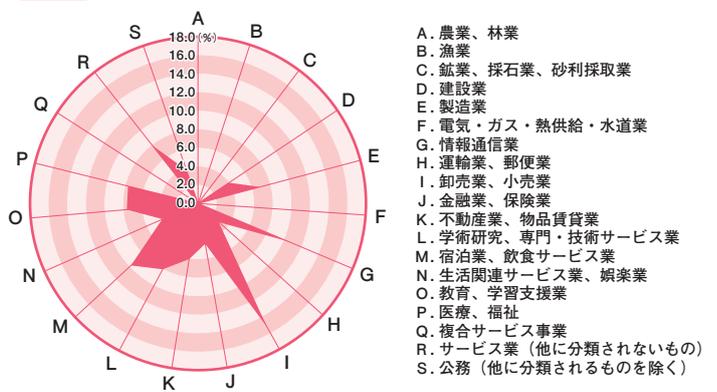
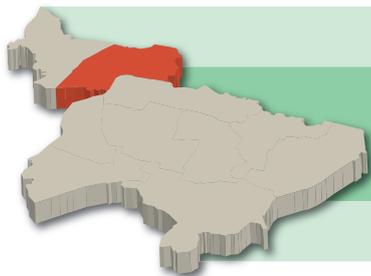


図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



戸塚地域には、大規模な大学のほか、各種専門学校などの学校施設が集中しています。東西に早稲田通りと諏訪通りが位置しているほか、西から東にかけては神田川の流れがあります。人口は、いずれの町丁においても2005年から2010年にかけて増加しており、中でも百人町4丁目での増加(1,282人、113.7%増)はめざましいものでした。単独世帯は10地域のうち最も多く、15,575世帯で、その割合は64.9%となっており、そのうち65歳以上の単独世帯は2,700世帯(17.3%)です。

2010年の労働力率は63.7%と比較的低い水準にとどまっています。産業大分類別に就業者の従事する産業をみると、「卸売業、小売業」は1,935人(15.1%)と最大で、それに次いで「情報通信業」(1,329人、10.4%)、「宿泊業、飲食サービス業」(1,254人、9.8%)となっています。また、「教育、学習支援業」に従事する人は戸塚地域に最も多く居住しており、986人にのぼります。



落合第一地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

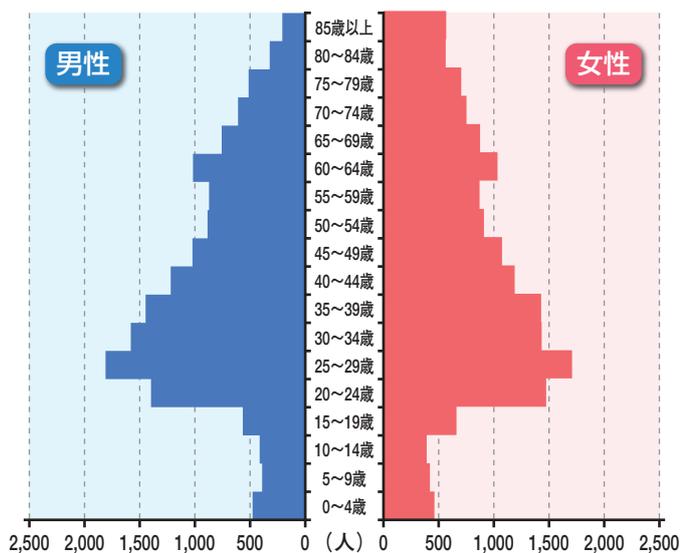


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加

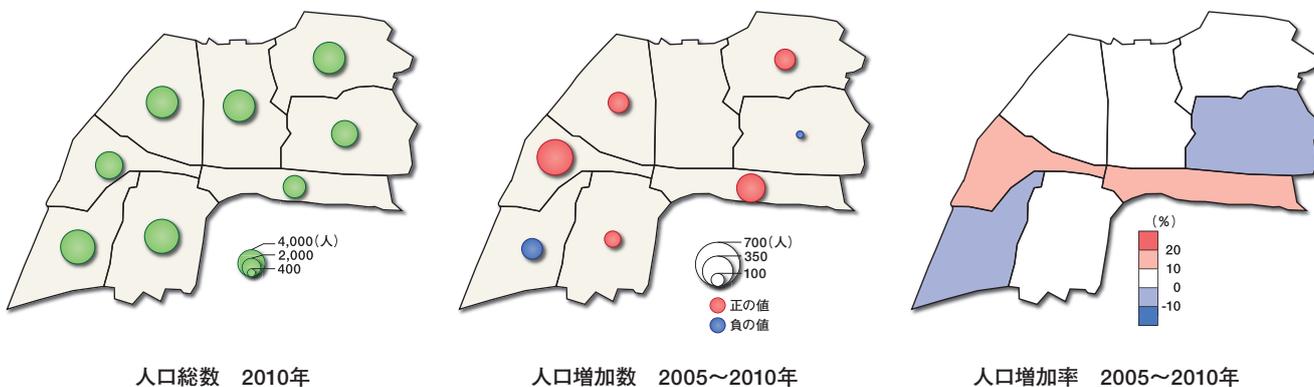


図4 年齢3区分別人口割合の推移

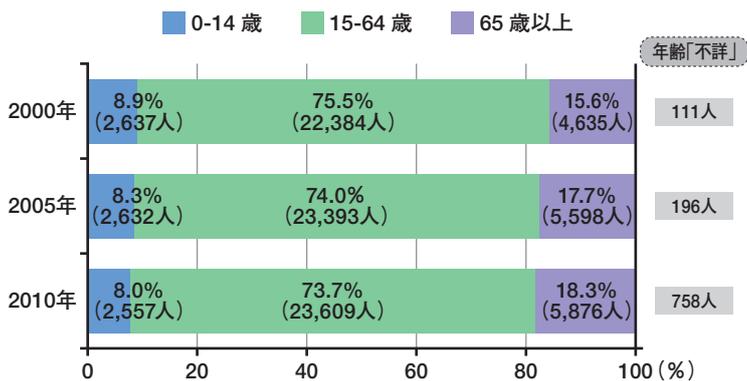


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

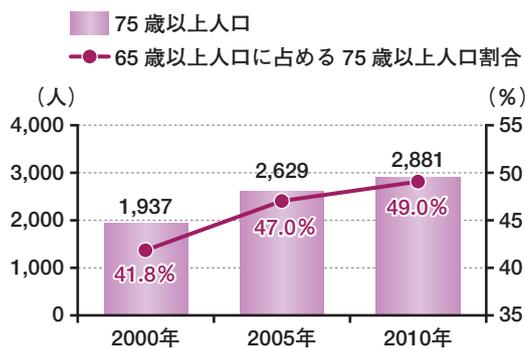


図6 世帯の家族類型別割合の推移

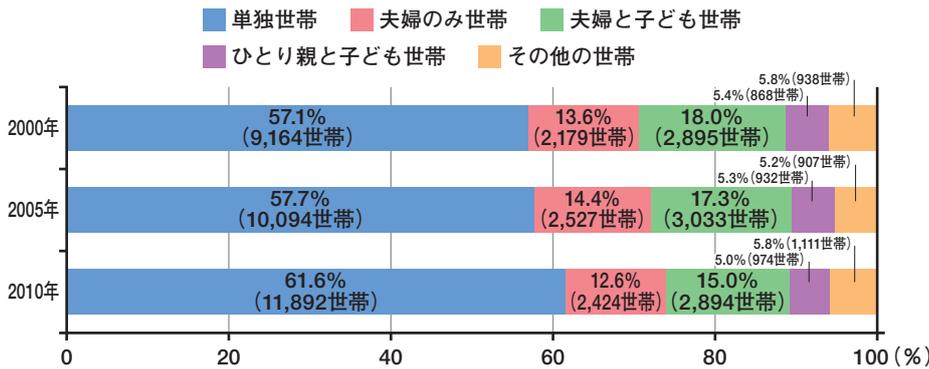


図7 配偶関係 (2010年)

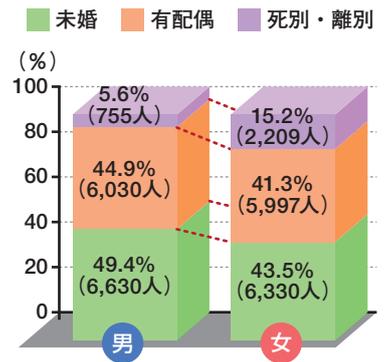


図8 高齢単独世帯の推移

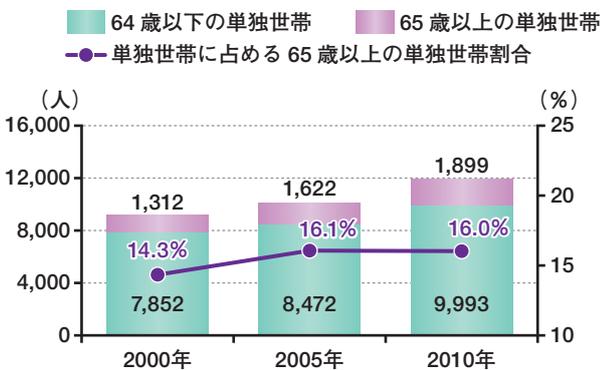


図9 労働力状態の推移

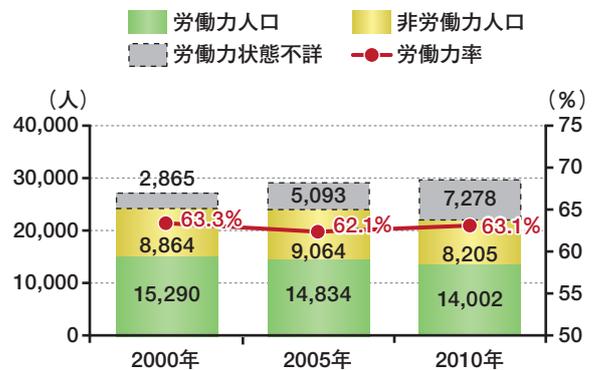


図10 完全失業者数と失業率の推移

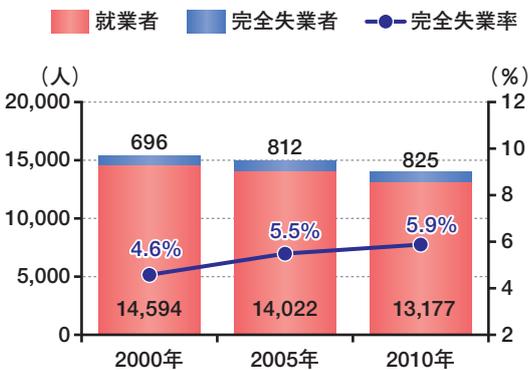
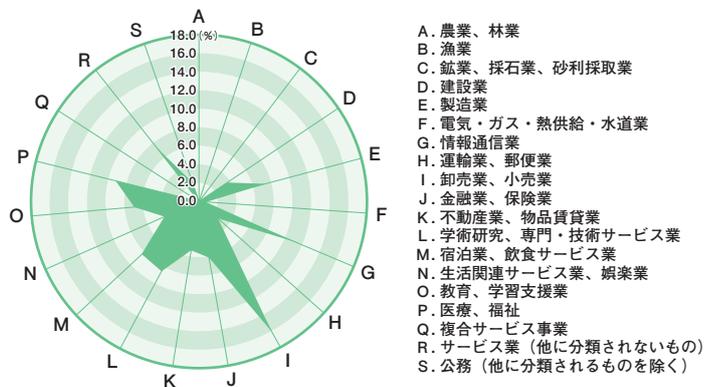
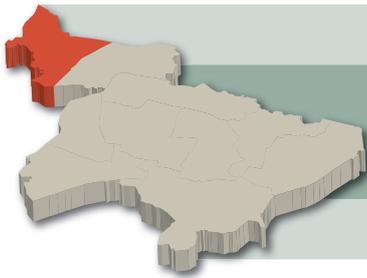


図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



新宿区の北西に位置する落合第一地域は、低層戸建住宅地を中心としたエリアです。地域の東西に目白通り、新目白通りが走り、神田川・妙正寺川が流れています。2005年から2010年にかけて人口増加が目立った町丁は、下落合1丁目と中落合1丁目です。それぞれ14.3%と14.2%の増加がみられました。2010年の65歳以上人口(5,876人)のうち、75歳以上人口は2,881人で、その割合は49.0%と比較的高く、2000年(1,937人、41.8%)に比べると7.2ポイント増加しています。

労働力率は63.1%と、10地域のうち最も低く、労働力人口は14,002人です。就業者を産業大分類別にみると、「卸売業、小売業」に従事する人が1,800人で、就業者に占める割合は15.9%となっているほか、「情報通信業」には1,250人(11.1%)、「医療、福祉」には1,049人(9.3%)が従事しています。



落合第二地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

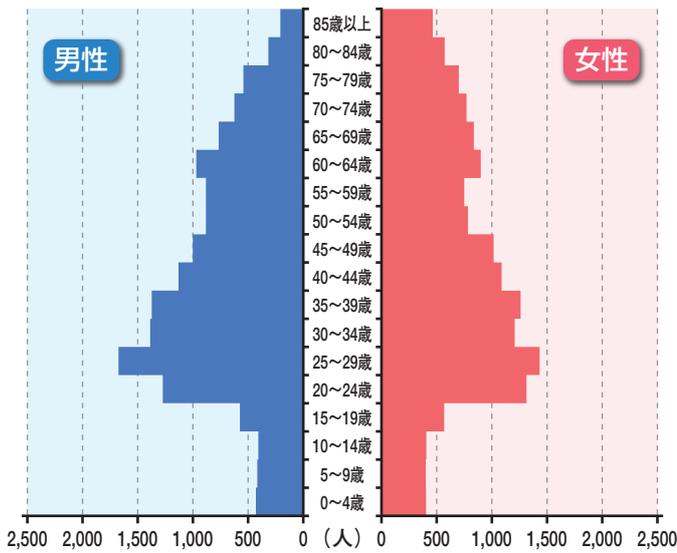


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加

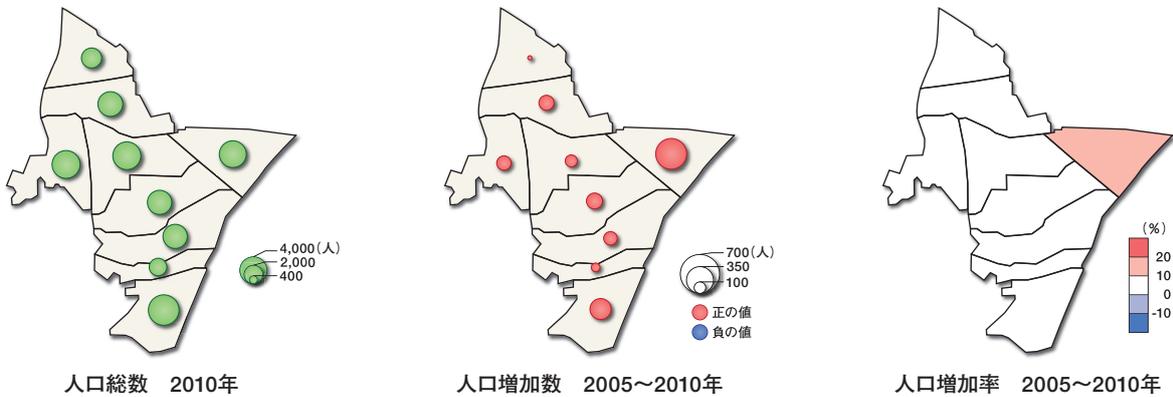


図4 年齢3区分別人口割合の推移

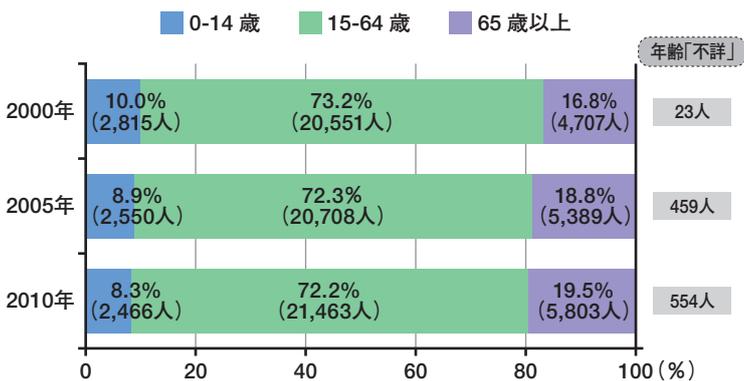


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

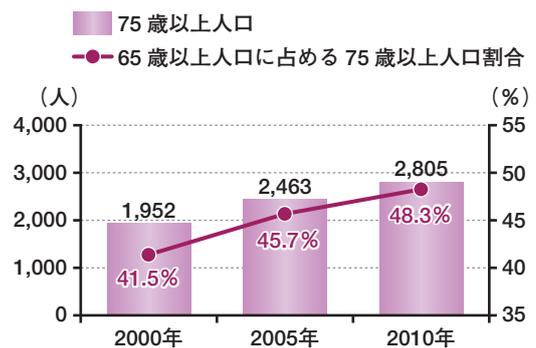


図6 世帯の家族類型別割合の推移

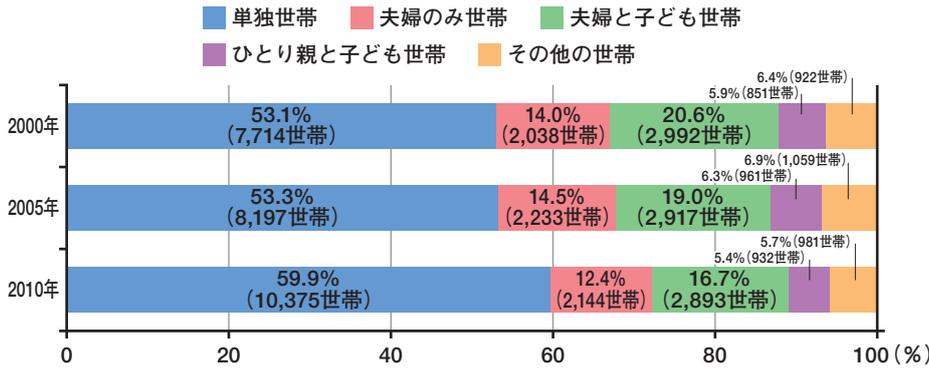


図7 配偶関係 (2010年)

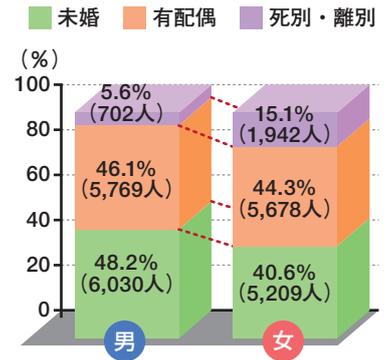


図8 高齢単独世帯の推移

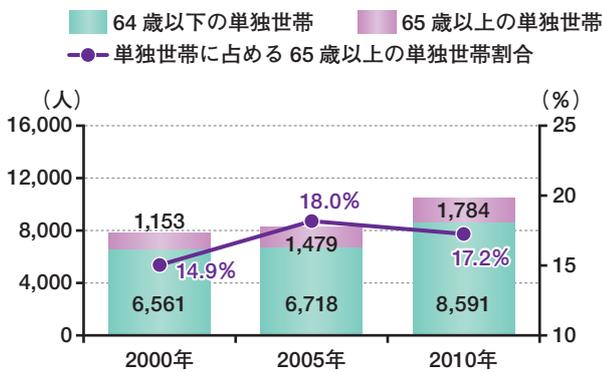


図9 労働力状態の推移

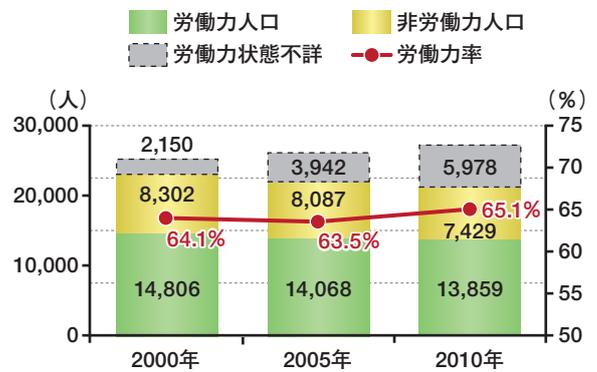


図10 完全失業者数と失業率の推移

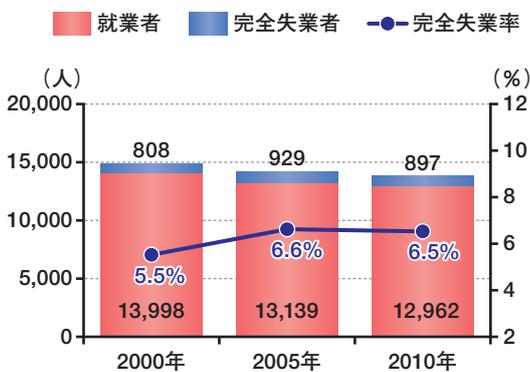
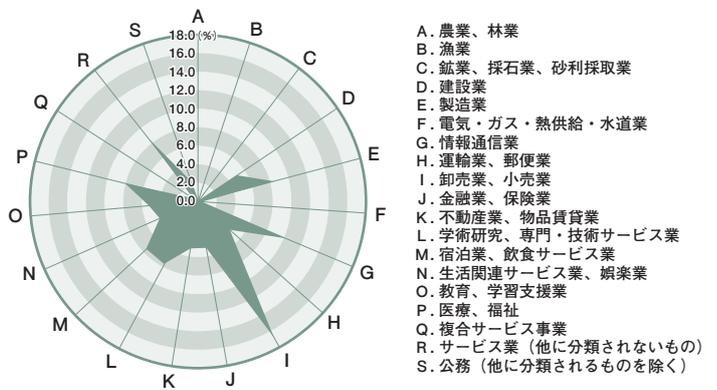


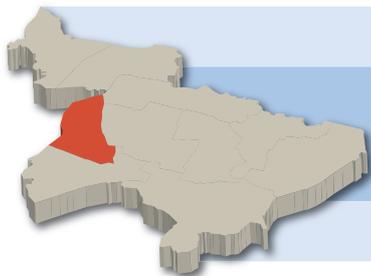
図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



新宿の西端に位置する落合第二地域は、妙正寺川が流れる緑豊かなエリアに低層住宅地が広がっています。いずれの町丁においても、2005年から2010年にかけてその人口が増加しています。特に、中落合3丁目では、448人(12.4%)が増加しました。単独世帯は10,375世帯(59.9%)とそれほど多くはありませんが、単独世帯に占める高齢単独世帯は1,784世帯(17.2%)と比較的高くなっています。

労働力人口は13,859人、また、労働力率は65.1%です。就業者を産業大分類別にみると、「卸売

業、小売業」に1,733人(16.7%)が従事するほか、これに「情報通信業」(1,047人、10.1%)、「サービス業(ほかに分類されないもの)」(887人、8.5%)が続いています。なお、「建設業」や「運輸業、郵便業」に従事する人が落合第二地域に最も多く居住しており、それぞれ522人、467人を数えます。



柏木地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

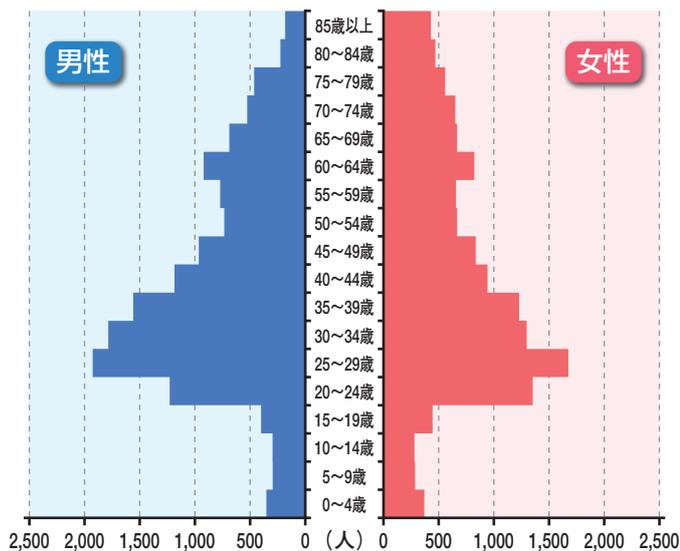


図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加

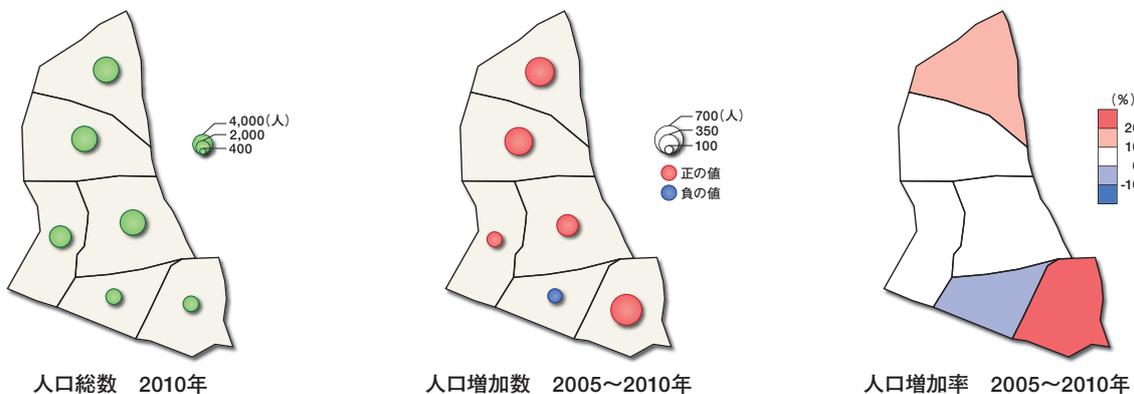


図4 年齢3区分別人口割合の推移

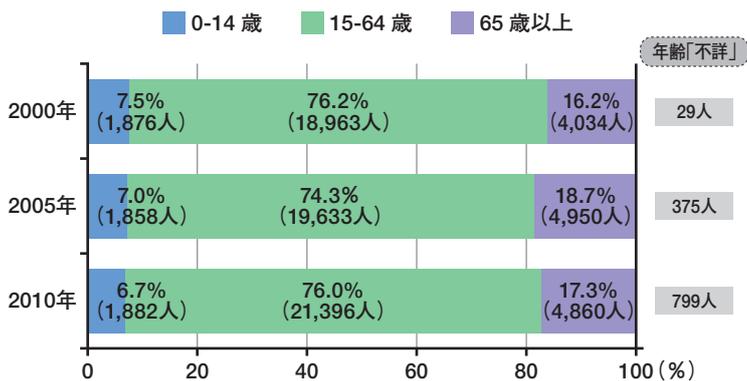


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

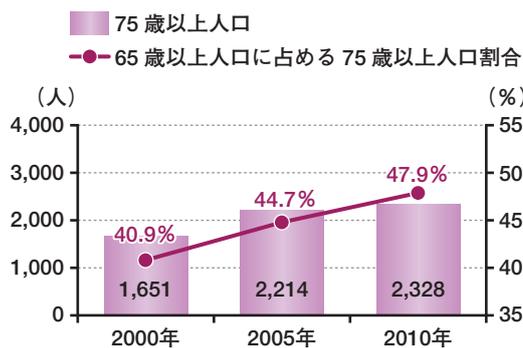


図6 世帯の家族類型別割合の推移

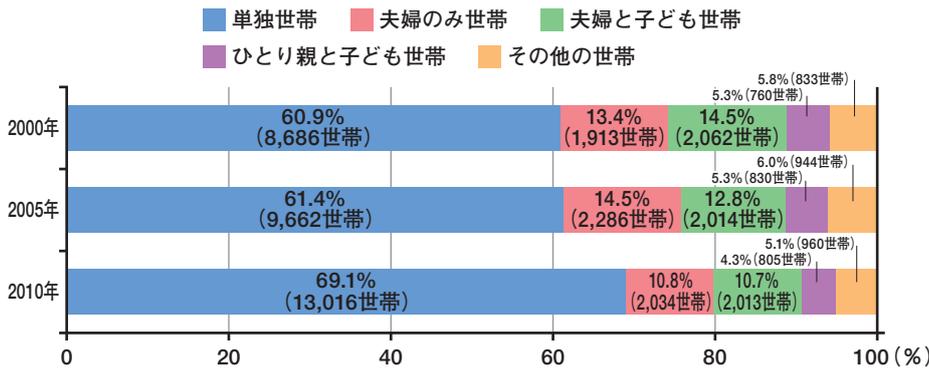


図7 配偶関係 (2010年)

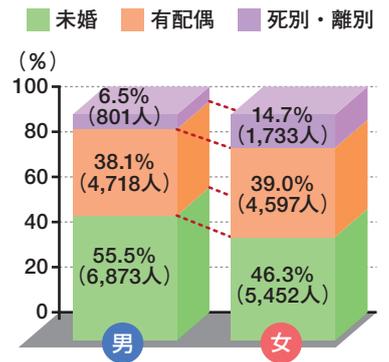


図8 高齢単独世帯の推移

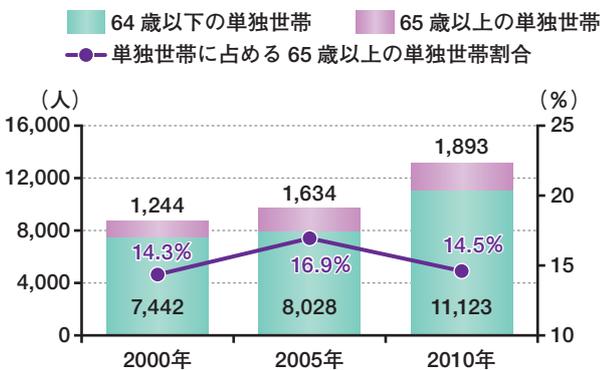


図9 労働力状態の推移

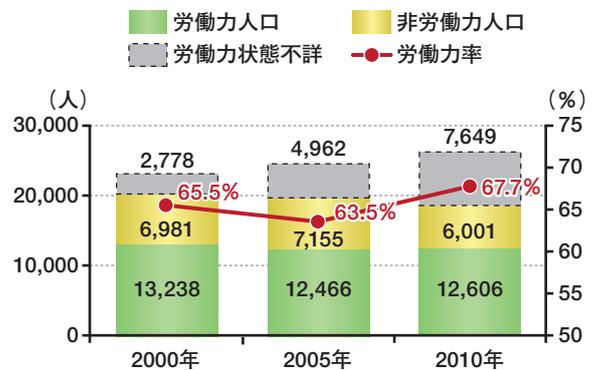


図10 完全失業者数と失業率の推移

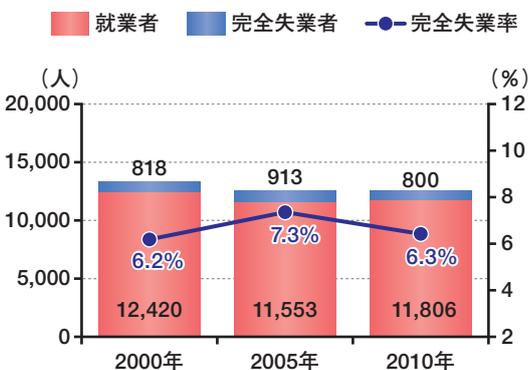
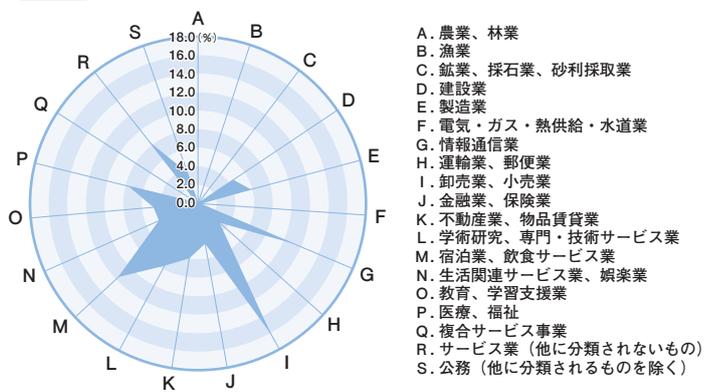


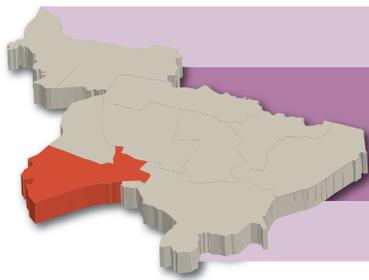
図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



柏木地域は新宿区の西中央部に位置しており、住宅地に加えて、青梅街道沿いの再開発エリアなどがあります。総人口は 28,937 人と、10 地域の中ではそれほど多くはありませんが、外国人人口は 3,403 人と多く、その割合は 11.8% に達しています。年齢 3 区分別にみると、0～14 歳人口割合は 6.7% (1,882 人) と低く、一方で、未婚者の割合 (51.0%、12,325 人) は高い傾向にあります。世帯の家族類型については、単独世帯が 69.1% (13,016 世帯) と高い割合を占めていますが、そのうち 65 歳以上の単

独世帯は 14.5% (1,893 世帯) で、その割合は低いものとどまっています。

労働力率は 67.7% と比較的高く、産業大分類別就業者を多い順にみると、「卸売業、小売業」は 1,408 人 (16.2%) で、これに「宿泊業、飲食サービス業」(1,021 人、11.7%)、「情報通信業」(960 人、11.0%) が続きます。



角筈・区役所地域

図1 5歳階級別人口ピラミッド (2010年)

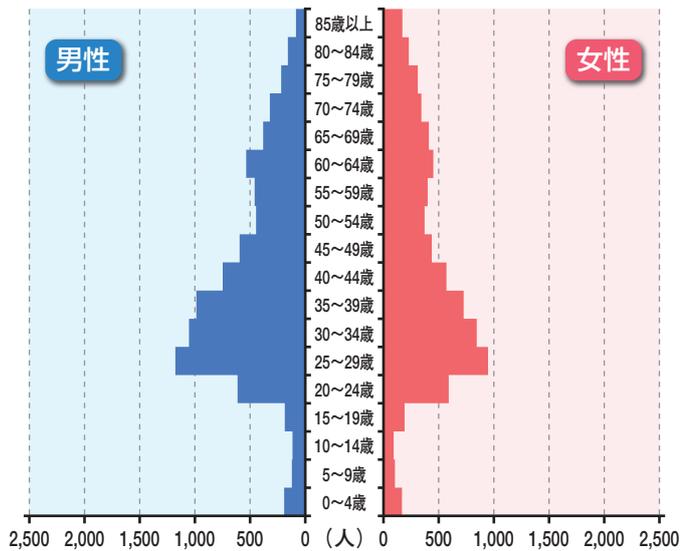
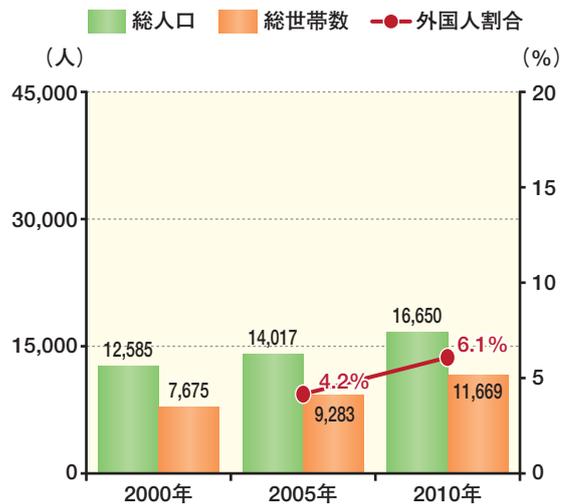


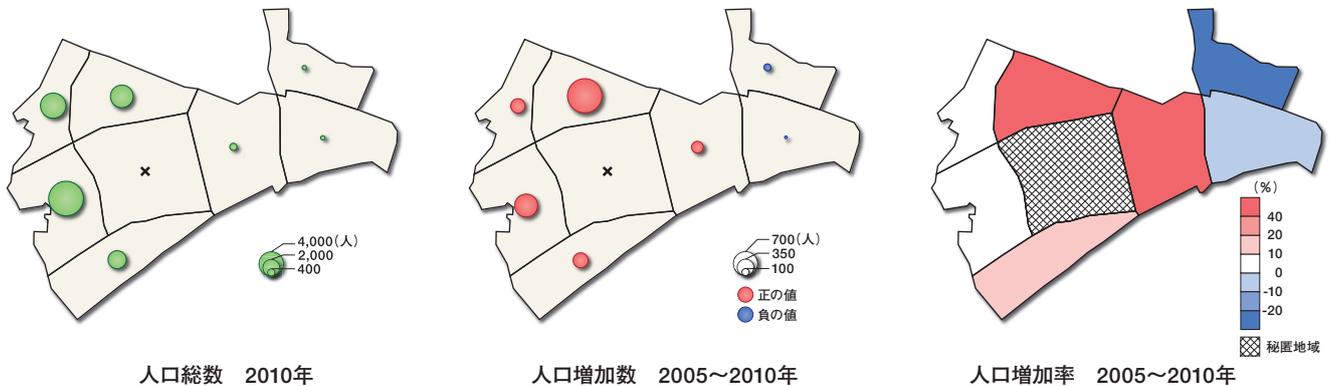
図2 人口と世帯数・外国人割合の推移



注1 「外国人割合」は総人口(日本人・外国人の別「不詳」を含む)を分母として算出している。また、2000年の外国人人口に関する町丁別データは公表されていない。

注2 「総世帯数」は施設等の世帯を含む。

図3 町丁別人口とその増加



※「西新宿二丁目」は、人口が際めて少ない秘匿対象地域に分類され、その数値は総務省統計局の集計により「西新宿一丁目」に合算されている。

図4 年齢3区分別人口割合の推移

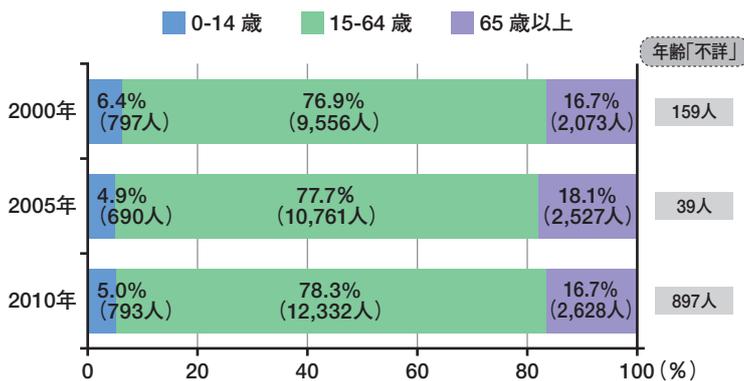


図5 75歳以上人口と、65歳以上人口に占める割合の推移

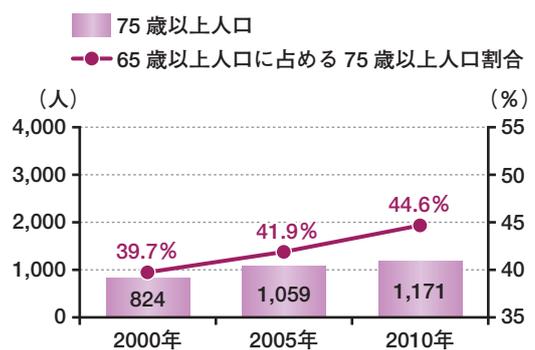


図6 世帯の家族類型別割合の推移

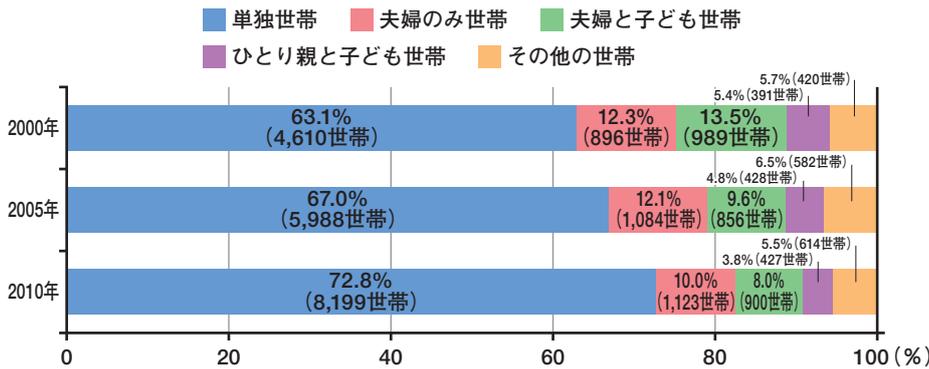


図7 配偶関係 (2010年)

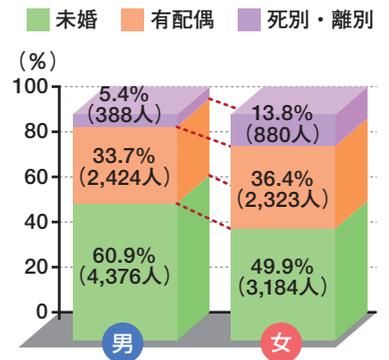


図8 高齢単独世帯の推移

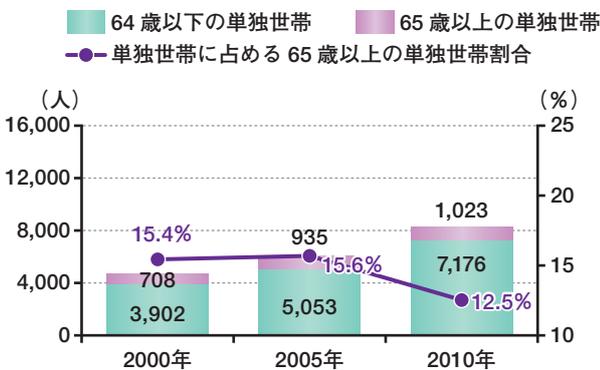


図9 労働力状態の推移

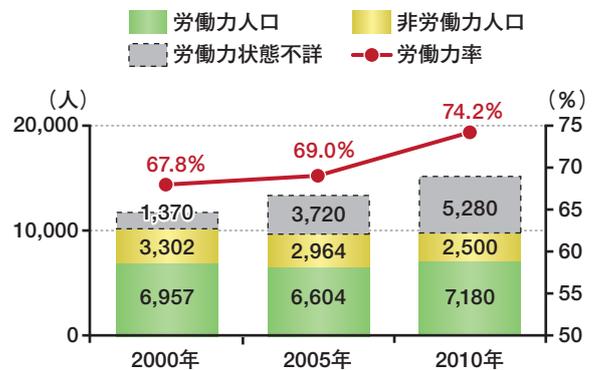


図10 完全失業者数と失業率の推移

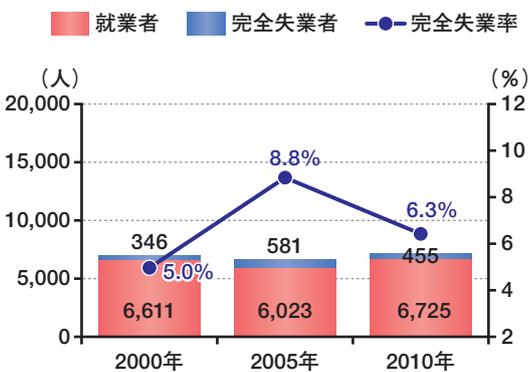
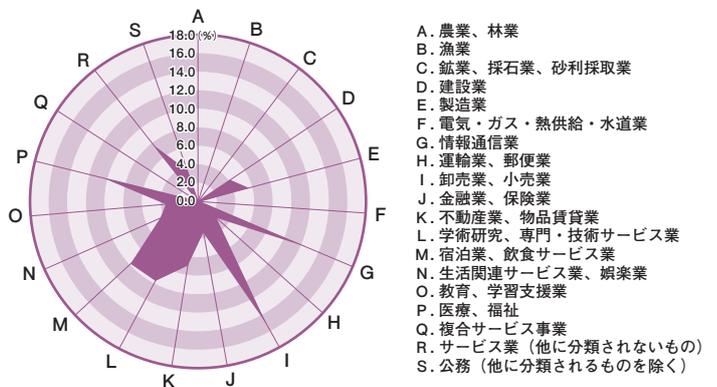


図11 産業大分類別就業者割合 (2010年)



角筈・区役所地域は、新宿副都心の超高層街区に集積するオフィスや商業施設エリアを中心とする角筈地域と、新宿駅東口に栄える区役所地域から成り立っています。10 地域のうち最も人口が少ない地域ですが、町丁別にみると、2005 年から 2010 年にかけては、西新宿 6 丁目における人口増加が顕著で、1,671 人から 3,139 人へと 87.9% 増加しました。0 ～ 14 歳人口割合 (5.0%、793 人) が最も低いことも特徴で、65 歳以上割合も 16.7% (2,628 人) と低く、15 歳～ 64 歳人口割合が 78.3% (12,332 人) と高

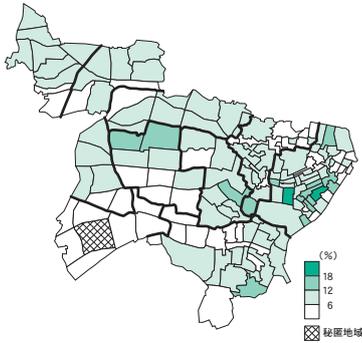
くなっています。また、未婚割合が 55.7% (7,560 人)、単独世帯割合が 72.8% (8,199 世帯) で、それぞれ 10 地域の中で最も高いことも目立ちます。

労働力率も 74.2% と、その高さが際立っています。産業大分類別に就業者をみると、「卸売業、小売業」に 758 人 (15.1%) が従事するほか、「情報通信業」(618 人、12.3%)、「医療、福祉」(531 人、10.6%) にかかわる人も多いことがわかります。

2. 町丁別の集計結果

小地域集計からわかる主なデータから、町丁別割合を算出し、その結果を地図上に示しました。また、各項目について、割合の高い町丁と低い町丁を各10位まで掲載しました。

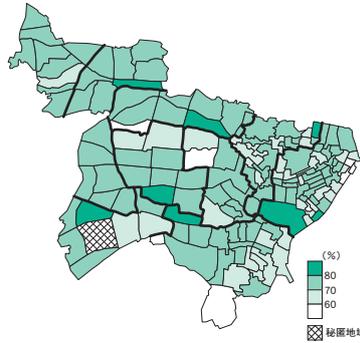
1. 年齢別人口と外国人人口



0～14歳人口の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 1丁目 20.4%(n= 505)
2	市谷砂土原町 3丁目 18.2%(n= 941)
3	河田町 17.1%(n= 2,838)
4	市谷鷹匠町 15.4%(n= 123)
5	市谷砂土原町 1丁目 14.9%(n= 248)
6	市谷仲之町 14.8%(n= 2,080)
7	大久保 3丁目 14.7%(n= 3,827)
8	市谷船河原町 14.0%(n= 229)
9	市谷砂土原町 2丁目 13.9%(n= 445)
10	若宮町 13.7%(n= 1,010)
割合の低い町丁	
1	西新宿 1丁目 0.4%(n= 244)
2	歌舞伎町 1丁目 0.8%(n= 131)
3	新宿 4丁目 1.0%(n= 308)
4	津久戸町 1.8%(n= 163)
5	市谷長延寺町 2.5%(n= 162)
6	東横町 2.6%(n= 274)
7	神楽坂 6丁目 2.8%(n= 781)
8	改代町 2.9%(n= 348)
9	新宿 3丁目 3.0%(n= 133)
10	歌舞伎町 2丁目 3.4%(n= 2,179)

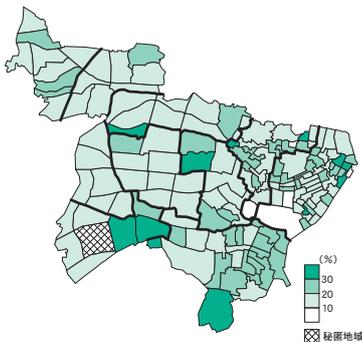
n=人口総数から年齢「不詳」を除いた値



15～64歳人口の割合

割合の高い町丁	
1	市谷本村町 85.6%(n= 2,640)
2	歌舞伎町 2丁目 85.1%(n= 2,179)
3	笹笥町 82.8%(n= 570)
4	新宿 5丁目 80.8%(n= 2,352)
5	水道町 80.6%(n= 795)
6	下落合 1丁目 80.4%(n= 2,357)
7	西新宿 6丁目 80.2%(n= 2,932)
8	西早稲田 2丁目 80.1%(n= 5,535)
9	西新宿 7丁目 79.9%(n= 2,325)
10	西新宿 3丁目 79.4%(n= 1,819)
割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 45.1%(n= 443)
2	百人町 4丁目 48.2%(n= 2,399)
3	戸山 2丁目 51.1%(n= 6,114)
4	市谷長延寺町 51.2%(n= 162)
5	新宿 4丁目 57.5%(n= 308)
6	津久戸町 60.7%(n= 163)
7	原町 2丁目 61.0%(n= 1,387)
8	百人町 3丁目 62.2%(n= 5,613)
9	市谷砂土原町 1丁目 62.5%(n= 248)
10	四谷 1丁目 62.7%(n= 498)

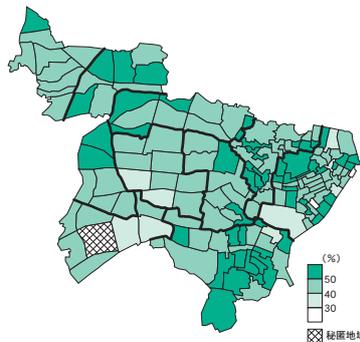
n=人口総数から年齢「不詳」を除いた値



65歳以上人口の割合

割合の高い町丁	
1	霞ヶ丘町 50.3%(n= 443)
2	市谷長延寺町 46.3%(n= 162)
3	百人町 4丁目 45.3%(n= 2,399)
4	戸山 2丁目 43.3%(n= 6,114)
5	新宿 4丁目 41.6%(n= 308)
6	津久戸町 37.4%(n= 163)
7	新宿 3丁目 31.6%(n= 133)
8	西新宿 1丁目 31.6%(n= 244)
9	馬場下町 30.6%(n= 503)
10	改代町 30.5%(n= 348)
割合の低い町丁	
1	市谷加賀町 1丁目 3.6%(n= 505)
2	市谷本村町 4.0%(n= 2,640)
3	市谷仲之町 9.5%(n= 2,080)
4	市谷鷹匠町 9.8%(n= 123)
5	東五軒町 10.1%(n= 1,656)
6	白銀町 10.4%(n= 1,364)
7	笹笥町 11.1%(n= 570)
8	市谷加賀町 2丁目 11.1%(n= 1,516)
9	河田町 11.3%(n= 2,838)
10	歌舞伎町 2丁目 11.5%(n= 2,179)

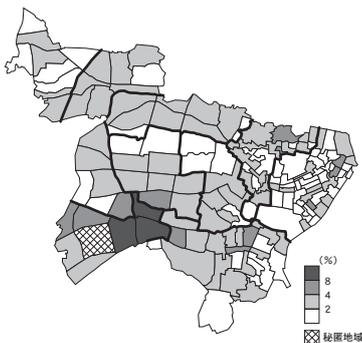
n=人口総数から年齢「不詳」を除いた値



65歳以上人口のうち75歳以上人口の割合

割合の高い町丁	
1	北山伏町 76.1%(n= 113)
2	原町 2丁目 66.9%(n= 381)
3	西五軒町 63.3%(n= 256)
4	原町 3丁目 58.9%(n= 314)
5	高田馬場 2丁目 56.8%(n= 329)
6	早稲田南町 56.3%(n= 256)
7	左門町 55.4%(n= 267)
8	百人町 4丁目 55.3%(n= 1,086)
9	二十騎町 55.2%(n= 134)
10	戸山 1丁目 55.2%(n= 435)
割合の低い町丁	
1	歌舞伎町 2丁目 33.5%(n= 251)
2	東五軒町 33.5%(n= 167)
3	市谷本村町 37.1%(n= 105)
4	百人町 1丁目 38.5%(n= 764)
5	坂町 39.1%(n= 442)
6	神楽坂 5丁目 39.6%(n= 106)
7	弘方町 40.4%(n= 104)
8	南山伏町 41.0%(n= 100)
9	神楽坂 3丁目 41.2%(n= 102)
10	新宿 4丁目 41.4%(n= 128)

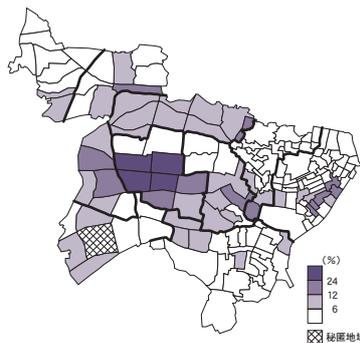
n=65歳以上人口



年齢「不詳」の割合

割合の高い町丁	
1	西新宿 1丁目 41.5%(n= 417)
2	歌舞伎町 1丁目 11.5%(n= 148)
3	新宿 3丁目 11.3%(n= 150)
4	歌舞伎町 2丁目 7.0%(n= 2,344)
5	西新宿 6丁目 6.6%(n= 3,139)
6	東横町 5.5%(n= 290)
7	新宿 2丁目 5.1%(n= 1,418)
8	市谷砂土原町 2丁目 4.9%(n= 468)
9	四谷 3丁目 4.7%(n= 465)
10	山吹町 4.7%(n= 3,201)
割合の低い町丁	
1	市谷山伏町 0.0%(n= 450)
2	南横町 0.0%(n= 1,192)
3	市谷加賀町 1丁目 0.2%(n= 506)
4	市谷加賀町 2丁目 0.3%(n= 1,520)
5	大久保 3丁目 0.3%(n= 3,838)
6	戸山 2丁目 0.3%(n= 6,133)
7	南山伏町 0.3%(n= 620)
8	百人町 4丁目 0.5%(n= 2,410)
9	百人町 3丁目 0.5%(n= 5,641)
10	中落合 4丁目 0.6%(n= 3,162)

n=人口総数



外国人人口の割合

割合の高い町丁	
1	大久保 1丁目 33.7%(n= 3,735)
2	百人町 2丁目 28.0%(n= 4,625)
3	大久保 2丁目 26.1%(n= 7,738)
4	百人町 1丁目 25.6%(n= 4,023)
5	市谷砂土原町 3丁目 23.8%(n= 958)
6	戸塚町 1丁目 23.3%(n= 232)
7	歌舞伎町 2丁目 20.3%(n= 2,344)
8	河田町 18.7%(n= 2,934)
9	北新宿 3丁目 16.4%(n= 6,847)
10	市谷仲之町 16.1%(n= 2,106)
割合の低い町丁	
1	市谷八幡町 0.0%(n= 118)
2	市谷加賀町 1丁目 0.4%(n= 506)
3	新宿 3丁目 0.7%(n= 150)
4	西新宿 1丁目 0.7%(n= 417)
5	市谷鷹匠町 0.8%(n= 124)
6	櫻町 1.0%(n= 614)
7	神楽坂 4丁目 1.0%(n= 200)
8	中里町 1.3%(n= 617)
9	東五軒町 1.3%(n= 1,683)
10	神楽坂 5丁目 1.3%(n= 742)

n=人口総数

注 1) 「n」は割合の分母となる値である。

注 2) 「西新宿二丁目」は、人口が極めて少ない秘匿対象地域に分類され、その数値は総務省統計局の集計により「西新宿一丁目」に合算されている。

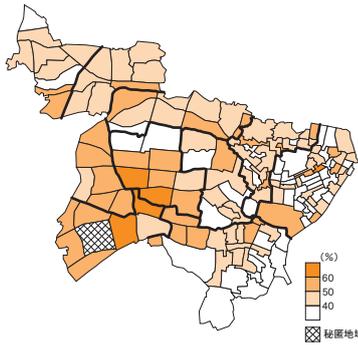
注 3) 地図上の値を表す凡例の階級区分は、地図によって異なっている。

注 4) 表中では、分母となる値が100人未満の町丁を除いて集計した。また、0.0%が頻出する項目などは、低い順位の表示は行っていない。

注 5) 割合は小数点以下第一位まで、一般世帯1世帯当たり人員は小数点以下第二位までを表示した。集計に際しては、これらの有効数字以下の値も考慮したため、表中における割合または人員数が同数であっても、異なった順位が付与されている場合がある。

注 6) 表中の割合または人員数に同順のものが複数ある場合、それらの町丁名は国勢調査報告書に記載された順序に従って表示した。

2. 配属関係

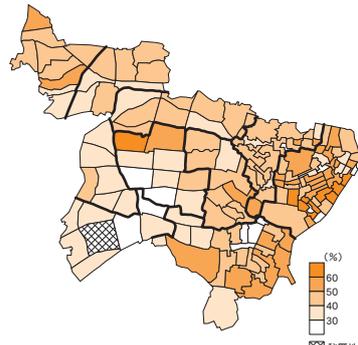


未婚の割合

割合の高い町		
1	歌舞伎町 1丁目	73.6%(n= 125)
2	西新宿 1丁目	66.4%(n= 238)
3	歌舞伎町 2丁目	66.0%(n= 1,853)
4	岩戸町	63.6%(n= 346)
5	百人町 1丁目	61.8%(n= 3,532)
6	西新宿 5丁目	59.6%(n= 3,014)
7	西新宿 3丁目	59.5%(n= 1,622)
8	下落合 1丁目	59.4%(n= 2,160)
9	新宿 5丁目	59.1%(n= 1,979)
10	新宿 4丁目	57.5%(n= 275)

割合の低い町		
1	市谷船河原町	26.5%(n= 196)
2	市谷砂土原町 1丁目	27.1%(n= 203)
3	百人町 3丁目	27.8%(n= 4,703)
4	戸山 2丁目	28.5%(n= 5,489)
5	市谷左内町	29.7%(n= 401)
6	百人町 4丁目	29.9%(n= 2,174)
7	市谷砂土原町 3丁目	30.3%(n= 748)
8	市谷田町 3丁目	31.3%(n= 166)
9	南町	31.4%(n= 436)
10	内藤町	32.3%(n= 779)

n=15歳以上人口から配偶関係「不詳」を除いた値

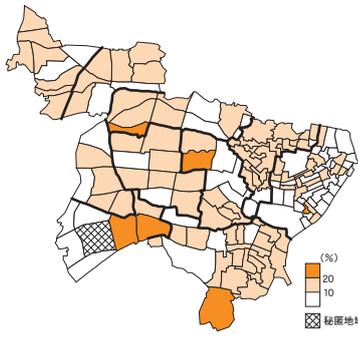


有配偶の割合

割合の高い町		
1	市谷船河原町	69.4%(n= 196)
2	市谷加賀町 1丁目	65.9%(n= 402)
3	市谷左内町	63.6%(n= 401)
4	市谷砂土原町 3丁目	63.5%(n= 748)
5	市谷田町 3丁目	60.8%(n= 166)
6	市谷砂土原町 1丁目	60.6%(n= 203)
7	市谷鷹匠町	60.6%(n= 104)
8	百人町 3丁目	60.1%(n= 4,703)
9	内藤町	59.9%(n= 779)
10	南町	59.4%(n= 436)

割合の低い町		
1	西新宿 1丁目	12.6%(n= 238)
2	歌舞伎町 1丁目	13.6%(n= 125)
3	新宿 4丁目	24.4%(n= 275)
4	歌舞伎町 2丁目	24.6%(n= 1,853)
5	市谷長延寺町	25.5%(n= 153)
6	百人町 1丁目	27.5%(n= 3,532)
7	岩戸町	27.8%(n= 346)
8	下落合 1丁目	30.9%(n= 2,160)
9	新宿 5丁目	31.9%(n= 1,979)
10	西新宿 5丁目	32.0%(n= 3,014)

n=15歳以上人口から配偶関係「不詳」を除いた値

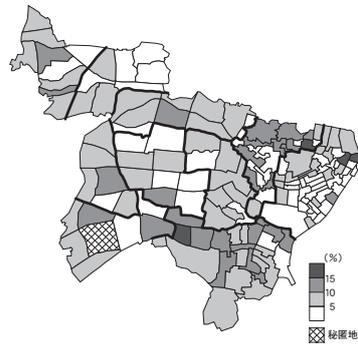


死別・離別の割合

割合の高い町		
1	市谷長延寺町	37.9%(n= 153)
2	霞ヶ丘町	28.8%(n= 399)
3	百人町 4丁目	27.4%(n= 2,174)
4	戸山 2丁目	24.6%(n= 5,489)
5	新宿 3丁目	23.5%(n= 115)
6	西新宿 1丁目	21.0%(n= 238)
7	北山伏町	19.1%(n= 372)
8	原町 2丁目	18.9%(n= 1,177)
9	新宿 4丁目	18.2%(n= 275)
10	四谷 1丁目	15.0%(n= 439)

割合の低い町		
1	市谷加賀町 1丁目	1.5%(n= 402)
2	市谷本村町	3.0%(n= 2,265)
3	市谷船河原町	4.1%(n= 196)
4	東五軒町	5.4%(n= 1,347)
5	筑土八幡町	5.6%(n= 875)
6	市谷加賀町 2丁目	5.7%(n= 1,272)
7	市谷鷹匠町	5.8%(n= 104)
8	市谷砂土原町 3丁目	6.1%(n= 748)
9	市谷仲之町	6.4%(n= 1,656)
10	弘方町	6.7%(n= 675)

n=15歳以上人口から配偶関係「不詳」を除いた値



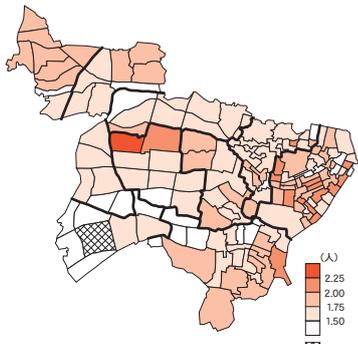
配偶関係「不詳」の割合

割合の高い町		
1	津久戸町	39.4%(n= 160)
2	下高比町	18.3%(n= 175)
3	新宿 2丁目	16.6%(n= 1,287)
4	赤城下町	15.2%(n= 1,300)
5	荒木町	14.6%(n= 2,033)
6	西新宿 6丁目	14.4%(n= 2,780)
7	東横町	13.9%(n= 267)
8	片町	13.4%(n= 367)
9	大京町	12.3%(n= 3,012)
10	改代町	12.1%(n= 338)

割合の低い町		
1	市谷加賀町 1丁目	0.0%(n= 402)
2	市谷鷹匠町	0.0%(n= 104)
3	南横町	0.4%(n= 1,080)
4	中町	0.5%(n= 423)
5	市谷船河原町	0.5%(n= 197)
6	神楽坂 6丁目	1.2%(n= 759)
7	神楽坂 2丁目	1.4%(n= 214)
8	市谷左内町	1.7%(n= 408)
9	下落合 4丁目	1.8%(n= 2,848)
10	西新宿 1丁目	2.1%(n= 243)

n=15歳以上人口

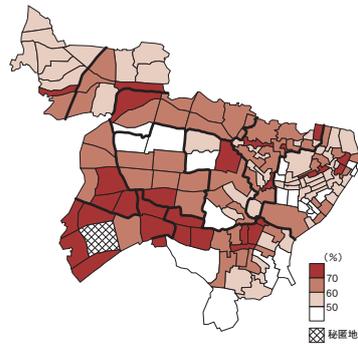
3. 世帯の規模と家族類型



一般世帯 1世帯当たりの人員

人員の多い町		
1	市谷加賀町 1丁目	3.44
2	神楽坂 1丁目	2.62
3	市谷船河原町	2.43
4	百人町 3丁目	2.26
5	堀場町	2.25
6	大久保 3丁目	2.24
7	市谷砂土原町 3丁目	2.22
8	市谷砂土原町 1丁目	2.18
9	市谷田町 1丁目	2.17
10	市谷鷹匠町	2.14

人員の少ない町		
1	新宿 4丁目	1.27
2	歌舞伎町 1丁目	1.28
3	歌舞伎町 2丁目	1.29
4	津久戸町	1.33
5	西新宿 7丁目	1.33
6	岩戸町	1.35
7	新宿 2丁目	1.37
8	西新宿 6丁目	1.38
9	西新宿 8丁目	1.40
10	東横町	1.40

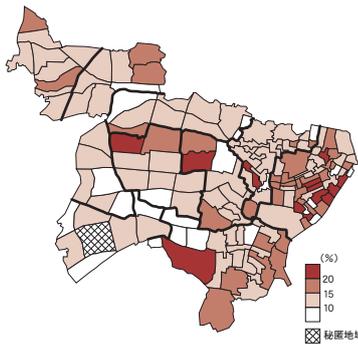


単独世帯の割合

割合の高い町		
1	歌舞伎町 1丁目	84.0%(n= 106)
2	新宿 4丁目	83.1%(n= 237)
3	歌舞伎町 2丁目	79.7%(n= 1,808)
4	岩戸町	79.0%(n= 290)
5	西新宿 7丁目	78.5%(n= 1,813)
6	新宿 2丁目	77.9%(n= 1,014)
7	東横町	77.3%(n= 207)
8	西新宿 6丁目	75.6%(n= 2,267)
9	片町	74.9%(n= 275)
10	西新宿 8丁目	74.2%(n= 1,784)

割合の低い町		
1	市谷加賀町 1丁目	6.1%(n= 147)
2	百人町 3丁目	33.4%(n= 2,495)
3	大久保 3丁目	35.5%(n= 1,692)
4	戸山 2丁目	37.7%(n= 3,184)
5	市谷砂土原町 1丁目	40.2%(n= 117)
6	中里町	40.5%(n= 296)
7	市谷砂土原町 3丁目	40.8%(n= 431)
8	市山伏町	42.2%(n= 223)
9	中町	43.8%(n= 235)
10	南町	43.8%(n= 260)

n=一般世帯

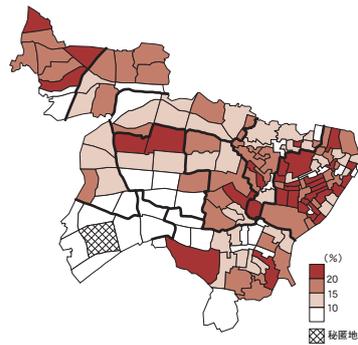


夫婦のみ世帯の割合

割合の高い町		
1	市谷左内町	26.1%(n= 241)
2	戸山 2丁目	23.5%(n= 3,184)
3	市谷田町 3丁目	22.5%(n= 120)
4	内藤町	21.4%(n= 490)
5	白銀町	21.3%(n= 775)
6	百人町 3丁目	21.0%(n= 2,495)
7	南町	20.8%(n= 260)
8	市谷砂土原町 3丁目	20.6%(n= 431)
9	中町	20.0%(n= 235)
10	中里町	19.6%(n= 296)

割合の低い町		
1	歌舞伎町 1丁目	3.8%(n= 106)
2	新宿 4丁目	6.3%(n= 237)
3	歌舞伎町 2丁目	7.0%(n= 1,808)
4	東横町	7.2%(n= 207)
5	水道町	7.3%(n= 561)
6	戸山 1丁目	7.8%(n= 1,794)
7	四谷 3丁目	8.1%(n= 310)
8	新宿 2丁目	8.1%(n= 1,014)
9	戸塚町 1丁目	8.2%(n= 146)
10	片町	8.4%(n= 275)

n=一般世帯

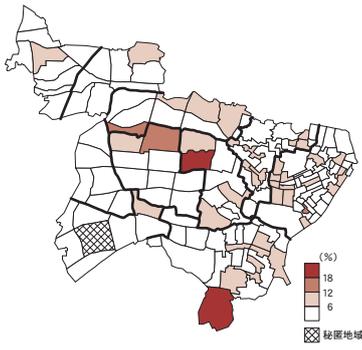


夫婦と子ども世帯の割合

割合の高い町		
1	市谷加賀町 1丁目	75.5%(n= 147)
2	市谷砂土原町 3丁目	30.6%(n= 431)
3	市谷砂土原町 1丁目	29.9%(n= 117)
4	百人町 3丁目	29.6%(n= 2,495)
5	大久保 3丁目	29.2%(n= 1,692)
6	中里町	25.3%(n= 296)
7	南横町	25.3%(n= 590)
8	市谷加賀町 2丁目	24.9%(n= 667)
9	中町	24.7%(n= 235)
10	南町	24.6%(n= 260)

割合の低い町		
1	歌舞伎町 1丁目	1.9%(n= 106)
2	歌舞伎町 2丁目	3.3%(n= 1,808)
3	市谷長延寺町	3.6%(n= 111)
4	新宿 4丁目	4.2%(n= 237)
5	西新宿 7丁目	6.2%(n= 1,813)
6	岩戸町	6.6%(n= 290)
7	新宿 2丁目	6.8%(n= 1,014)
8	百人町 1丁目	6.9%(n= 2,438)
9	西新宿 8丁目	7.0%(n= 1,784)
10	新宿 5丁目	7.0%(n= 1,695)

n=一般世帯

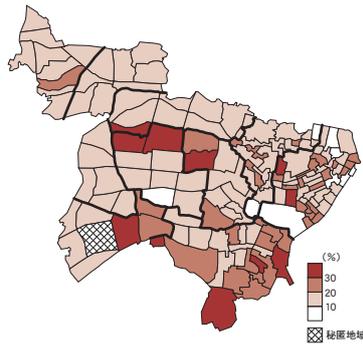


ひとり親と子ども世帯の割合

割合の高い町丁	
1	市谷長延寺町 23.4%(n= 111)
2	霞ヶ丘町 21.7%(n= 249)
3	戸山2丁目 19.4%(n= 3,184)
4	百人町4丁目 14.5%(n= 1,285)
5	大久保3丁目 12.2%(n= 1,692)
6	市谷山伏町 11.2%(n= 223)
7	戸山3丁目 10.9%(n= 532)
8	百人町3丁目 10.2%(n= 2,495)
9	神楽坂2丁目 9.2%(n= 141)
10	南横町 9.2%(n= 590)

割合の低い町丁	
1	岩戸町 2.1%(n= 290)
2	笹笥町 2.5%(n= 398)
3	歌舞伎町2丁目 2.8%(n= 1,808)
4	西新宿7丁目 3.0%(n= 1,813)
5	市谷本村町 3.0%(n= 1,193)
6	神楽坂3丁目 3.1%(n= 359)
7	西新宿6丁目 3.1%(n= 2,267)
8	新宿2丁目 3.2%(n= 1,014)
9	荒木町 3.4%(n= 1,552)
10	西新宿3丁目 3.5%(n= 1,318)

n.=一般世帯



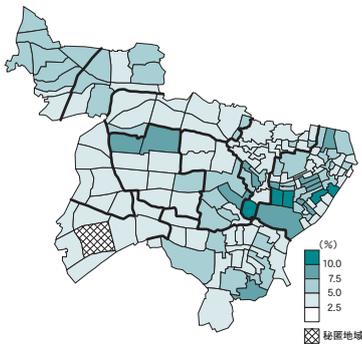
単独世帯のうち高齢単独世帯の割合

割合の高い町丁	
1	霞ヶ丘町 71.3%(n= 115)
2	戸山2丁目 66.6%(n= 1,200)
3	百人町4丁目 64.6%(n= 630)
4	百人町3丁目 49.0%(n= 833)
5	新宿4丁目 37.6%(n= 197)
6	南横町 35.3%(n= 269)
7	大久保3丁目 34.8%(n= 601)
8	四谷1丁目 34.5%(n= 113)
9	中里町 32.5%(n= 120)
10	若葉2丁目 31.2%(n= 221)

割合の低い町丁	
1	市谷本村町 4.4%(n= 754)
2	北山伏町 6.0%(n= 134)
3	笹笥町 7.6%(n= 288)
4	市谷仲之町 8.2%(n= 561)
5	若宮町 8.3%(n= 337)
6	水道町 8.4%(n= 415)
7	筑土八幡町 8.8%(n= 354)
8	東五軒町 8.8%(n= 520)
9	歌舞伎町2丁目 9.6%(n= 1,441)
10	市谷甲良町 10.2%(n= 186)

n.=単独世帯

4. 子ども・高齢者のいる世帯

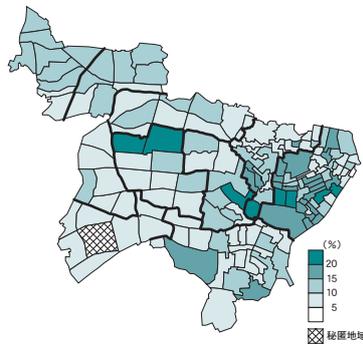


6歳未満世帯員のいる世帯の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町1丁目 14.3%(n= 147)
2	市谷砂土原町3丁目 12.3%(n= 431)
3	河田町 11.1%(n= 1,539)
4	市谷仲之町 10.4%(n= 1,075)
5	市谷砂土原町1丁目 10.3%(n= 117)
6	市谷加賀町2丁目 10.0%(n= 667)
7	市谷本村町 9.9%(n= 1,193)
8	百人町3丁目 9.6%(n= 2,496)
9	南町 9.2%(n= 260)
10	大久保3丁目 9.1%(n= 1,692)

割合の低い町丁	
1	新宿4丁目 0.4%(n= 237)
2	霞ヶ丘町 0.8%(n= 249)
3	市谷長延寺町 0.9%(n= 111)
4	歌舞伎町1丁目 0.9%(n= 106)
5	神楽坂2丁目 1.4%(n= 141)
6	東横町 1.4%(n= 207)
7	歌舞伎町2丁目 1.6%(n= 1,808)
8	横寺町 1.6%(n= 560)
9	四谷2丁目 1.7%(n= 181)
10	西新宿7丁目 1.8%(n= 1,813)

n.=一般世帯

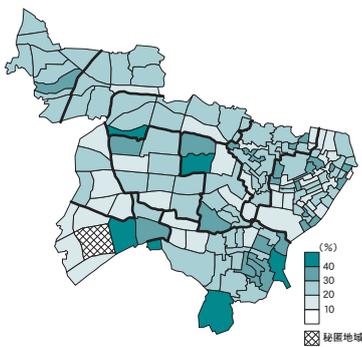


18歳未満世帯員のいる世帯の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町1丁目 59.9%(n= 147)
2	市谷砂土原町3丁目 26.0%(n= 431)
3	大久保3丁目 25.8%(n= 1,692)
4	百人町3丁目 23.6%(n= 2,496)
5	河田町 22.3%(n= 1,539)
6	市谷仲之町 20.8%(n= 1,075)
7	市谷加賀町2丁目 20.1%(n= 667)
8	市谷砂土原町1丁目 19.7%(n= 117)
9	南町 18.5%(n= 260)
10	市谷本村町 18.1%(n= 1,193)

割合の低い町丁	
1	新宿4丁目 1.7%(n= 237)
2	歌舞伎町1丁目 1.9%(n= 106)
3	東横町 3.4%(n= 207)
4	西新宿7丁目 4.1%(n= 1,813)
5	神楽坂3丁目 4.2%(n= 359)
6	歌舞伎町2丁目 4.2%(n= 1,808)
7	新宿2丁目 4.3%(n= 1,014)
8	岩戸町 4.5%(n= 290)
9	改代町 4.8%(n= 207)
10	神楽坂6丁目 4.8%(n= 476)

n.=一般世帯

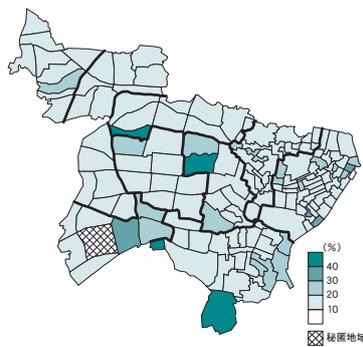


65歳以上世帯員のいる世帯の割合

割合の高い町丁	
1	霞ヶ丘町 68.7%(n= 249)
2	戸山2丁目 62.1%(n= 3,184)
3	百人町4丁目 60.8%(n= 1,285)
4	市谷長延寺町 57.7%(n= 111)
5	四谷1丁目 44.2%(n= 249)
6	新宿4丁目 43.5%(n= 237)
7	百人町3丁目 39.8%(n= 2,496)
8	南横町 39.2%(n= 590)
9	若葉2丁目 38.4%(n= 409)
10	馬場下町 36.8%(n= 302)

割合の低い町丁	
1	市谷本村町 7.0%(n= 1,193)
2	市谷加賀町1丁目 7.5%(n= 147)
3	歌舞伎町2丁目 12.0%(n= 1,808)
4	笹笥町 12.1%(n= 398)
5	東五軒町 13.1%(n= 936)
6	市谷仲之町 13.4%(n= 1,075)
7	白銀町 13.9%(n= 775)
8	西新宿6丁目 15.1%(n= 2,267)
9	河田町 15.3%(n= 1,539)
10	水道町 15.5%(n= 561)

n.=一般世帯

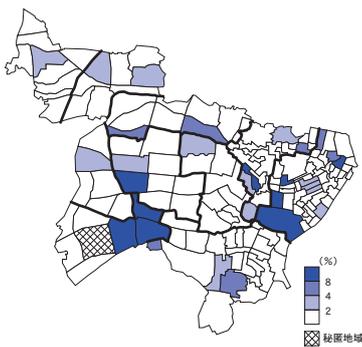


65歳以上世帯員のみ世帯の割合

割合の高い町丁	
1	霞ヶ丘町 49.0%(n= 249)
2	百人町4丁目 44.0%(n= 1,285)
3	戸山2丁目 41.4%(n= 3,184)
4	市谷長延寺町 40.5%(n= 111)
5	新宿4丁目 36.3%(n= 237)
6	百人町3丁目 26.9%(n= 2,496)
7	下宮比町 26.4%(n= 129)
8	若葉2丁目 25.7%(n= 409)
9	早稲田南町 24.9%(n= 522)
10	南横町 23.7%(n= 590)

割合の低い町丁	
1	市谷加賀町1丁目 3.4%(n= 147)
2	市谷本村町 3.9%(n= 1,193)
3	笹笥町 7.5%(n= 398)
4	東五軒町 7.6%(n= 936)
5	市谷仲之町 7.6%(n= 1,075)
6	水道町 7.8%(n= 561)
7	白銀町 7.9%(n= 775)
8	北山伏町 8.3%(n= 228)
9	歌舞伎町2丁目 8.7%(n= 1,808)
10	築地町 9.4%(n= 309)

n.=一般世帯

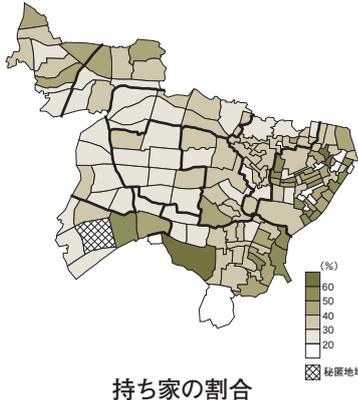


世帯人員のうち施設等世帯人員の割合

割合の高い町丁	
1	西新宿1丁目 81.5%(n= 417)
2	新宿3丁目 30.0%(n= 150)
3	市谷本村町 25.6%(n= 2,681)
4	津久戸町 22.8%(n= 171)
5	市谷加賀町2丁目 13.6%(n= 1,520)
6	北山伏町 13.0%(n= 440)
7	原町2丁目 9.8%(n= 1,402)
8	百人町1丁目 8.5%(n= 4,023)
9	歌舞伎町1丁目 8.1%(n= 148)
10	信濃町 6.3%(n= 943)

n.=世帯人員総数

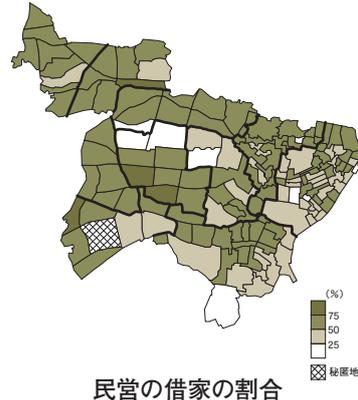
5. 住宅の所有の関係



割合の高い町丁	
1	神楽坂 5 丁目 75.4%(n= 410)
2	市谷山伏町 64.5%(n= 211)
3	内藤町 62.7%(n= 490)
4	白銀町 61.7%(n= 763)
5	四谷 1 丁目 57.9%(n= 242)
6	南山伏町 57.5%(n= 332)
7	南横町 57.5%(n= 586)
8	中里町 57.1%(n= 296)
9	市谷砂土原町 1 丁目 56.0%(n= 116)
10	南町 55.4%(n= 258)

割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 0.0%(n= 245)
2	戸山 2 丁目 5.4%(n= 3,184)
3	市谷長延寺町 5.4%(n= 111)
4	百人町 4 丁目 7.5%(n= 1,285)
5	市谷加賀町 1 丁目 12.2%(n= 147)
6	河田町 12.7%(n= 1,539)
7	歌舞伎町 2 丁目 15.2%(n= 1,792)
8	百人町 1 丁目 16.1%(n= 2,352)
9	市谷砂土原町 2 丁目 18.4%(n= 283)
10	大久保 3 丁目 19.7%(n= 1,672)

n.= 住宅に住む一般世帯

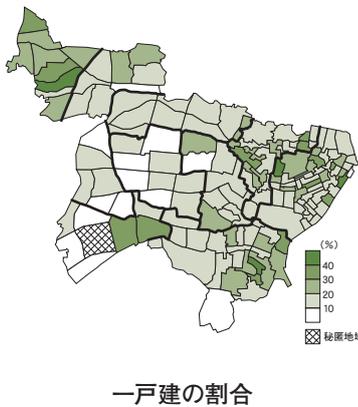


割合の高い町丁	
1	歌舞伎町 2 丁目 80.1%(n= 1,792)
2	下落合 1 丁目 77.0%(n= 1,592)
3	百人町 1 丁目 76.3%(n= 2,352)
4	西新宿 5 丁目 75.8%(n= 2,459)
5	新宿 2 丁目 74.9%(n= 1,009)
6	若戸町 74.4%(n= 289)
7	神楽坂 3 丁目 74.2%(n= 357)
8	水道町 73.9%(n= 541)
9	西新宿 8 丁目 73.7%(n= 1,781)
10	中井 1 丁目 72.8%(n= 1,264)

割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 0.4%(n= 245)
2	戸山 2 丁目 0.6%(n= 3,184)
3	市谷加賀町 1 丁目 2.7%(n= 147)
4	百人町 4 丁目 7.9%(n= 1,285)
5	大久保 3 丁目 10.6%(n= 1,672)
6	百人町 3 丁目 11.3%(n= 2,488)
7	市谷長延寺町 12.6%(n= 111)
8	神楽坂 5 丁目 22.4%(n= 410)
9	筑土八幡町 25.6%(n= 544)
10	南山伏町 26.5%(n= 332)

n.= 住宅に住む一般世帯

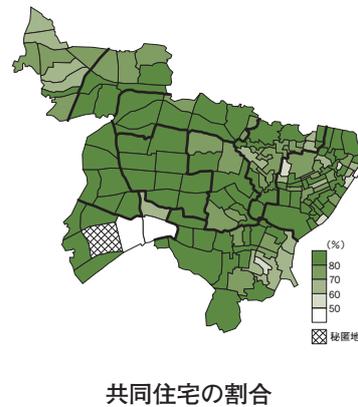
6. 住宅の建て方



割合の高い町丁	
1	南横町 52.3%(n= 568)
2	中井 2 丁目 44.1%(n= 1,471)
3	若葉 2 丁目 40.9%(n= 386)
4	西落合 4 丁目 37.0%(n= 1,049)
5	赤城町 35.2%(n= 805)
6	神楽坂 4 丁目 35.0%(n= 103)
7	喜久井町 32.4%(n= 1,037)
8	本塩町 32.2%(n= 273)
9	改代町 31.8%(n= 201)
10	若葉 3 丁目 31.7%(n= 596)

割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 0.0%(n= 245)
2	戸山 2 丁目 0.0%(n= 3,180)
3	市谷砂土原町 2 丁目 0.4%(n= 283)
4	百人町 4 丁目 0.5%(n= 1,280)
5	市谷本村町 0.7%(n= 1,125)
6	西新宿 6 丁目 0.7%(n= 2,170)
7	大久保 3 丁目 1.5%(n= 1,667)
8	歌舞伎町 2 丁目 1.5%(n= 1,777)
9	新宿 5 丁目 3.4%(n= 1,667)
10	下落合 1 丁目 3.8%(n= 1,567)

n.= 主世帯(間借りを除く)住宅に住む一般世帯から住宅の建て方「不詳」を除いた値



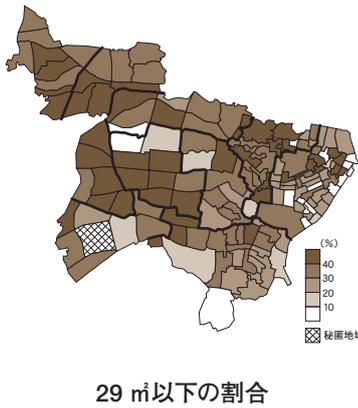
割合の高い町丁	
1	戸山 2 丁目 99.9%(n= 3,180)
2	霞ヶ丘町 99.6%(n= 245)
3	百人町 4 丁目 99.3%(n= 1,280)
4	市谷砂土原町 2 丁目 99.3%(n= 283)
5	西新宿 6 丁目 98.8%(n= 2,170)
6	市谷本村町 98.8%(n= 1,125)
7	大久保 3 丁目 98.3%(n= 1,667)
8	歌舞伎町 2 丁目 97.5%(n= 1,777)
9	新宿 5 丁目 95.8%(n= 1,667)
10	下落合 1 丁目 95.5%(n= 1,567)

割合の低い町丁	
1	南横町 46.1%(n= 568)
2	中井 2 丁目 51.6%(n= 1,471)
3	若葉 2 丁目 56.2%(n= 386)
4	神楽坂 4 丁目 59.2%(n= 103)
5	西落合 4 丁目 61.8%(n= 1,049)
6	赤城町 63.4%(n= 805)
7	神楽坂 6 丁目 63.8%(n= 461)
8	本塩町 64.8%(n= 273)
9	中町 66.1%(n= 233)
10	改代町 66.2%(n= 201)

n.= 主世帯(間借りを除く)住宅に住む一般世帯から住宅の建て方「不詳」を除いた値

7. 住宅の延べ面積

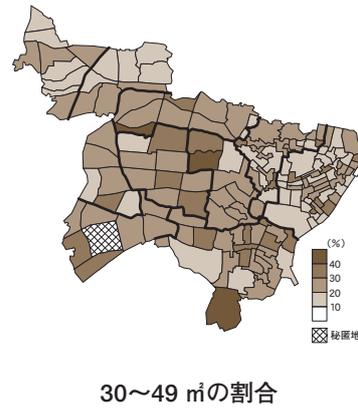
注：50~69㎡と延べ70~99㎡及び100~149㎡と150㎡以上については、それぞれ合算して表示した。



割合の高い町丁	
1	中井 1 丁目 59.0%(n= 1,264)
2	新宿 2 丁目 56.1%(n= 1,009)
3	西新宿 5 丁目 55.8%(n= 2,459)
4	東横町 55.1%(n= 207)
5	西新宿 7 丁目 53.9%(n= 1,810)
6	戸塚町 1 丁目 53.8%(n= 143)
7	北新宿 1 丁目 53.4%(n= 4,097)
8	下落合 2 丁目 53.3%(n= 3,180)
9	下落合 1 丁目 52.6%(n= 1,592)
10	百人町 1 丁目 52.2%(n= 2,352)

割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 0.0%(n= 245)
2	戸山 2 丁目 0.2%(n= 3,184)
3	市谷加賀町 1 丁目 1.4%(n= 147)
4	百人町 4 丁目 2.4%(n= 1,285)
5	百人町 3 丁目 5.5%(n= 2,488)
6	市谷砂土原町 1 丁目 6.0%(n= 116)
7	下宮比町 7.8%(n= 129)
8	南町 8.1%(n= 258)
9	内藤町 8.2%(n= 490)
10	市谷長延寺町 9.9%(n= 111)

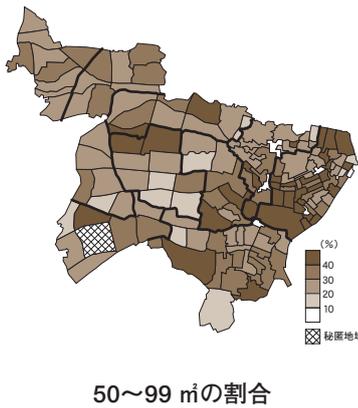
n.= 住宅に住む一般世帯から延べ面積「不詳」を除いた値



割合の高い町丁	
1	戸山 2 丁目 84.9%(n= 3,184)
2	市谷長延寺町 82.9%(n= 111)
3	霞ヶ丘町 82.9%(n= 245)
4	下宮比町 71.3%(n= 129)
5	百人町 4 丁目 57.4%(n= 1,285)
6	片町 50.2%(n= 275)
7	築地町 49.2%(n= 309)
8	本塩町 37.5%(n= 280)
9	大久保 1 丁目 36.7%(n= 2,292)
10	舟町 36.2%(n= 954)

割合の低い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 2.0%(n= 147)
2	中里町 6.8%(n= 296)
3	神楽坂 5 丁目 7.3%(n= 410)
4	南横町 9.7%(n= 586)
5	筑土八幡町 9.9%(n= 544)
6	市谷砂土原町 3 丁目 11.6%(n= 431)
7	百人町 3 丁目 11.9%(n= 2,488)
8	西新宿 7 丁目 12.0%(n= 1,810)
9	戸山 1 丁目 12.5%(n= 1,702)
10	中井 2 丁目 12.6%(n= 1,514)

n.= 住宅に住む一般世帯から延べ面積「不詳」を除いた値



割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 92.5%(n= 147)
2	百人町 3 丁目 76.3%(n= 2,488)
3	神楽坂 5 丁目 75.9%(n= 410)
4	中里町 68.6%(n= 296)
5	白銀町 58.8%(n= 763)
6	内藤町 56.3%(n= 490)
7	市谷甲良町 55.6%(n= 331)
8	大久保 3 丁目 55.1%(n= 1,672)
9	南山伏町 52.7%(n= 332)
10	北町 52.7%(n= 490)

割合の低い町丁	
1	市谷長延寺町 7.2%(n= 111)
2	新宿 2 丁目 12.9%(n= 1,009)
3	片町 14.2%(n= 275)
4	戸山 2 丁目 14.7%(n= 3,184)
5	東横町 15.0%(n= 207)
6	霞ヶ丘町 16.7%(n= 245)
7	西新宿 5 丁目 16.9%(n= 2,459)
8	大久保 1 丁目 17.5%(n= 2,292)
9	市谷柳町 18.4%(n= 806)
10	下宮比町 18.6%(n= 129)

n.= 住宅に住む一般世帯から延べ面積「不詳」を除いた値

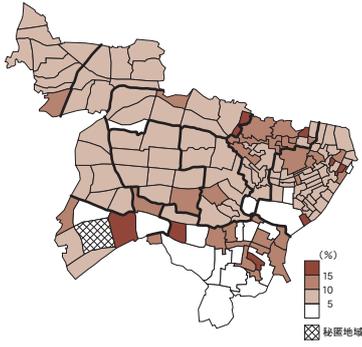


割合の高い町丁	
1	市谷砂土原町 3 丁目 40.4%(n= 431)
2	市谷砂土原町 1 丁目 33.6%(n= 116)
3	四谷 1 丁目 30.6%(n= 242)
4	中井 2 丁目 25.7%(n= 1,514)
5	中町 24.7%(n= 235)
6	西落合 4 丁目 22.8%(n= 1,068)
7	南横町 22.5%(n= 586)
8	市谷田町 3 丁目 20.8%(n= 120)
9	神楽坂 4 丁目 20.0%(n= 105)
10	下落合 3 丁目 20.0%(n= 2,480)

割合の低い町丁	
1	市谷長延寺町 0.0%(n= 111)
2	百人町 4 丁目 0.2%(n= 1,285)
3	戸山 2 丁目 0.2%(n= 3,184)
4	霞ヶ丘町 0.4%(n= 245)
5	大久保 3 丁目 0.8%(n= 1,672)
6	下宮比町 2.3%(n= 129)
7	新宿 1 丁目 2.3%(n= 2,879)
8	下落合 1 丁目 2.4%(n= 1,592)
9	新宿 2 丁目 2.8%(n= 1,009)
10	歌舞伎町 2 丁目 2.8%(n= 1,791)

n.= 住宅に住む一般世帯から延べ面積「不詳」を除いた値

8. 居住期間

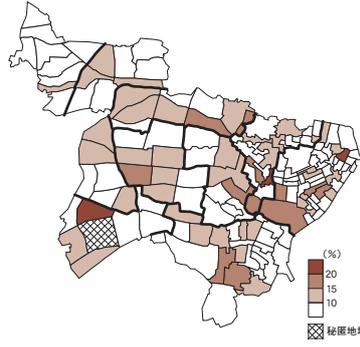


出生時から居住の割合

割合の高い町丁	
1	神楽坂4丁目 24.3%(n= 144)
2	改代町 17.3%(n= 248)
3	若葉2丁目 17.0%(n= 522)
4	新宿2丁目 16.5%(n= 607)
5	戸塚町1丁目 15.3%(n= 137)
6	神楽坂2丁目 15.0%(n= 140)
7	若葉3丁目 14.7%(n= 762)
8	新宿4丁目 14.7%(n= 191)
9	榎町 13.9%(n= 446)
10	馬場下町 13.9%(n= 382)

割合の低い町丁	
1	百人町4丁目 1.3%(n= 1,971)
2	市谷砂土原町2丁目 3.0%(n= 235)
3	市谷本村町 3.0%(n= 2,157)
4	西新宿6丁目 3.4%(n= 1,805)
5	市谷加賀町1丁目 3.8%(n= 442)
6	市谷仲之町 4.4%(n= 1,424)
7	市谷砂土原町3丁目 4.9%(n= 595)
8	戸山2丁目 5.3%(n= 5,226)
9	白銀町 5.7%(n= 948)
10	市谷加賀町2丁目 5.7%(n= 1,190)

n=人口総数から居住期間「不詳」を除いた値

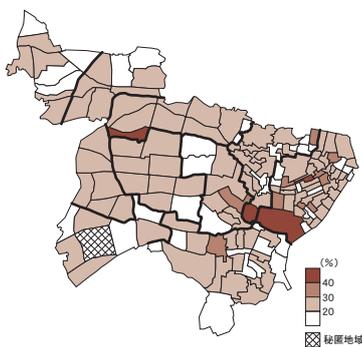


1年未満居住の割合

割合の高い町丁	
1	西新宿6丁目 38.8%(n= 1,805)
2	津久戸町 35.9%(n= 117)
3	市谷柳町 28.7%(n= 753)
4	百人町1丁目 19.6%(n= 1,976)
5	西早稲田2丁目 19.5%(n= 3,654)
6	市谷本村町 19.1%(n= 2,157)
7	市谷加賀町2丁目 19.1%(n= 1,190)
8	戸塚町1丁目 19.0%(n= 137)
9	市谷仲之町 18.2%(n= 1,424)
10	河田町 17.0%(n= 1,845)

割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 1.6%(n= 370)
2	神楽坂2丁目 2.1%(n= 140)
3	新宿4丁目 3.7%(n= 191)
4	戸山2丁目 4.0%(n= 5,226)
5	神楽坂4丁目 4.2%(n= 144)
6	神楽坂5丁目 4.2%(n= 504)
7	市谷砂土原町1丁目 4.2%(n= 189)
8	南横町 4.4%(n= 1,000)
9	市谷加賀町1丁目 4.5%(n= 442)
10	市谷山伏町 4.6%(n= 348)

n=人口総数から居住期間「不詳」を除いた値

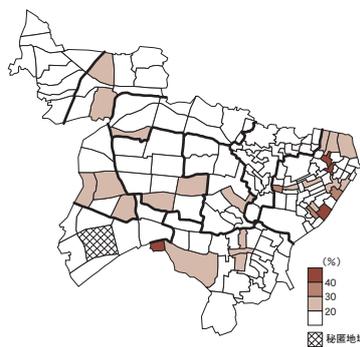


1年以上5年未満居住の割合

割合の高い町丁	
1	市谷本村町 63.1%(n= 2,157)
2	百人町4丁目 53.2%(n= 1,971)
3	筆筒町 50.2%(n= 434)
4	市谷仲之町 41.7%(n= 1,424)
5	市谷砂土原町2丁目 39.1%(n= 235)
6	市谷鷹匠町 37.2%(n= 113)
7	市谷加賀町2丁目 36.9%(n= 1,190)
8	四谷4丁目 34.2%(n= 1,990)
9	岩戸町 32.5%(n= 246)
10	北山伏町 32.5%(n= 302)

割合の低い町丁	
1	霞ヶ丘町 3.2%(n= 370)
2	市谷長延寺町 4.3%(n= 141)
3	新宿4丁目 5.2%(n= 191)
4	戸山2丁目 9.1%(n= 5,226)
5	津久戸町 9.4%(n= 117)
6	戸塚町1丁目 9.5%(n= 137)
7	若葉2丁目 11.7%(n= 522)
8	神楽坂6丁目 11.7%(n= 633)
9	中里町 12.2%(n= 493)
10	市谷山伏町 12.4%(n= 348)

n=人口総数から居住期間「不詳」を除いた値

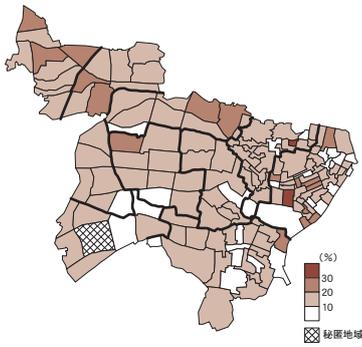


5年以上10年未満居住の割合

割合の高い町丁	
1	神楽坂5丁目 64.3%(n= 504)
2	白銀町 63.5%(n= 948)
3	市谷田町2丁目 46.1%(n= 356)
4	市谷甲良町 39.7%(n= 451)
5	新宿6丁目 38.2%(n= 191)
6	市谷船河原町 33.7%(n= 172)
7	市谷砂土原町1丁目 32.8%(n= 189)
8	左門町 29.9%(n= 946)
9	北新宿2丁目 28.8%(n= 3,116)
10	東五軒町 28.4%(n= 1,178)

割合の低い町丁	
1	神楽坂4丁目 3.5%(n= 144)
2	改代町 4.8%(n= 248)
3	西新宿6丁目 6.5%(n= 1,805)
4	戸塚町1丁目 7.3%(n= 137)
5	本塩町 7.6%(n= 331)
6	馬場下町 8.4%(n= 382)
7	四谷4丁目 8.4%(n= 262)
8	筆筒町 9.0%(n= 434)
9	喜久井町 9.4%(n= 1,275)
10	榎町 9.9%(n= 446)

n=人口総数から居住期間「不詳」を除いた値

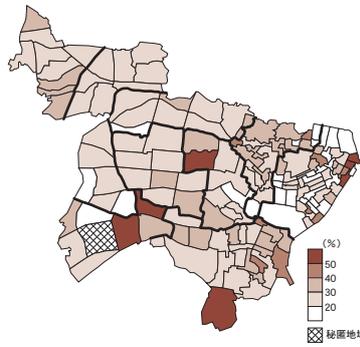


10年以上20年未満居住の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町1丁目 41.2%(n= 442)
2	中里町 37.5%(n= 493)
3	市谷山伏町 28.2%(n= 348)
4	南町 27.4%(n= 347)
5	細工町 26.8%(n= 365)
6	西早稲田3丁目 24.6%(n= 4,580)
7	中町 24.2%(n= 385)
8	東五軒町 23.8%(n= 1,178)
9	百人町3丁目 23.0%(n= 4,828)
10	西早稲田1丁目 21.9%(n= 3,802)

割合の低い町丁	
1	百人町4丁目 2.1%(n= 1,971)
2	市谷本村町 2.3%(n= 2,157)
3	神楽坂5丁目 2.6%(n= 504)
4	白銀町 2.7%(n= 948)
5	津久戸町 3.4%(n= 117)
6	四谷3丁目 4.1%(n= 292)
7	筆筒町 5.5%(n= 434)
8	市谷砂土原町2丁目 5.5%(n= 235)
9	市谷甲良町 6.0%(n= 451)
10	岩戸町 6.1%(n= 246)

n=人口総数から居住期間「不詳」を除いた値

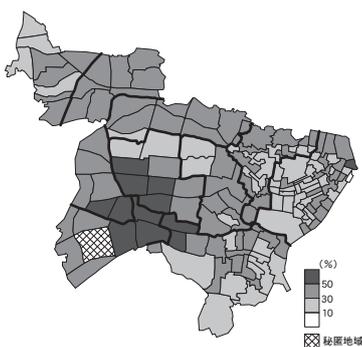


20年以上居住の割合

割合の高い町丁	
1	霞ヶ丘町 56.2%(n= 370)
2	戸山2丁目 51.6%(n= 5,226)
3	市谷長延寺町 50.4%(n= 141)
4	改代町 47.2%(n= 248)
5	馬場下町 45.3%(n= 382)
6	四谷1丁目 45.0%(n= 373)
7	神楽坂2丁目 44.3%(n= 140)
8	若葉2丁目 44.3%(n= 522)
9	神楽坂6丁目 43.6%(n= 633)
10	片町 41.3%(n= 247)

割合の低い町丁	
1	市谷本村町 1.1%(n= 2,157)
2	市谷加賀町1丁目 4.1%(n= 442)
3	白銀町 6.6%(n= 948)
4	東五軒町 7.0%(n= 1,178)
5	百人町4丁目 7.8%(n= 1,971)
6	神楽坂5丁目 8.5%(n= 504)
7	市谷仲之町 10.0%(n= 1,424)
8	西新宿6丁目 10.1%(n= 1,805)
9	市谷田町2丁目 12.6%(n= 356)
10	市谷加賀町2丁目 13.4%(n= 1,190)

n=人口総数から居住期間「不詳」を除いた値



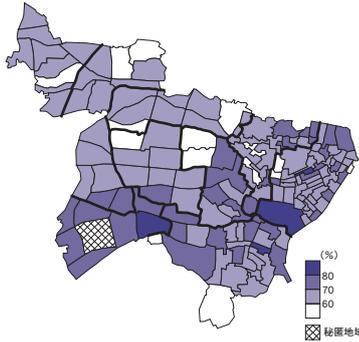
居住期間「不詳」の割合

割合の高い町丁	
1	西新宿1丁目 90.2%(n= 417)
2	歌舞伎町1丁目 72.3%(n= 148)
3	歌舞伎町2丁目 70.1%(n= 2,344)
4	新宿3丁目 58.7%(n= 150)
5	新宿2丁目 57.2%(n= 1,418)
6	西新宿7丁目 56.1%(n= 2,433)
7	新宿5丁目 55.8%(n= 2,435)
8	下宮比町 52.4%(n= 187)
9	大久保1丁目 51.5%(n= 3,735)
10	百人町1丁目 50.9%(n= 4,023)

割合の低い町丁	
1	市谷鷹匠町 8.9%(n= 124)
2	市谷加賀町1丁目 12.6%(n= 506)
3	百人町3丁目 14.4%(n= 5,641)
4	市谷長延寺町 14.5%(n= 165)
5	戸山2丁目 14.8%(n= 6,133)
6	南横町 16.1%(n= 1,192)
7	霞ヶ丘町 17.2%(n= 447)
8	百人町4丁目 18.2%(n= 2,410)
9	中町 18.6%(n= 473)
10	原町2丁目 18.7%(n= 1,402)

n=人口総数

9. 労働力状態

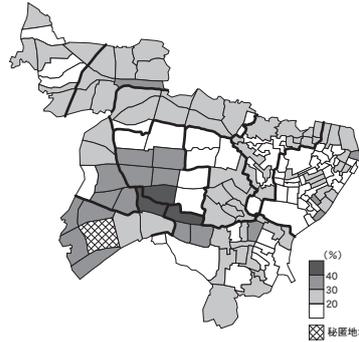


労働力率

率の高い町丁	
1	市谷本村町 83.5%(n= 2,098)
2	四谷 2 丁目 83.2%(n= 256)
3	筆筒町 81.3%(n= 459)
4	水道町 76.9%(n= 581)
5	神楽坂 3 丁目 76.7%(n= 360)
6	若戸町 76.5%(n= 268)
7	四谷 1 丁目 76.3%(n= 371)
8	西新宿 3 丁目 75.3%(n= 1,083)
9	白銀町 75.2%(n= 981)
10	左門町 75.2%(n= 1,059)

率の低い町丁	
1	市谷長延寺町 43.2%(n= 146)
2	津久戸町 46.1%(n= 128)
3	百人町 4 丁目 47.2%(n= 1,841)
4	戸山 2 丁目 51.6%(n= 4,827)
5	霞ヶ丘町 54.9%(n= 317)
6	百人町 3 丁目 55.6%(n= 4,276)
7	原町 2 丁目 55.9%(n= 1,070)
8	下落合 4 丁目 56.8%(n= 2,881)
9	戸山 3 丁目 57.4%(n= 746)
10	南横町 57.7%(n= 972)

n=15歳以上人口から労働力状態「不詳」を除いた値

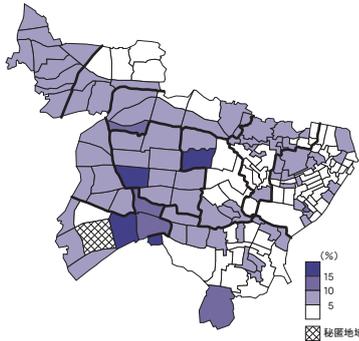


労働力状態「不詳」の割合

割合の高い町丁	
1	歌舞伎町 2 丁目 50.0%(n= 2,105)
2	歌舞伎町 1 丁目 50.0%(n= 130)
3	新宿 5 丁目 41.1%(n= 2,236)
4	西新宿 7 丁目 39.5%(n= 2,236)
5	新宿 2 丁目 38.4%(n= 1,287)
6	西新宿 6 丁目 38.0%(n= 2,780)
7	西新宿 3 丁目 37.3%(n= 1,726)
8	百人町 2 丁目 37.2%(n= 4,213)
9	西新宿 5 丁目 37.2%(n= 3,236)
10	百人町 1 丁目 36.7%(n= 3,776)

割合の低い町丁	
1	市谷鷹匠町 5.8%(n= 104)
2	市谷加賀町 1 丁目 6.5%(n= 402)
3	市谷長延寺町 7.6%(n= 158)
4	筑士八幡町 10.0%(n= 913)
5	南横町 10.0%(n= 1,080)
6	戸塚町 1 丁目 10.4%(n= 211)
7	市谷船河原町 11.2%(n= 197)
8	市谷本村町 11.3%(n= 2,366)
9	神楽坂 6 丁目 11.7%(n= 759)
10	大久保 1 丁目 11.7%(n= 652)

n=15歳以上人口



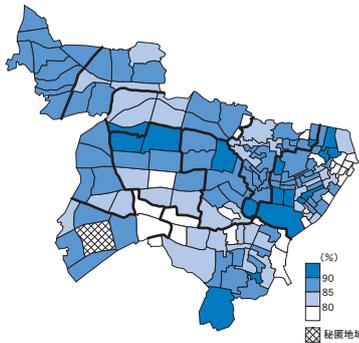
完全失業率

率の高い町丁	
1	新宿 4 丁目 31.1%(n= 132)
2	西新宿 1 丁目 26.8%(n= 138)
3	百人町 1 丁目 16.2%(n= 1,588)
4	戸山 2 丁目 15.1%(n= 2,492)
5	霞ヶ丘町 13.8%(n= 174)
6	百人町 4 丁目 12.0%(n= 869)
7	東横町 9.1%(n= 143)
8	大久保 1 丁目 8.8%(n= 1,439)
9	新宿 2 丁目 8.8%(n= 568)
10	馬場下町 8.6%(n= 266)

率の低い町丁	
1	神楽坂 4 丁目 1.0%(n= 103)
2	市谷本村町 1.1%(n= 1,751)
3	市谷加賀町 1 丁目 1.3%(n= 232)
4	四谷 2 丁目 1.9%(n= 213)
5	神楽坂 2 丁目 2.0%(n= 101)
6	市谷田町 2 丁目 2.1%(n= 234)
7	四谷 3 丁目 2.4%(n= 210)
8	袋町 2.4%(n= 327)
9	筑士八幡町 2.4%(n= 572)
10	内藤町 2.7%(n= 488)

n= 労働力人口

10. 従業上の地位

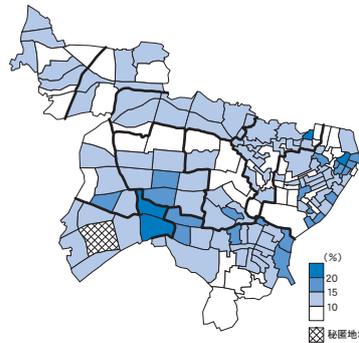


雇用者(役員を含む)の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 98.0%(n= 204)
2	市谷本村町 97.3%(n= 1,622)
3	霞ヶ丘町 94.9%(n= 138)
4	大久保 3 丁目 92.4%(n= 1,430)
5	東五軒町 92.3%(n= 712)
6	戸山 1 丁目 91.9%(n= 1,290)
7	若葉 3 丁目 91.4%(n= 406)
8	白銀町 91.1%(n= 619)
9	筑士八幡町 91.1%(n= 516)
10	市谷仲之町 91.0%(n= 823)

割合の低い町丁	
1	神楽坂 3 丁目 73.4%(n= 229)
2	改代町 73.4%(n= 158)
3	新宿 2 丁目 73.9%(n= 353)
4	四谷 1 丁目 74.5%(n= 243)
5	神楽坂 6 丁目 75.8%(n= 393)
6	新宿 5 丁目 78.5%(n= 648)
7	市谷台町 79.0%(n= 477)
8	本塩町 79.1%(n= 177)
9	大久保 1 丁目 79.7%(n= 906)
10	愛住町 79.9%(n= 546)

n=15歳以上就業者から従業上の地位「不詳」を除いた値

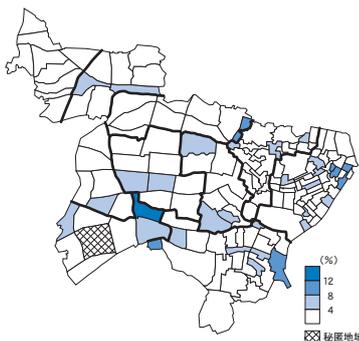


自営業主(家庭内職者を含む)の割合

割合の高い町丁	
1	改代町 20.3%(n= 158)
2	新宿 2 丁目 19.3%(n= 353)
3	神楽坂 3 丁目 18.3%(n= 229)
4	新宿 5 丁目 17.9%(n= 648)
5	神楽坂 6 丁目 17.8%(n= 393)
6	本塩町 17.5%(n= 177)
7	四谷 1 丁目 17.3%(n= 243)
8	愛住町 16.7%(n= 546)
9	歌舞伎町 2 丁目 15.7%(n= 439)
10	大久保 1 丁目 15.3%(n= 906)

割合の低い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 1.5%(n= 204)
2	市谷本村町 2.4%(n= 1,622)
3	霞ヶ丘町 3.6%(n= 138)
4	大久保 3 丁目 5.8%(n= 1,430)
5	戸山 1 丁目 6.2%(n= 1,290)
6	東五軒町 6.5%(n= 712)
7	筑士八幡町 6.6%(n= 516)
8	市谷加賀町 2 丁目 7.0%(n= 610)
9	弘方町 7.2%(n= 306)
10	白銀町 7.6%(n= 619)

n=15歳以上就業者から従業上の地位「不詳」を除いた値

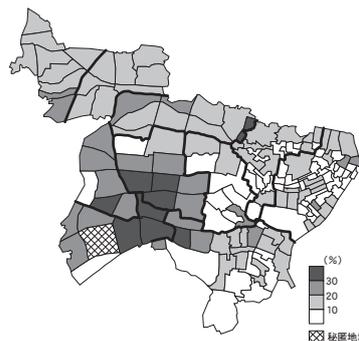


家族従業者の割合

割合の高い町丁	
1	神楽坂 3 丁目 8.3%(n= 229)
2	四谷 1 丁目 8.2%(n= 243)
3	新宿 2 丁目 6.8%(n= 353)
4	四谷 3 丁目 6.8%(n= 177)
5	神楽坂 6 丁目 6.4%(n= 393)
6	改代町 6.3%(n= 158)
7	市谷台町 5.9%(n= 477)
8	馬場下町 5.6%(n= 214)
9	東横町 5.2%(n= 115)
10	中町 5.0%(n= 218)

割合の低い町丁	
1	市谷船河原町 0.0%(n= 101)
2	市谷本村町 0.2%(n= 1,622)
3	市谷加賀町 1 丁目 0.5%(n= 204)
4	若葉 3 丁目 0.7%(n= 406)
5	二十騎町 0.8%(n= 238)
6	中里町 1.1%(n= 275)
7	市谷仲之町 1.1%(n= 823)
8	東五軒町 1.3%(n= 712)
9	白銀町 1.3%(n= 619)
10	神楽坂 5 丁目 1.3%(n= 299)

n=15歳以上就業者から従業上の地位「不詳」を除いた値



従業上の地位「不詳」の割合

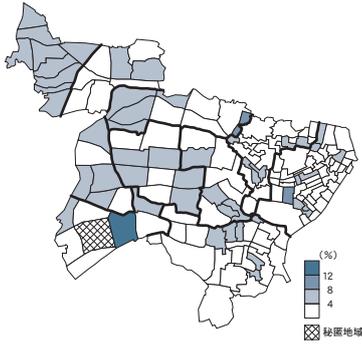
割合の高い町丁	
1	西新宿 1 丁目 54.5%(n= 101)
2	戸塚町 1 丁目 39.8%(n= 128)
3	歌舞伎町 2 丁目 39.0%(n= 720)
4	新宿 2 丁目 31.9%(n= 518)
5	百人町 1 丁目 31.3%(n= 1,330)
6	大久保 1 丁目 30.9%(n= 1,312)
7	西新宿 8 丁目 30.3%(n= 1,040)
8	新宿 5 丁目 29.3%(n= 916)
9	西新宿 6 丁目 26.1%(n= 1,210)
10	百人町 2 丁目 26.0%(n= 1,647)

割合の低い町丁	
1	下落合 4 丁目 3.5%(n= 1,564)
2	下落合 3 丁目 3.8%(n= 1,642)
3	市谷本村町 6.4%(n= 1,732)
4	下落合 1 丁目 6.5%(n= 1,284)
5	四谷 2 丁目 6.7%(n= 209)
6	南横町 6.8%(n= 526)
7	原町 2 丁目 7.0%(n= 569)
8	筑士八幡町 7.5%(n= 558)
9	神楽坂 6 丁目 7.7%(n= 426)
10	霞ヶ丘町 8.0%(n= 150)

n=15歳以上就業者

11. 産業大分類別就業者

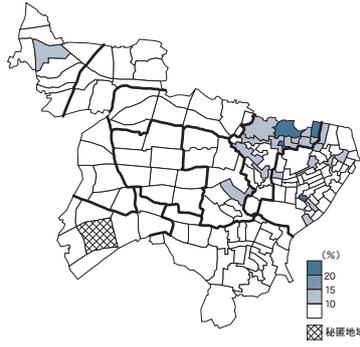
注：産業大分類のうち、就業者数が著しく少ないものは除いている。



割合の高い町丁		
1	市谷加賀町 1 丁目	11.9% (n= 194)
2	北町	7.6% (n= 409)
3	赤城下町	7.3% (n= 533)
4	細工町	7.2% (n= 181)
5	馬場下町	6.5% (n= 201)
6	片町	6.4% (n= 156)
7	西落合 1 丁目	6.3% (n= 1,388)
8	西新宿 5 丁目	6.1% (n= 1,058)
9	中落合 4 丁目	6.1% (n= 1,141)
10	市谷台町	6.0% (n= 468)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

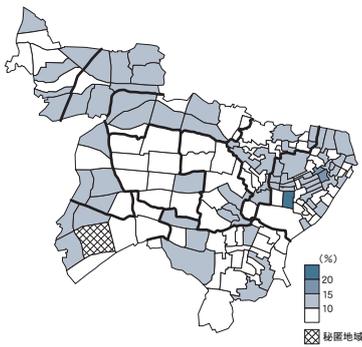
建設業人口の割合



割合の高い町丁		
1	東横町	21.4% (n= 112)
2	水道町	17.2% (n= 373)
3	山吹町	15.1% (n= 1,281)
4	改代町	14.5% (n= 145)
5	西五軒町	14.1% (n= 488)
6	天神町	13.8% (n= 376)
7	早稲田鶴巻町	13.8% (n= 1,950)
8	赤城下町	13.7% (n= 533)
9	中里町	13.3% (n= 270)
10	筆筒町	12.7% (n= 299)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

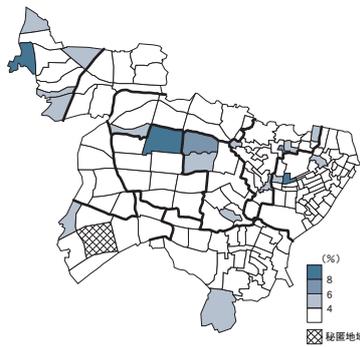
製造業人口の割合



割合の高い町丁		
1	市谷加賀町 1 丁目	34.0% (n= 194)
2	岩戸町	15.8% (n= 165)
3	袋町	15.6% (n= 262)
4	南山伏町	14.9% (n= 269)
5	南町	14.8% (n= 182)
6	西新宿 4 丁目	14.2% (n= 2,325)
7	白銀町	13.8% (n= 610)
8	築地町	13.6% (n= 258)
9	上落合 2 丁目	13.4% (n= 1,782)
10	神楽坂 5 丁目	13.3% (n= 286)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

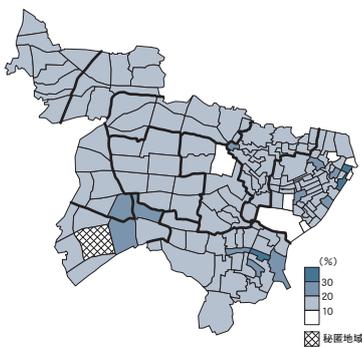
情報通信業人口の割合



割合の高い町丁		
1	大久保 3 丁目	11.2% (n= 1,380)
2	北山伏町	8.2% (n= 146)
3	西落合 2 丁目	8.2% (n= 1,452)
4	戸山 3 丁目	7.6% (n= 354)
5	東横町	7.1% (n= 112)
6	戸山 2 丁目	5.7% (n= 1,826)
7	百人町 4 丁目	5.5% (n= 654)
8	水道町	5.4% (n= 373)
9	霞ヶ丘町	5.3% (n= 131)
10	市谷柳町	5.0% (n= 439)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

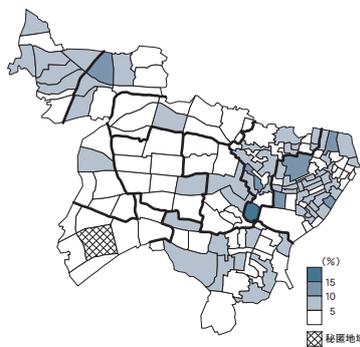
運輸業、郵便業人口の割合



割合の高い町丁		
1	四谷 2 丁目	30.7% (n= 192)
2	四谷 1 丁目	27.8% (n= 234)
3	四谷 3 丁目	22.0% (n= 168)
4	西新宿 7 丁目	21.6% (n= 670)
5	若葉 2 丁目	21.5% (n= 270)
6	納戸町	21.2% (n= 406)
7	馬場下町	20.9% (n= 201)
8	神楽坂 6 丁目	20.6% (n= 378)
9	神楽坂 3 丁目	20.5% (n= 224)
10	三栄町	19.9% (n= 617)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

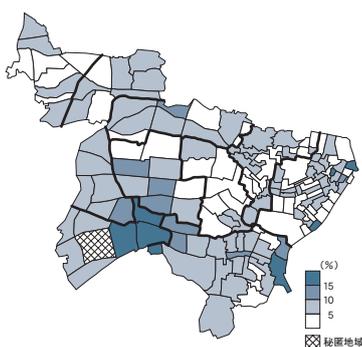
卸売業、小売業人口の割合



割合の高い町丁		
1	市谷仲之町	16.7% (n= 806)
2	原町 2 丁目	14.6% (n= 514)
3	矢来町	13.1% (n= 1,565)
4	市谷加賀町 2 丁目	13.0% (n= 585)
5	中落合 2 丁目	12.5% (n= 1,581)
6	東五軒町	11.5% (n= 697)
7	白銀町	9.2% (n= 610)
8	西五軒町	8.4% (n= 488)
9	市谷田町 2 丁目	8.2% (n= 196)
9	市谷左内町	8.2% (n= 196)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

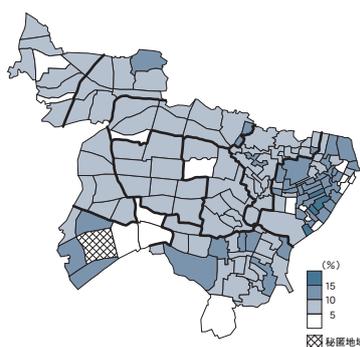
金融業、保険業人口の割合



割合の高い町丁		
1	四谷 1 丁目	17.1% (n= 234)
2	新宿 2 丁目	13.6% (n= 345)
3	四谷 3 丁目	12.5% (n= 168)
4	本塩町	12.3% (n= 171)
5	歌舞伎町 2 丁目	11.3% (n= 423)
6	高田馬場 2 丁目	10.7% (n= 625)
7	新宿 5 丁目	10.6% (n= 633)
8	大久保 1 丁目	10.4% (n= 848)
9	百人町 2 丁目	10.0% (n= 1,179)
10	西新宿 7 丁目	10.0% (n= 670)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

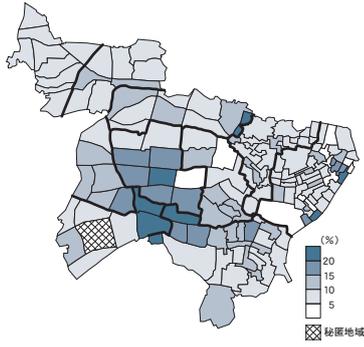
不動産業、物品賃貸業人口の割合



割合の高い町丁		
1	市谷砂土原町 2 丁目	21.5% (n= 121)
2	南町	18.7% (n= 182)
3	市谷砂土原町 3 丁目	16.4% (n= 292)
4	中町	14.5% (n= 214)
5	内藤町	13.6% (n= 390)
6	納戸町	12.8% (n= 406)
7	岩戸町	12.7% (n= 165)
8	袋町	12.6% (n= 262)
9	築地町	12.4% (n= 258)
10	北山伏町	12.3% (n= 146)

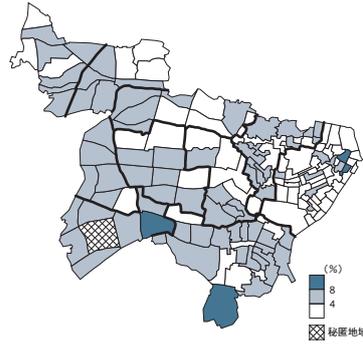
n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

学術研究、専門・技術サービス業人口の割合



割合の高い町丁	
1	大久保 1 丁目 23.2%(n= 848)
2	新宿 6 丁目 21.0%(n= 633)
3	新宿 2 丁目 19.4%(n= 345)
4	神楽坂 3 丁目 19.2%(n= 224)
5	歌舞伎町 2 丁目 18.2%(n= 423)
6	百人町 1 丁目 17.5%(n= 876)
7	新宿 6 丁目 17.4%(n= 932)
8	荒木町 16.0%(n= 743)
9	百人町 2 丁目 15.5%(n= 1,179)
10	新宿 1 丁目 15.3%(n= 1,239)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

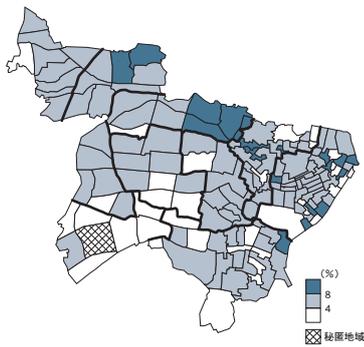


割合の高い町丁	
1	霞ヶ丘町 8.4%(n= 131)
2	百人町 2 丁目 7.7%(n= 1,179)
3	神楽坂 6 丁目 6.6%(n= 378)
4	新宿 2 丁目 6.4%(n= 345)
5	須賀町 6.3%(n= 457)
6	四谷 2 丁目 6.3%(n= 192)
7	左門町 6.0%(n= 600)
8	百人町 4 丁目 5.8%(n= 654)
9	舟町 5.7%(n= 492)
10	北新宿 3 丁目 5.6%(n= 1,967)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

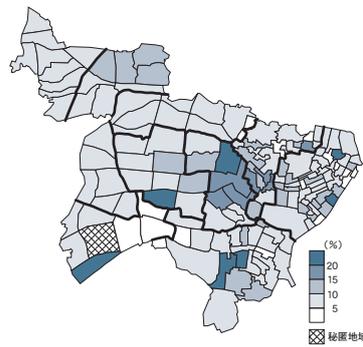
宿泊業、飲食サービス業人口の割合

生活関連サービス業、娯楽業人口の割合



割合の高い町丁	
1	市谷山伏町 10.1%(n= 168)
2	西早稲田 1 丁目 9.8%(n= 1,877)
3	神楽坂 5 丁目 9.8%(n= 286)
4	市谷田町 2 丁目 9.7%(n= 196)
5	白銀町 9.2%(n= 610)
6	西早稲田 2 丁目 9.1%(n= 1,899)
7	早稲田町 8.7%(n= 368)
8	下落合 4 丁目 8.4%(n= 1,471)
9	早稲田南町 8.2%(n= 316)
10	本塩町 8.2%(n= 171)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

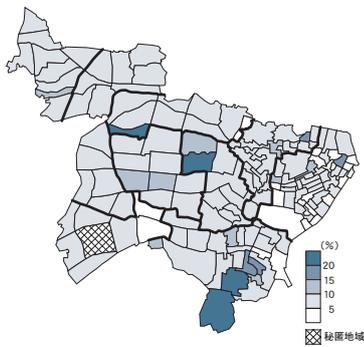


割合の高い町丁	
1	筑士八幡町 46.7%(n= 505)
2	戸山 1 丁目 44.0%(n= 1,278)
3	大京町 31.5%(n= 1,266)
4	西新宿 3 丁目 24.7%(n= 671)
5	左門町 21.3%(n= 600)
6	歌舞伎町 2 丁目 20.6%(n= 423)
7	余丁町 17.2%(n= 1,475)
8	原町 1 丁目 16.9%(n= 556)
9	市谷柳町 16.9%(n= 439)
10	河田町 16.7%(n= 944)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

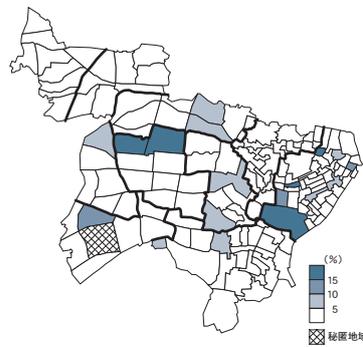
教育、学習支援業人口の割合

医療、福祉人口の割合



割合の高い町丁	
1	信濃町 24.8%(n= 375)
2	霞ヶ丘町 24.4%(n= 131)
3	戸山 2 丁目 18.3%(n= 1,826)
4	若葉 2 丁目 16.3%(n= 270)
5	百人町 4 丁目 16.2%(n= 654)
6	須賀町 16.0%(n= 457)
7	改代町 15.9%(n= 145)
8	榎町 13.7%(n= 248)
9	中井 1 丁目 13.3%(n= 557)
10	横寺町 13.2%(n= 380)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

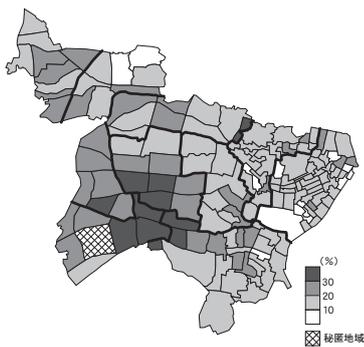


割合の高い町丁	
1	市谷本村町 63.6%(n= 1,616)
2	百人町 3 丁目 25.4%(n= 1,993)
3	大久保 3 丁目 21.8%(n= 1,380)
4	南山伏町 16.4%(n= 269)
5	赤城元町 16.0%(n= 144)
6	市谷加賀町 2 丁目 14.2%(n= 585)
7	西新宿 6 丁目 10.6%(n= 875)
8	西早稲田 3 丁目 9.3%(n= 2,413)
9	四谷 4 丁目 9.2%(n= 1,148)
10	若松町 8.6%(n= 2,067)

n=15歳以上就業者から「分類不能の産業」を除いた値

サービス業（他に分類されないもの）人口の割合

公務（他に分類されるものを除く）人口の割合

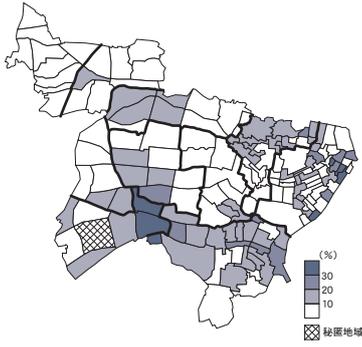


割合の高い町丁	
1	西新宿 1 丁目 58.4%(n= 101)
2	戸塚町 1 丁目 42.2%(n= 128)
3	歌舞伎町 2 丁目 41.3%(n= 720)
4	大久保 1 丁目 35.4%(n= 1,312)
5	百人町 1 丁目 34.1%(n= 1,330)
6	新宿 2 丁目 33.4%(n= 518)
7	西新宿 8 丁目 32.7%(n= 1,040)
8	新宿 5 丁目 30.9%(n= 916)
9	百人町 2 丁目 28.4%(n= 1,647)
10	北新宿 1 丁目 28.2%(n= 2,376)

n=15歳以上人口

分類不能の産業の割合

12. 従業地・通学地

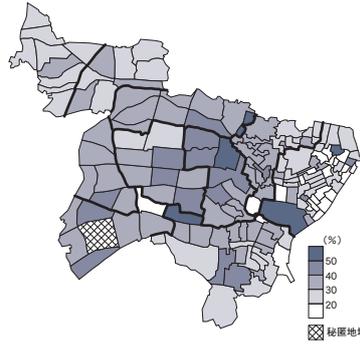


自宅で従業する割合

割合の高い町丁	
1	神楽坂 2 丁目 37.0% (n= 100)
2	神楽坂 3 丁目 27.5% (n= 251)
3	改代町 26.4% (n= 178)
4	四谷 1 丁目 26.2% (n= 267)
5	新宿 2 丁目 25.3% (n= 407)
6	歌舞伎町 2 丁目 24.9% (n= 523)
7	神楽坂 6 丁目 24.7% (n= 413)
8	四谷 2 丁目 23.0% (n= 209)
9	片町 21.3% (n= 169)
10	四谷 3 丁目 20.0% (n= 220)

割合の低い町丁	
1	市谷本村町 1.2% (n= 1,735)
2	市谷加賀町 1 丁目 1.4% (n= 280)
3	百人町 4 丁目 1.9% (n= 771)
4	戸山 2 丁目 3.1% (n= 2,213)
5	霞ヶ丘町 3.2% (n= 157)
6	大久保 3 丁目 3.6% (n= 1,768)
7	百人町 3 丁目 4.1% (n= 2,444)
8	市谷船河原町 4.3% (n= 115)
9	市谷加賀町 2 丁目 4.6% (n= 835)
10	戸山 1 丁目 5.5% (n= 1,482)

n=常住地による15歳以上就業者・通学者から従業地・通学地「不詳」を除いた値

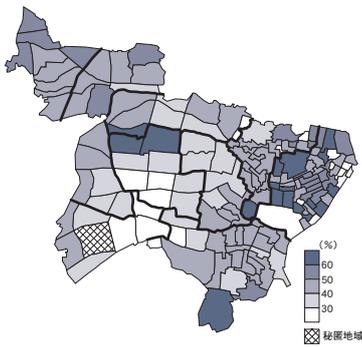


区内(自宅外)で従業・通学する割合

割合の高い町丁	
1	市谷本村町 64.6% (n= 1,735)
2	筑土八幡町 57.7% (n= 613)
3	戸山 1 丁目 55.2% (n= 1,482)
4	戸塚町 1 丁目 51.0% (n= 145)
5	戸山 2 丁目 47.1% (n= 2,213)
6	西新宿 3 丁目 45.2% (n= 753)
7	大久保 2 丁目 44.0% (n= 2,764)
8	新宿 6 丁目 43.8% (n= 1,154)
9	大京町 43.2% (n= 1,439)
10	戸山 3 丁目 42.9% (n= 441)

割合の低い町丁	
1	白銀町 15.2% (n= 659)
2	市谷砂土原町 2 丁目 16.6% (n= 145)
3	市谷砂土原町 3 丁目 17.9% (n= 358)
4	市谷田町 2 丁目 18.0% (n= 233)
5	四谷 1 丁目 19.1% (n= 267)
6	西落合 4 丁目 19.8% (n= 853)
7	市谷船河原町 20.0% (n= 115)
8	神楽坂 5 丁目 20.0% (n= 330)
9	神楽坂 3 丁目 20.3% (n= 251)
10	下落合 3 丁目 20.4% (n= 1,931)

n=常住地による15歳以上就業者・通学者から従業地・通学地「不詳」を除いた値

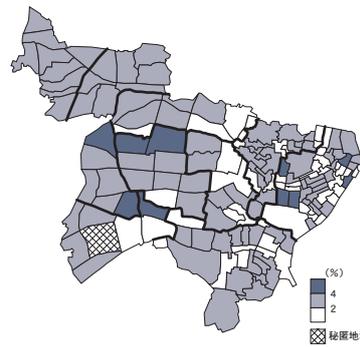


他の特別区で従業・通学する割合

割合の高い町丁	
1	市谷砂土原町 2 丁目 66.9% (n= 145)
2	白銀町 65.3% (n= 659)
3	市谷船河原町 64.3% (n= 115)
4	市谷田町 2 丁目 63.9% (n= 233)
5	東五軒町 61.3% (n= 772)
6	西落合 4 丁目 59.8% (n= 853)
7	霞ヶ丘町 57.3% (n= 157)
8	市谷左内町 56.4% (n= 218)
9	水道町 56.1% (n= 408)
10	新小川町 55.7% (n= 1,376)

割合の低い町丁	
1	西新宿 1 丁目 14.7% (n= 102)
2	新宿 2 丁目 23.1% (n= 407)
3	戸塚町 1 丁目 24.1% (n= 145)
4	歌舞伎町 2 丁目 24.7% (n= 523)
5	市谷本村町 28.2% (n= 1,735)
6	大久保 1 丁目 28.5% (n= 1,114)
7	筑土八幡町 28.9% (n= 613)
8	百人町 1 丁目 29.0% (n= 1,226)
9	四谷 2 丁目 29.2% (n= 209)
10	戸山 1 丁目 30.4% (n= 1,482)

n=常住地による15歳以上就業者・通学者から従業地・通学地「不詳」を除いた値

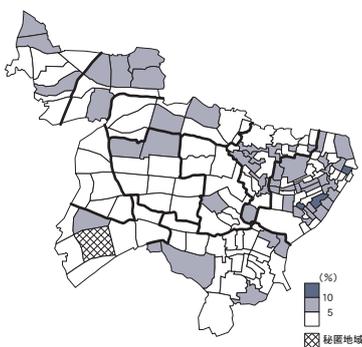


都内市町村で従業・通学する割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 2 丁目 8.4% (n= 835)
2	西新宿 7 丁目 4.9% (n= 792)
3	市谷加賀町 1 丁目 4.6% (n= 280)
4	大久保 3 丁目 4.1% (n= 1,768)
5	南横町 4.1% (n= 560)
6	百人町 3 丁目 4.1% (n= 2,444)
7	北新宿 4 丁目 4.0% (n= 2,390)
8	中井 2 丁目 3.9% (n= 1,242)
9	北新宿 1 丁目 3.9% (n= 2,157)
10	上落合 2 丁目 3.9% (n= 2,152)

割合の低い町丁	
1	神楽坂 2 丁目 0.0% (n= 100)
2	片町 0.6% (n= 169)
3	戸塚町 1 丁目 0.7% (n= 145)
4	水道町 0.7% (n= 408)
5	四谷 3 丁目 0.9% (n= 220)
6	南山伏町 1.0% (n= 311)
7	神楽坂 6 丁目 1.0% (n= 413)
8	西新宿 1 丁目 1.0% (n= 102)
9	市谷山伏町 1.0% (n= 194)
10	四谷 1 丁目 1.1% (n= 267)

n=常住地による15歳以上就業者・通学者から従業地・通学地「不詳」を除いた値

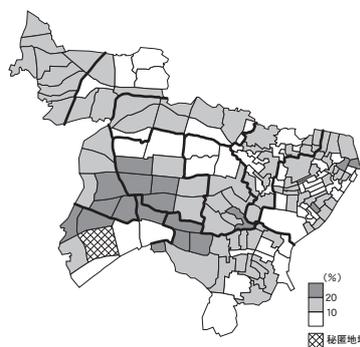


他県で従業・通学する割合

割合の高い町丁	
1	市谷砂土原町 3 丁目 13.4% (n= 358)
2	市谷左内町 9.6% (n= 218)
3	中町 9.0% (n= 244)
4	中里町 8.9% (n= 316)
5	袋町 8.4% (n= 311)
6	市谷船河原町 7.8% (n= 115)
7	北町 7.5% (n= 464)
8	下落合 3 丁目 7.3% (n= 1,931)
9	市谷砂土原町 1 丁目 7.0% (n= 114)
10	百人町 3 丁目 6.8% (n= 2,444)

割合の低い町丁	
1	戸塚町 1 丁目 0.7% (n= 145)
2	西新宿 1 丁目 1.0% (n= 102)
3	改代町 1.1% (n= 178)
4	南町 1.9% (n= 213)
5	霞ヶ丘町 1.9% (n= 157)
6	四谷 3 丁目 2.3% (n= 220)
7	下落合 1 丁目 2.8% (n= 980)
8	新宿 5 丁目 2.8% (n= 760)
9	若葉 2 丁目 2.8% (n= 318)
10	四谷 2 丁目 2.9% (n= 209)

n=常住地による15歳以上就業者・通学者から従業地・通学地「不詳」を除いた値



従業地・通学地「不詳」の割合

割合の高い町丁	
1	歌舞伎町 2 丁目 36.1% (n= 819)
2	新宿 2 丁目 28.0% (n= 565)
3	大久保 1 丁目 25.8% (n= 1,502)
4	西新宿 8 丁目 25.7% (n= 1,141)
5	新宿 5 丁目 24.8% (n= 1,011)
6	西新宿 6 丁目 24.3% (n= 1,318)
7	西新宿 7 丁目 23.0% (n= 1,028)
8	市谷砂土原町 2 丁目 22.9% (n= 188)
9	百人町 1 丁目 22.6% (n= 1,583)
10	住吉町 22.1% (n= 1,295)

割合の低い町丁	
1	西新宿 1 丁目 1.0% (n= 103)
2	下落合 4 丁目 1.6% (n= 1,918)
3	下落合 3 丁目 1.8% (n= 1,966)
4	霞ヶ丘町 1.9% (n= 160)
5	戸塚町 1 丁目 3.3% (n= 150)
6	中落合 1 丁目 4.8% (n= 1,494)
7	筑土八幡町 4.8% (n= 644)
8	下落合 2 丁目 5.0% (n= 1,533)
9	戸山 2 丁目 5.3% (n= 2,336)
10	原町 2 丁目 5.5% (n= 653)

n=常住地による15歳以上就業者・通学者

13. 利用交通手段

注：利用交通手段のうち、その人数が著しく少ないものは除いている。

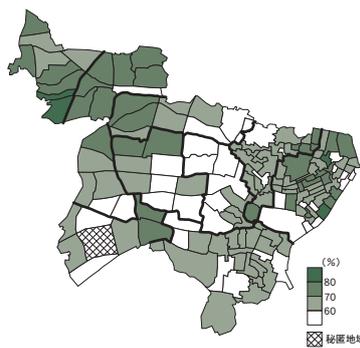


徒歩だけの割合

割合の高い町丁	
1	市谷本村町 60.0% (n= 1,693)
2	筑土八幡町 58.0% (n= 560)
3	戸山 1 丁目 46.8% (n= 1,346)
4	四谷 2 丁目 38.1% (n= 155)
5	西新宿 7 丁目 35.1% (n= 604)
6	新宿 2 丁目 33.7% (n= 267)
7	歌舞伎町 2 丁目 32.8% (n= 335)
8	大京町 32.3% (n= 1,293)
9	市谷加賀町 2 丁目 30.4% (n= 771)
10	東横町 30.2% (n= 106)

割合の低い町丁	
1	西落合 4 丁目 5.3% (n= 749)
2	西落合 3 丁目 5.8% (n= 1,169)
3	中井 1 丁目 6.5% (n= 569)
4	西落合 2 丁目 6.6% (n= 1,486)
5	中落合 4 丁目 6.6% (n= 1,197)
6	上落合 3 丁目 7.0% (n= 1,650)
7	中落合 1 丁目 7.1% (n= 1,120)
8	中落合 3 丁目 7.3% (n= 1,482)
9	上落合 2 丁目 8.3% (n= 1,815)
10	上落合 1 丁目 9.0% (n= 1,979)

n=15歳以上通勤・通学者から利用交通手段「不詳」を除いた値
注：複数回答である

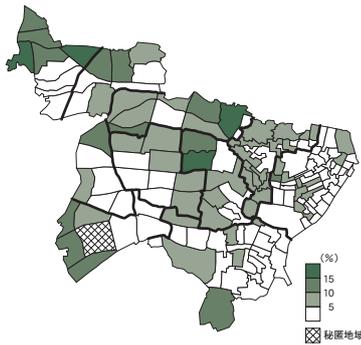


鉄道・電車の割合

割合の高い町丁	
1	白銀町 83.1% (n= 603)
2	中井 1 丁目 81.2% (n= 569)
3	上落合 3 丁目 81.1% (n= 1,650)
4	市谷田町 2 丁目 80.5% (n= 210)
5	上落合 2 丁目 79.3% (n= 1,815)
6	中落合 1 丁目 78.5% (n= 1,120)
7	市谷加賀町 1 丁目 77.9% (n= 272)
8	神楽坂 5 丁目 76.9% (n= 281)
9	上落合 1 丁目 76.8% (n= 1,979)
10	大久保 3 丁目 76.7% (n= 1,580)

割合の低い町丁	
1	市谷本村町 33.9% (n= 1,693)
2	筑土八幡町 35.2% (n= 560)
3	戸山 1 丁目 42.1% (n= 1,346)
4	西新宿 3 丁目 43.7% (n= 632)
5	戸山 2 丁目 49.0% (n= 1,995)
6	四谷 2 丁目 50.3% (n= 155)
7	大京町 51.1% (n= 1,293)
8	新宿 2 丁目 51.7% (n= 267)
9	東横町 51.9% (n= 106)
10	歌舞伎町 2 丁目 51.9% (n= 335)

n=15歳以上通勤・通学者から利用交通手段「不詳」を除いた値
注：複数回答である

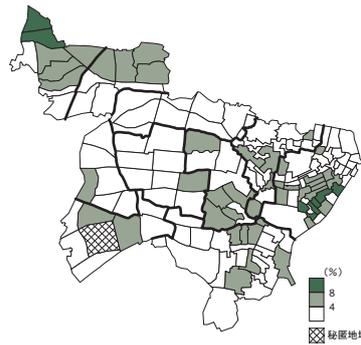


乗合バスの割合

割合の高い町丁	
1	西早稲田 1 丁目 20.5%(n= 1,986)
2	戸山 2 丁目 18.8%(n= 1,995)
3	西落合 2 丁目 18.6%(n= 1,486)
4	中落合 3 丁目 18.2%(n= 1,482)
5	西新宿 4 丁目 14.1%(n= 2,240)
6	下落合 4 丁目 13.4%(n= 1,541)
7	西落合 3 丁目 13.1%(n= 1,169)
8	百人町 4 丁目 12.8%(n= 703)
9	西新宿 3 丁目 12.3%(n= 632)
10	戸山 3 丁目 12.1%(n= 379)

割合の低い町丁	
1	市谷船河原町 0.0%(n= 105)
2	東横町 0.9%(n= 106)
3	筑士八幡町 1.3%(n= 560)
4	神楽坂 5 丁目 1.4%(n= 281)
5	神楽坂 6 丁目 1.6%(n= 304)
6	四谷 1 丁目 1.7%(n= 181)
7	神楽坂 3 丁目 1.8%(n= 170)
8	新宿 2 丁目 1.9%(n= 267)
9	四谷 2 丁目 1.9%(n= 155)
10	白銀町 2.0%(n= 603)

n=15 歳以上通勤・通学者から利用交通手段「不詳」を除いた値
注：複数回答である

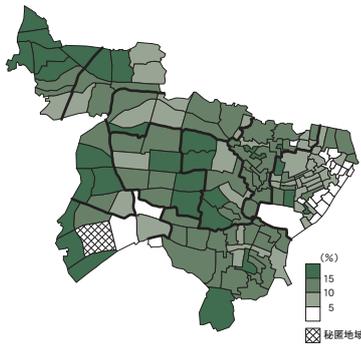


自家用車の割合

割合の高い町丁	
1	市谷砂土原町 1 丁目 15.7%(n= 102)
2	市谷砂土原町 3 丁目 14.3%(n= 308)
3	市谷船河原町 11.4%(n= 105)
4	市谷砂土原町 2 丁目 10.8%(n= 130)
5	市谷左内町 9.5%(n= 190)
6	西落合 3 丁目 8.7%(n= 1,169)
7	西落合 4 丁目 8.7%(n= 749)
8	下落合 3 丁目 6.8%(n= 1,627)
9	中井 2 丁目 6.8%(n= 1,065)
10	市谷甲良町 6.7%(n= 252)

割合の低い町丁	
1	四谷 2 丁目 0.0%(n= 155)
2	市谷加賀町 1 丁目 0.4%(n= 272)
3	榎町 0.9%(n= 232)
4	馬場下町 1.1%(n= 183)
5	下落合 1 丁目 1.3%(n= 795)
6	築地町 1.6%(n= 258)
7	大久保 1 丁目 1.6%(n= 825)
8	大久保 3 丁目 1.6%(n= 1,580)
9	百人町 1 丁目 1.6%(n= 856)
10	榎町 1.7%(n= 297)

n=15 歳以上通勤・通学者から利用交通手段「不詳」を除いた値
注：複数回答である

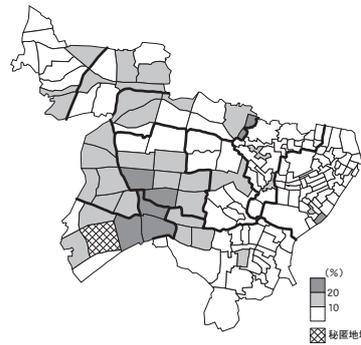


自転車の割合

割合の高い町丁	
1	戸山 2 丁目 22.7%(n= 1,995)
2	中落合 3 丁目 22.1%(n= 1,482)
3	新宿 6 丁目 21.6%(n= 915)
4	西新宿 3 丁目 21.2%(n= 632)
5	高久町 19.6%(n= 1,814)
6	北新宿 2 丁目 19.3%(n= 1,685)
7	西落合 2 丁目 19.1%(n= 1,486)
8	北新宿 1 丁目 18.4%(n= 1,753)
9	余丁町 18.3%(n= 1,486)
10	西新宿 5 丁目 18.3%(n= 978)

割合の低い町丁	
1	神楽坂 5 丁目 2.1%(n= 281)
2	市谷砂土原町 2 丁目 2.3%(n= 130)
3	市谷田町 2 丁目 2.4%(n= 210)
4	市谷船河原町 2.9%(n= 105)
5	市谷本村町 3.4%(n= 1,693)
6	白銀町 3.5%(n= 603)
7	四谷 1 丁目 3.9%(n= 181)
8	中里町 3.9%(n= 281)
9	筑士八幡町 4.1%(n= 560)
10	市谷砂土原町 3 丁目 4.5%(n= 308)

n=15 歳以上通勤・通学者から利用交通手段「不詳」を除いた値
注：複数回答である



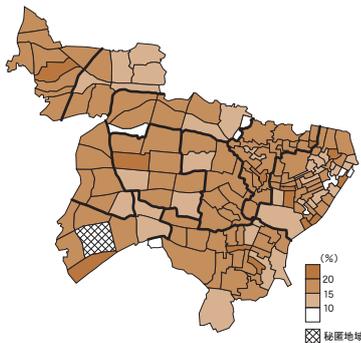
利用交通手段「不詳」の割合

割合の高い町丁	
1	戸塚町 1 丁目 38.0%(n= 137)
2	百人町 1 丁目 21.7%(n= 1,093)
3	歌舞伎町 2 丁目 21.4%(n= 426)
4	西新宿 6 丁目 17.8%(n= 937)
5	大久保 1 丁目 16.8%(n= 991)
6	新宿 2 丁目 16.0%(n= 318)
7	大久保 2 丁目 15.4%(n= 2,622)
8	西新宿 8 丁目 14.7%(n= 777)
9	北新宿 1 丁目 14.4%(n= 2,047)
10	新宿 6 丁目 14.0%(n= 1,064)

割合の低い町丁	
1	細工町 1.7%(n= 178)
2	市谷本村町 1.7%(n= 1,723)
3	片町 2.2%(n= 135)
4	白銀町 2.3%(n= 617)
5	南横町 2.3%(n= 518)
6	中町 2.7%(n= 223)
7	北山伏町 2.7%(n= 147)
8	神楽坂 6 丁目 2.9%(n= 313)
9	市谷左内町 3.1%(n= 196)
10	市谷甲良町 3.1%(n= 260)

n=15 歳以上通勤・通学者

14. 卒業者の最終卒業学校

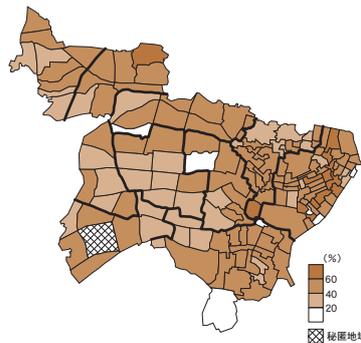


短大・高専の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 24.6%(n= 256)
2	四谷 3 丁目 22.6%(n= 208)
3	西新宿 3 丁目 22.5%(n= 844)
4	筑士八幡町 21.6%(n= 570)
5	百人町 2 丁目 20.5%(n= 1,718)
6	中落合 4 丁目 20.4%(n= 1,588)
7	若葉 2 丁目 20.3%(n= 403)
8	原町 1 丁目 20.2%(n= 778)
9	二十騎町 20.1%(n= 374)
10	築地町 20.0%(n= 340)

割合の低い町丁	
1	新宿 4 丁目 6.8%(n= 176)
2	神楽坂 2 丁目 8.4%(n= 119)
3	戸塚町 1 丁目 9.7%(n= 155)
4	百人町 4 丁目 9.9%(n= 1,509)
5	神楽坂 4 丁目 11.1%(n= 108)
6	市谷本村町 11.4%(n= 1,782)
7	西新宿 7 丁目 11.5%(n= 1,051)
8	霞ヶ丘町 11.5%(n= 269)
9	戸山 2 丁目 11.6%(n= 4,017)
10	下落合 4 丁目 12.0%(n= 3,124)

n=15 歳以上卒業者から最終卒業学校「不詳」を除いた値

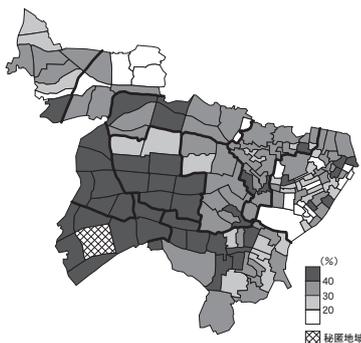


大学・大学院の割合

割合の高い町丁	
1	市谷砂土原町 3 丁目 70.6%(n= 462)
2	市谷砂土原町 2 丁目 70.6%(n= 180)
3	白銀町 69.1%(n= 758)
4	市谷船河原町 65.5%(n= 139)
5	神楽坂 5 丁目 64.9%(n= 402)
6	市谷仲之町 64.7%(n= 1,039)
7	市谷左内町 62.7%(n= 308)
8	北町 62.0%(n= 558)
9	若宮町 61.6%(n= 581)
10	下落合 3 丁目 61.3%(n= 3,179)

割合の低い町丁	
1	戸山 2 丁目 13.7%(n= 4,017)
2	市谷長延寺町 13.8%(n= 130)
3	霞ヶ丘町 16.0%(n= 269)
4	百人町 4 丁目 16.9%(n= 1,509)
5	新宿 4 丁目 21.6%(n= 176)
6	大久保 1 丁目 30.7%(n= 1,461)
7	百人町 1 丁目 30.7%(n= 1,487)
8	神楽坂 6 丁目 30.8%(n= 598)
9	東横町 31.2%(n= 157)
10	若葉 2 丁目 31.8%(n= 403)

n=15 歳以上卒業者から最終卒業学校「不詳」を除いた値



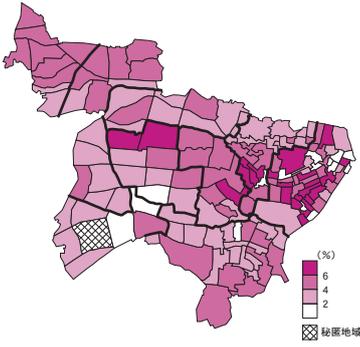
最終卒業学校「不詳」の割合

割合の高い町丁	
1	西新宿 1 丁目 85.1%(n= 242)
2	歌舞伎町 1 丁目 72.8%(n= 125)
3	歌舞伎町 2 丁目 71.1%(n= 1,974)
4	津久戸町 59.9%(n= 152)
5	新宿 5 丁目 57.5%(n= 2,109)
6	百人町 1 丁目 57.0%(n= 3,458)
7	新宿 3 丁目 56.6%(n= 122)
8	新宿 2 丁目 56.4%(n= 1,221)
9	西新宿 8 丁目 56.1%(n= 2,221)
10	西新宿 6 丁目 55.7%(n= 2,624)

割合の低い町丁	
1	下落合 4 丁目 10.3%(n= 3,484)
2	下落合 3 丁目 10.7%(n= 3,560)
3	市谷長延寺町 13.3%(n= 150)
4	中落合 1 丁目 15.2%(n= 2,782)
5	南横町 15.3%(n= 994)
6	戸塚町 1 丁目 15.8%(n= 184)
7	市谷砂土原町 1 丁目 16.8%(n= 191)
8	市谷加賀町 1 丁目 17.2%(n= 309)
9	神楽坂 6 丁目 17.6%(n= 726)
10	下落合 2 丁目 18.4%(n= 2,619)

n=15 歳以上卒業者

15. 在学者の在学学校

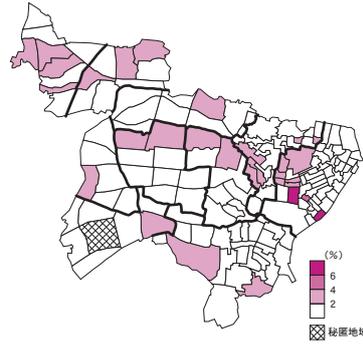


人口総数のうち小学校・中学校の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 16.4%(n= 506)
2	市谷八幡町 10.2%(n= 118)
3	市谷鷹匠町 9.7%(n= 124)
4	大久保 3 丁目 9.4%(n= 3,838)
5	百人町 3 丁目 8.3%(n= 5,641)
6	河田町 8.0%(n= 2,934)
7	若宮町 8.0%(n= 1,037)
8	市谷砂土原町 2 丁目 7.9%(n= 468)
9	市谷砂土原町 3 丁目 7.7%(n= 958)
10	二十騎町 7.4%(n= 659)

割合の低い町丁	
1	西新宿 1 丁目 0.0%(n= 417)
2	津久戸町 0.6%(n= 171)
3	新宿 4 丁目 0.6%(n= 318)
4	歌舞伎町 1 丁目 0.7%(n= 148)
5	下宮比町 1.1%(n= 187)
6	東横町 1.4%(n= 290)
7	神楽坂 6 丁目 1.5%(n= 792)
8	歌舞伎町 2 丁目 1.6%(n= 2,344)
9	舟町 1.7%(n= 1,383)
10	改代町 1.7%(n= 659)

n=人口総数

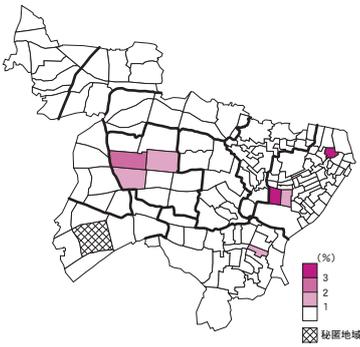


人口総数のうち高校の割合

割合の高い町丁	
1	市谷加賀町 1 丁目 7.7%(n= 506)
2	市谷鷹匠町 4.8%(n= 124)
3	市谷砂土原町 1 丁目 3.9%(n= 255)
4	市谷船河原町 3.9%(n= 231)
5	神楽坂 4 丁目 3.5%(n= 200)
6	大久保 3 丁目 3.4%(n= 3,838)
7	細工町 3.1%(n= 488)
8	百人町 3 丁目 2.9%(n= 5,641)
9	市谷砂土原町 2 丁目 2.8%(n= 468)
10	二十騎町 2.6%(n= 659)

割合の低い町丁	
1	歌舞伎町 1 丁目 0.0%(n= 148)
2	津久戸町 0.0%(n= 171)
3	神楽坂 3 丁目 0.2%(n= 520)
4	西新宿 1 丁目 0.2%(n= 417)
5	神楽坂 2 丁目 0.4%(n= 228)
6	華前町 0.5%(n= 579)
7	下宮比町 0.5%(n= 187)
8	新宿 2 丁目 0.6%(n= 1,418)
9	市谷柳町 0.7%(n= 1,203)
10	東横町 0.7%(n= 290)

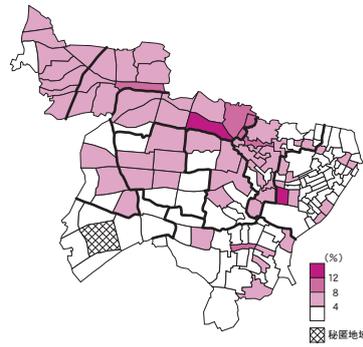
n=人口総数



人口総数のうち短大・高専の割合

割合の高い町丁	
1	筑土八幡町 6.1%(n= 992)
2	市谷加賀町 2 丁目 4.5%(n= 1,520)
3	百人町 2 丁目 2.4%(n= 4,625)
4	百人町 1 丁目 1.8%(n= 4,023)
5	下落合 1 丁目 1.6%(n= 2,428)
6	四谷 2 丁目 1.2%(n= 335)
7	市谷加賀町 1 丁目 1.2%(n= 506)
8	大久保 2 丁目 1.1%(n= 7,738)
9	中井 1 丁目 1.0%(n= 1,817)
10	神楽坂 3 丁目 1.0%(n= 520)

n=人口総数



人口総数のうち大学・大学院の割合

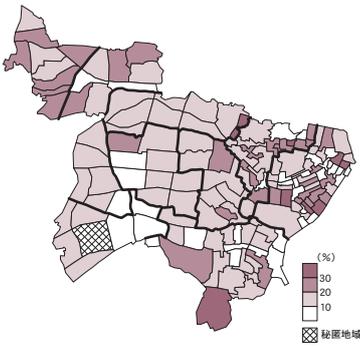
割合の高い町丁	
1	西早稲田 2 丁目 15.2%(n= 5,741)
2	市谷加賀町 2 丁目 12.4%(n= 1,520)
3	戸塚町 1 丁目 9.9%(n= 232)
4	西早稲田 1 丁目 9.3%(n= 5,651)
5	早稲田町 8.7%(n= 1,011)
6	四谷 3 丁目 8.4%(n= 465)
7	下落合 1 丁目 8.2%(n= 2,428)
8	市谷加賀町 1 丁目 7.9%(n= 506)
9	早稲田鶴巻町 7.6%(n= 5,331)
10	神楽坂 2 丁目 7.5%(n= 228)

割合の低い町丁	
1	西新宿 1 丁目 0.0%(n= 417)
2	市谷鷹匠町 0.8%(n= 124)
3	新宿 3 丁目 1.3%(n= 150)
4	霞ヶ丘町 1.3%(n= 447)
5	下宮比町 1.6%(n= 187)
6	市谷八幡町 1.7%(n= 118)
7	信濃町 1.7%(n= 943)
8	戸山 2 丁目 1.7%(n= 6,133)
9	新宿 4 丁目 1.9%(n= 318)
10	百人町 4 丁目 2.0%(n= 2,410)

n=人口総数

16. 未就学者の状況

注：割合は、未就学者数から「不詳」を除いた値。また、分母となる値が小さい町丁が多いため、表は割愛している。

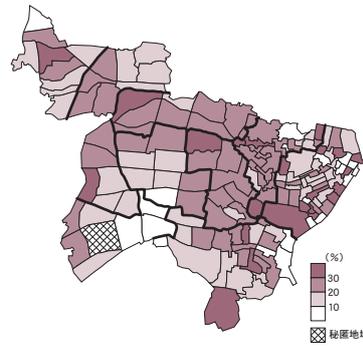


幼稚園の割合

割合の高い町丁	
1	下落合 4 丁目 26.0%(n= 150)
2	下落合 3 丁目 24.9%(n= 181)
3	中井 2 丁目 24.6%(n= 126)
4	下落合 2 丁目 24.2%(n= 165)
5	上落合 2 丁目 23.6%(n= 127)
6	百人町 3 丁目 23.6%(n= 322)
7	西落合 3 丁目 22.8%(n= 114)
8	中落合 3 丁目 22.3%(n= 139)
9	市谷薬王寺町 22.0%(n= 109)
10	上落合 3 丁目 21.6%(n= 111)

割合の低い町丁	
1	山吹町 8.9%(n= 135)
2	中落合 1 丁目 9.1%(n= 143)
3	百人町 2 丁目 9.5%(n= 148)
4	西新宿 4 丁目 10.1%(n= 228)
5	高田馬場 3 丁目 10.3%(n= 156)
6	上落合 1 丁目 10.3%(n= 214)
7	大久保 1 丁目 10.9%(n= 101)
8	四谷 4 丁目 11.3%(n= 160)
9	北新宿 4 丁目 11.5%(n= 227)
10	北新宿 3 丁目 12.6%(n= 247)

n=未就学者から「不詳」を除いた値

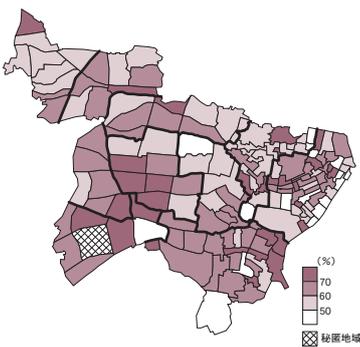


保育園・保育所の割合

割合の高い町丁	
1	市谷仲之町 35.6%(n= 146)
2	西落合 1 丁目 32.9%(n= 167)
3	北新宿 2 丁目 30.6%(n= 180)
4	高田馬場 3 丁目 30.1%(n= 156)
5	市谷本村町 30.1%(n= 163)
6	若松町 29.6%(n= 223)
7	中落合 4 丁目 28.6%(n= 126)
8	戸山 2 丁目 28.3%(n= 113)
9	早稲田鶴巻町 28.1%(n= 171)
10	大久保 3 丁目 27.4%(n= 219)

割合の低い町丁	
1	山吹町 8.9%(n= 135)
2	百人町 2 丁目 15.5%(n= 148)
3	大久保 1 丁目 15.8%(n= 101)
4	下落合 4 丁目 16.0%(n= 150)
5	上落合 3 丁目 16.2%(n= 111)
6	中井 2 丁目 17.5%(n= 126)
7	南元町 17.6%(n= 165)
8	大京町 17.9%(n= 117)
9	中落合 3 丁目 18.0%(n= 139)
10	西落合 2 丁目 18.2%(n= 165)

n=未就学者から「不詳」を除いた値



乳児・その他の割合

割合の高い町丁	
1	山吹町 82.2%(n= 135)
2	百人町 2 丁目 75.0%(n= 148)
3	大久保 1 丁目 73.3%(n= 101)
4	大京町 69.2%(n= 117)
5	上落合 1 丁目 69.2%(n= 214)
6	南元町 69.1%(n= 165)
7	大久保 2 丁目 67.5%(n= 255)
8	下落合 2 丁目 66.4%(n= 143)
9	高田馬場 4 丁目 65.4%(n= 208)
10	中落合 1 丁目 65.0%(n= 143)

割合の低い町丁	
1	市谷仲之町 47.9%(n= 146)
2	西落合 1 丁目 50.3%(n= 167)
3	市谷本村町 50.3%(n= 163)
4	北新宿 2 丁目 50.6%(n= 180)
5	中落合 4 丁目 51.6%(n= 126)
6	市谷薬王寺町 52.3%(n= 109)
7	百人町 3 丁目 52.5%(n= 322)
8	大久保 3 丁目 53.4%(n= 219)
9	若松町 54.7%(n= 223)
10	戸山 2 丁目 54.9%(n= 113)

n=未就学者から「不詳」を除いた値

IV

新宿区の特徴のまとめ

2010年国勢調査・集計結果を基に、過去の調査結果や全国・特別区との比較などをグラフや地図で表示し、そこからわかる新宿区全体や地域の特徴を明らかにしてきました。最後にそのポイントを以下のとおりまとめます。

1. 「人口」に関する集計結果

- ・新宿区の人口は1995年以降、増え続けており、特にこの5年間の外国人の増加が著しい。
- ・外国人人口は全国7位だが、大阪市や横浜市などの政令指定都市を除くと最も多い。
- ・少子高齢化が着実に進行しており、年少人口（15歳未満）はこの30年間で半数以下となり、高齢者人口（65歳以上）は2倍以上となった。特に、年少人口の割合（7.9%）は23区で3番目に低い。
- ・年齢別人口の最も多い年代は、かつての20代前半から20代後半にシフトした。20歳～34歳の若者世代の割合は3割弱（27.9%）を占め、23区で2番目に高い。
- ・未婚者が増加している。未婚の割合は特に30代後半以降の年代で上昇し、生涯未婚率は男性33.3%、女性27.3%で、23区で男性は2番目、女性は3番目に高い。
- ・一人で暮らす単独世帯が増加している。その割合は一般世帯の6割を超え（62.6%）、23区で最も高い。
- ・高齢者（65歳以上）の一人暮らしも増加しており、高齢者のいる世帯の半数近く（45.2%）が単独世帯であり、高齢者の1/3（33.7%）が一人暮らしである。

2. 「居住」に関する集計結果

- ・「民営の借家」に住む世帯数は増加しており、その割合（57.7%）は、「持ち家」に住む世帯（30.9%）の2倍近くあり、23区で2番目に高い。
- ・「一戸建」に住む世帯の数は横ばいだが、「共同住宅」に住む世帯の数は増加しており、その割合は8割を超え（83.8%）、23区で4番目に高い。
- ・延べ面積29㎡以下のワンルームマンション等に住む世帯の割合は4割近く（37.1%）を占め、23区で2番目に高い。49㎡以下では6割を超える（61.8%）。
- ・現在の場所での居住期間は、高齢者では「20年以上」が6割を超え（63.2%）、若者世代（20～34歳）では「5年未満」が6割を超える（62.4%）。

3. 「就労・産業」に関する集計結果

- ・女性の労働力率が各年代で上昇しており、特に20代後半と30代前半では8割前後で、50代前半まで7割を超える。従来、結婚・出産・育児等により30代に低下していた労働力率が、女性の働き方の変化等により低下しなくなってきた。
- ・有配偶女性の労働力率（51.0%）は、全国や特別区と同水準であるが、2005年に比べて大きく上昇している。特に、20代後半から50代後半の各年代で6割前後にのぼる。
- ・「夫婦とも就業」の共働き世帯の割合は上昇傾向にあり、夫婦のいる世帯の5割近く（46.3%）を占め、「夫または妻のみが就業」の世帯よりも高い。
- ・雇用のうち女性の割合が上昇しており、男性の割合に近づいている（男性52.3%、女性47.7%）。
- ・新宿区に住む15歳以上就業者のうち、第3次産業就業者の割合は9割弱（89.1%）で、23区で5番目に高い。
- ・65歳以上就業者では「不動産業、物品賃貸業」の割合が最も高く（17.4%）、かつ当該産業就業者の4割弱（39.0%）を高齢者が占める。

4. 「従業地・通学地」に関する集計結果

- ・新宿区に住む 15 歳以上の就業者・通学者の 4 割強(42.9%) が区内で従業・通学し、4 割強(44.0%) が他の特別区へ従業・通学している。従業・通学先は、千代田区、港区、中央区、渋谷区、豊島区、文京区、中野区の順に多く、区民の多くは区内や近隣区に従業・通学している。
- ・新宿区を従業地・通学地とする 15 歳以上の就業者・通学者のうち、区内に住む者は 1 割(10.5%) で、9 割(89.5%) が区外に住む。4 割近く(38.8%) が他県に住み、特別区(34.5%) や都内市町村(16.1%) を上回る。
- ・各市区町村の 15 歳以上人口に占める新宿区への流入人口の割合をみると、中野区、杉並区、西東京市、調布市、練馬区、和光市、渋谷区、小金井市、武蔵野市など新宿区の西側の地域の割合が高い。
- ・新宿区の昼夜間人口比率は 229.9 で、夜間人口(326,309 人) の 2.3 倍の昼間人口(750,120 人) がおり、その比率は低下しているものの、23 区で 5 番目、全国でも 6 番目に高い。

5. 「教育」に関する集計結果

- ・高学歴が進み、新宿区に住む 15 歳以上の卒業者のうち、大学・大学院を最終卒業学校とする者は 4 割強(43.9%) を占め、短大・高専と合わせると 6 割にのぼる。短大以上を男女比で見ると、男性 50.3%、女性 49.7% と男女間の差がなくなっている。
- ・大学・大学院、短大・高専に在学する者の割合は総人口の 5% を占め、23 区で 2 番目に高い。

6. 特別出張所地域別の集計結果

- ・特別出張所地域別の人口は、2005 年に比べて全地域で増加しており、特に角筈・区役所地域(18.8%増)、戸塚地域(10.5%増)、榎地域(10.0%) で急増している。一方、若松地域(0.9%) では横ばい、落合第一地域(3.1%)、落合第二地域(4.1%) では緩やかな増加となっている。
- ・各地域における年少人口(15 歳未満) の割合は筆筈地域(10.2%) が、生産年齢人口(15 ~ 64 歳) は角筈・区役所地域(78.3%) が、高齢者人口(65 歳以上) は若松地域(23.5%) がそれぞれ最も高くなっている。
- ・「未婚」の割合は角筈・区役所地域(55.7%) が、「有配偶」は筆筈地域(49.9%) が、「離・死別」は若松地域(13.6%) がそれぞれ最も高くなっている。
- ・「単独世帯」の割合は角筈・区役所地域(72.8%) が、「夫婦のみ世帯」、「夫婦と子ども世帯」は筆筈地域(15.4%、19.2%) が、「ひとり親と子ども世帯」は若松地域(8.0%) がそれぞれ最も高くなっている。
- ・労働力率は角筈・区役所地域(74.2%) が、完全失業率は大久保地域(8.0%) がそれぞれ最も高くなっている。
- ・主な産業のうち新宿区に常住する 15 歳以上の就業者が最も多く従業する地域は、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」などは四谷地域、「情報通信業」、「学術研究、専門・技術サービス業」などは筆筈地域、「医療、福祉」は若松地域、「製造業」は榎地域、「教育、学習支援業」は戸塚地域がそれぞれ最も多くなっている。

既刊一覧

◎2008（平成20）年度 新宿自治創造研究所活動報告書	2009（平成21）年3月
◎2009（平成21）年度 新宿自治創造研究所活動報告書	2010（平成22）年3月
◎都市・自治にかかる情報と分析—データの読み方—	2010（平成22）年3月
◎研究所レポート2010 外国人WG報告（1）	2010（平成22）年12月
◎研究所レポート2010 人口WG報告（1）	2011（平成23）年2月
◎研究所レポート2010 集合住宅WG報告（1）	2011（平成23）年3月
◎研究所レポート2011 集合住宅WG報告（2）	2011（平成23）年11月
◎研究所レポート2011 外国人WG報告（2）	2011（平成23）年11月
◎研究所レポート2011 集合住宅WG報告（3）	2012（平成24）年1月
◎研究所レポート2011 外国人WG報告（3）	2012（平成24）年1月
◎研究所レポート2011 人口WG報告（2）	2012（平成24）年3月
◎研究所レポート2011 人口WG報告（3）	2012（平成24）年3月

研究体制

所長	金安 岩男（慶應義塾大学名誉教授）
副所長	松田 浩一（新宿自治創造研究所担当課長）
政策形成アドバイザー	牧瀬 稔（財団法人地域開発研究所主任研究員）
テーマ別アドバイザー	大江 守之（慶應義塾大学教授）
研究員	田中 雅美
〃	松田 晶宏
〃	北野 和雄
非常勤研究員	淵元 初姫
〃	丸山 洋平

研究所レポート2012 No.1

国勢調査データからみる新宿区の特徴

発行年月	2013（平成25）年3月
編集・発行	新宿区新宿自治創造研究所 （新宿区新宿自治創造研究所担当部 新宿自治創造研究所担当課）
住所	〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号 （新宿区役所内）
電話	03-5273-4252（直通）
FAX	03-5272-5500
E-Mail	jichisozo@city.shinjuku.lg.jp

新宿自治創造研究所

印刷物制作番号

2012-1-2201

再生紙を使用しています。



新宿区はグリーン電力証書システムに参加し、
年間100万kWhの再生可能エネルギーの
普及・拡大に貢献しています。